

第1章 斜面地居住高齢者の生活問題

—距離と社会関係に視点を置いた生活問題—

昨今の生活の郊外化は自動車を利用出来ることで成立しているともいえる。つまり、近年の都市の変貌は多数の大規模店・量販店が郊外に出店し始めたことで始まる。生活の郊外化である。地価の安い国道やバイパス沿いに出店が始まったのが80年代後半のことであり、それまでのモータリゼーションに伴う都市の変貌とは全く異なる変貌をしつつある。これまでのモータリゼーションによる都市の変貌は路面電車の姿を都市から消し、複合商業施設を都心部に再開発することで、デパートやブランドショップを核とした商業施設周辺で人の回遊を誘う変貌であった。大型スーパーも中心市街地の商業施設の核として、あるいは住宅地に出店した。しかし、地元商店街との商業調整を嫌った大規模店・量販店が郊外に出店し始めたのが、そのような都市の変貌と異なる変貌の始まりであり、90年代には規制緩和により商業調整不要となってもこの傾向は続いた。これを可能とした要因は地方の生活者の自動車保有台数の多さである。平成18年版国民生活白書（p274）によれば乗用車の世帯当たりの普及率は83.9%である。首都圏や関西圏、中部圏よりも地方都市の方が普及率は高く、世帯に1台から成人一人に1台に近い普及率になっていると思われる。このように自由に利用できる自動車があれば、買い物先は近い必要がない。中心市街地で自動車の駐車場を探すより、広々とした駐車場がある郊外の大規模店・量販店のほうが都合がよい。しかも、複数のスクリーンを備えた映画館を含む複合施設やモールやアウトレット等が集積するに至り、地方都市の中心市街地も含め商店街、小売店が衰退した。駅前のデパート後の店舗が空き家のまま長く放置される等の現象が多く、地方都市で現実となった。商店街の再生が模索されているが、多様な試みが一時的効果を示しても継続的・持続的で確実な方法はみあたらない。首都圏や関西・中部圏の大都市で多い公共交通の利用は、地方都市には当てはまらないのである。免許取得可能年齢以上の青壮年層の大部分が自動車運転を日常化し、自動車の運転の有無による距離の捉え方や生活圏の捉え方等の違いは地方では大きいのである。

そこで、この調査であるが、生活の郊外化と自動車の運転の有無からいえば、高齢者には不利である。まして、斜面地に居住している高齢者は自動車利用が難しい上に坂道、段差、路面の傾斜等の障害も加わり、更には街の変貌により、近くにあった商店街や小売店が消えている。坂道や段差、傾斜に距離というバリアが加わったのである。この点に着目しつつ、斜面地に居住する高齢者の生活問題に関する調査を実施した。調査は以下の疑問から始まった。

- ①斜面地居住により、利便性は落ちるであろう。それはどのような影響があるのか。
- ②斜面地居住は景観がよいということに加え、居住し続ける根拠や長所があるだろうか。
- ③斜面地とその他居住地と比較すると転居する条件がみえるだろう。

一方で、長く居住するうちに、地域の商店街や小売店が衰退・消失しても、地域に特有の社会関係資本がこれらのデメリットを相殺しているとも考えられる。

そこで、調査では4つの項目について質問をした。

一つは日用品の買い物、通院で困ることや生活で総合的に困ることと、斜面地に居住の利便性をどう評価しているか。二つ目は地域の行事や団体への参加、近隣との付き合い等の社会関係の有無。三つめは、相互の助け合い、支え合いから見る社会関係資本について。これにより利便性が落ちても社会関係資本が相殺しているかどうか。四つめは、地域の変化や景観への関心、転居の条件等である。

以下では、斜面地居住の生活問題について、主として日常生活の主要な行為である食料品・日用品の買い物に視点を置き、距離という側面からの問題を調査結果に基づき検討した。続いて、社会関係の量と質が社会関係資本として生活問題の解決に有益であるかについて検討した。これ以外は調査結果の報告に止めた。調査を実施するに当たり、以下の地域の方々にお世話になりました。

謝辞

調査地点は斜面地を含むことから清見校区にお願いし、調査は留置法で実施しました。調査の概要と調査の手続きで以下に記述した通り、清見校区社協の会長、副会長の両氏にお手数をお掛けし、福祉協力員の多大な協力を得たおかげで、通常の調査では不可能な高い回収率を得ることができました。この場を借りて深く感謝いたします。誠にありがとうございました。

また、以下でこの清見校区の概要と地域活動の一端であるウェルクラブについて紹介しています。

I 調査地の概要

1 清見校区の概要

清見校区は、門司区の北東部に位置し、門司港駅から東へ2 kmと交通の便もよく、校区内には、港が丘小学校・早鞆中学校があり、比較的閑静な住宅、文教地区となっている。

また、東西を八窪山（標高185m）、砂利山（標高254m）、筆立山（標高105m）の三つの山に囲まれた盆地状の地域となっていることから、傾斜地に暮らす住民が多いという特徴がある。

平成20年9月30日現在の住民基本台帳に基づく世帯数は2,973世帯（人口約6,300人）、高齢化率31.3%となっており、地元自治組織調べによると自治会加入率は、99%を超えているといわれ、近隣の結びつきも維持されている地域となっている。

平成11年度に「清見小学校」と「古城小学校」が統合し、「港が丘小学校」となっていることから、清見校区は「小学校区」ではなく、旧「清見小学校」の範囲で地域福祉活動を実施している地域である。

今回の調査では、ふれあいネットワーク事業を基本事業として実施している「清見校区社会福祉協議会」（坂口初一会長）の全面的な協力により、調査票の配布・回収が行われたことから、「清見校区」との名称を使っている。

清見校区社協は、昭和41年1月に、地域組織である自治会を中心として各種地域団体が協議、地域福祉事業を実施する組織として結成されている。

平成19年度の実績で清見校区社協の活動をみると、基本となるふれあいネットワーク事業では、67人の福祉協力員が、一人暮らし高齢者472世帯、高齢者夫婦世帯300世帯、昼間に高齢者だけになる世帯30世帯の合計802世帯に対して、平均月2回の見守り活動を展開している。

助け合い活動では、「話し相手」「ゴミ出し」「買い物」などを行い高齢者の支援を行っているほか、毎週火曜から金曜日までの4日間、1日平均14食の夕食弁当の配食を行い、安否確認を継続している。

特徴的な活動としては、平成17年度から、地元医師の協力により、使わなくなった診療所を借り受け、毎週火曜・金曜日の2日間「ふれあい生き生きサロン」を開設し、高齢者の集いの場作りを行っている。

また、同じく平成17年度から、次の世代の地域福祉活動者を育てるために、北九州市社協が推奨する「ウェルクラブ活動」に取り組み、夏休みの期間を中心としながら、地元小学生（19年度は、14人）が福祉協力員とともに高齢者世帯の訪問、「ふれあい生き生きサロン」、敬老会、ふれあい昼食会での交流活動（通年）を行っている。

平成13年に開設された「清見市民センター」を活動拠点に、活発な活動が展開されている地域である。センター開設と同時に、「まちづくり協議会」が結成されているが、校区社協としての独自の活動を進めている。

2 門司清見校区ウェルクラブ

1) 実施主体

門司区清見校区社会福祉協議会 会長 坂口 初一

2) 募集方法

- (1) 港が丘小学校の協力により募集チラシを配付しました。
- (2) 港が丘クラブバレー部の協力により募集チラシを配付しました。

3) 参加者数

- (1) ウェルクラブメンバー 14人
(小学校4年生～5年生)
- (2) 校区社協役員・福祉協力員 20人

4) 実施内容

活動日時	活動項目	活動説明
6月28日(土) 12:30～13:30	■ウェルクラブ発会式 ■ウェルクラブ活動説明会	児童、保護者、社協役員・福祉協力員等が出席し、ふれあいネットワーク事業・ウェルクラブ活動の説明と日程調整。
7月6日(日) 13:30～15:00	■福祉体験講座参加 (特別養護老人ホーム豊寿園)	門司区ボランティアセンター主催の福祉体験講座へ参加しました。
7月22日(火) 15:30～17:00	■一人暮らし高齢者宅の訪問(見守り活動)	3班に分かれ一人暮らし高齢者を訪問。いろいろな質問をしました。
7月28日(月) 15:30～17:00		
8月6日(水) 13:30～15:00	■施設訪問交流 (アイリスケアセンター早鞆)	レクリエーションの時間に訪問して、一緒に遊びました。
8月22日(金) 9:00～17:00	■ボーリング大会	子どもたちと福祉協力員や校区社協役員と一緒にボーリングを楽しみました。
8月29日(金) 13:30～15:00	■活動のまとめ	活動発表会に向けての資料を参加者みんなで作りました。
8月30日(土) 13:30～15:00	■ウェルクラブ活動発表会	ひと夏の福祉活動体験により芽生えた「小さなボランティアの心・想い」を発表しました。

5) 校区社協役員・福祉協力員の一言

- 高齢者の方から戦争体験を聞き、驚いていたが、子どもたちにもその思いが伝わったことなど、貴重な体験ができたと思います。
- 夏休み期間だけでなく、これからの社協行事にもぜひ参加してもらいたい。

6) ウェルクラブメンバー（小学生）の感想

■ I・Kさん（4年）

私は、今年初めてこの「ウェルクラブ」というボランティアに参加しました。最初は、ドキドキしました。でも、だんだんと慣れてきて、今まで一度も話したことが無い人と話ができて、私の知らない話や私を元気づけてくれる話や、いろいろな話をしました。おじいちゃんやおばあちゃんが楽しそうだったので、私も楽しくなりました。おばあちゃんは、私たちに孫みたいにかわいがってくれました。

あと、みんなで行ったボーリングも楽しかったです。スベアが少ししか入らなかったのも残念でした。でも、1番残念だったのはストライクが1回も入らなかったことです。もう、本当に悔しかったです。でも、楽しかったので来年も参加してみようと思います。

■ B・Aさん（5年）

私は今年で2年目のウェルクラブでした。去年はあまり6年生の人と仲良く話したりできなかったけど、今年はこのウェルクラブをきっかけに友達ができたり、おじいちゃんやおばあちゃんともちゃんと話したりできるようになりました。

1番最初の訪問では、少し緊張したけど、質問等を班の人と一緒に考えました。アイリスケアセンターでは、お年寄りの方と握手をしたり、棒体操をして楽しむことができました。特別養護老人ホーム豊寿園では、認知症について学んだり、お年寄りの方達が普段どのような生活しているか等たくさんの事を学びました。

さわやかめかり館では、夏休みの宿題の話で盛り上がりました。一番最後にお別れするとき、手を振ってみるとさわやかめかり館の人達も一緒に手を振ってくれました。あの一生懸命に手を振る姿は、今でも覚えています。

この経験を生かし、来年も参加したいと思いました。

7) 校区社協のまとめ

清見校区ウェルクラブ活動では、施設訪問や校区社協事業のサロン訪問等様々な活動を行っています。また、夏休み期間を終えた後も、ウェルクラブ参加児童に対して、校区社協事業への参加ご案内を行い、年間を通じたボランティア活動として行っています。

参加児童についても、様々な活動と行事の参加により、充実感と感動を得ることで、次年度の参加率も非常に高いようです。

Ⅱ 調査の手続き

1 調査の方法

調査は校区社協の福祉協力員の協力を得て、調査票を配布し、一定期間の記入期間を置いた後に回収する留置法により行った。

2 調査対象 校区の65歳以上の居住者全員である。

3 調査期間 2009年2月6日～20日

4 回収率等

配布票数900票 回収票数870票 有効票数870票 有効回収率（96.7％）

第1節 距離と社会関係に視点を置いた高齢者の生活問題

1 買い物の距離により生じる問題

(1) 歩いて暮らせる街

北九州市の基本構想の中に「歩いて暮らせる街づくり」がある。これは1960年代後半の商店街や市場、小売店が主要な買い物の場であり、下駄を引っかけて、あるいは仕事帰りに商店街や市場で買い物をする人が多かった（商店街や市場ににぎわいがあった）時代を生活拠点に再現しようという計画でもある。モータリゼーションに伴う都市の変貌も進んでおらず、戦後のベビーブーム世代が青年期を迎える頃である。1970年に高齢化率が7.1％となり、高齢化社会が到来する以前の頃の街中居住を再現する計画でもある。ただし、当時の人口構造は生産年齢人口が増加を見込め、若年労働力が豊富な時代でもある。今日では人口構造が変化し、高齢化率も20％を超えている。就業先を求めて若年者が都市へ流入した時代と高齢化が伸展し、若年人口が減少を続けている時代とでは人口構造のみでも背景が異なるのであるが、さらには生活の郊外化により、商店街や市場、小売店が衰退し、高齢化が伸展を続ける時代で問題となるのは、日々の買い物である。

生活の郊外化が自動車の運転の有無による生活の落差をもたらし、このことからいえば、高齢者には不利である。まして、斜面地に居住している高齢者は自動車利用が難しい上に坂道、段差、路面の傾斜等の障害も加わり、日常の買い物や通院の障害となる（斜面地居住の区分方法は第2節Ⅰ－2参照）。

それでは、歩いて暮らせる街の条件として、高齢者が歩いて買い物に行ける範囲はどの程度の距離であろうか。図表1にはこの調査により得られた、買い物の際の交通手段と距離の関連を示した。これによると、自明のことであるが、距離が短いほど徒歩が多くなる。距離伸びると交通手段が多様になる。自家用車や公共交通機関による買い物が増加するのである。さて徒歩での買い物の境目はどの程度の距離であろうか。図表1には、斜面地居住とその他居住で異なることが示されている。つまり、居住環境が変われば、交通手段も変わることを意味しているが、居住環境としては人的資源も加えることができる。つまり、高齢者の場合は同居している子どもの有無、近隣の助け合いの有無等である。

これに関しては後で見るとして、図表1で分かる事は、買い物の居住が500メートル程度では徒歩が多いが、斜面地よりもその他の方が徒歩による買い物が高い比率を示している。また、その他では斜面地居住に全くなかった自転車も多く、徒歩と自転車で7割以上を占め、斜面地居住の場合は500メートルで公共交通機関や自家用車を利用する人が3割を超えている。1キロメートル以内になると、徒歩が減少するが、斜面地居住の4割に対して、その他居住では約6割が徒歩である。どちらも公共交通機関利用が増加しているが、その他居住の自家用車利用が増える一方で、斜面地居住では増加しない。

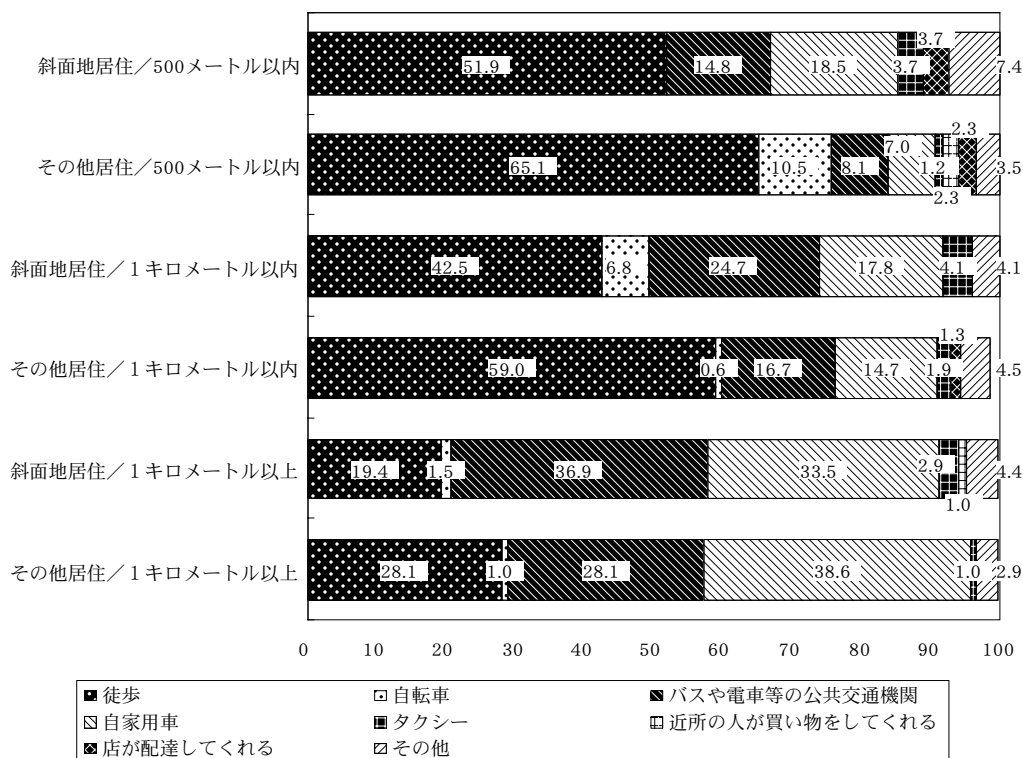
距離が1キロメートル以上になると、徒歩は更に減少し、公共交通機関と自家用車が7割近くあるいは7割を超えるようになる。

この結果から、距離に加えて斜面地・傾斜地が大きな生活の障害となっていることが分かり、さらには買い物の他に交通費と時間を必要とする等の要する費用の違いが生活環境により大きいことも同時に示唆している。

また、近所の人が買い物をしてくれたり、店が配達してくれる等の社会関係資本や人的資源は極く少ないことも分かる。

以上の結果から、歩いて暮らせる街は500メートル～1キロメートル以内であり、この距離も環境条件により大きく変化するといえる。

図表1 距離と交通手段の関係



(2) 人的資源としての家族

買い物と人的資源の関係として、家族構成を示したのが図表2である。居住地域により家族構成

には違いがないといえる。また、その他の世帯（主として子どもと同居）は3割未満であるから、図表1の1キロメートル以上の買い物には、高齢者自身の自家用車運転を含むことが分かる。

図表2 居住地域と家族構成

	合計	一人暮らしの世帯	夫婦だけの世帯	その他の世帯
斜面地居住	324 100.0	89 27.5	144 44.4	91 28.1
その他居住	546 100.0	163 29.9	235 43.0	144 26.4
合計	870 100.0	252 29.0	379 43.6	235 27.0

図表3は性別による世帯構成を示しているが、女性の方が一人暮らしが多い。男性は夫婦だけの世帯が多い。このため、買い物には女性が多く問題を抱えているであろうことを推測できる。

図表3 性別の世帯構成

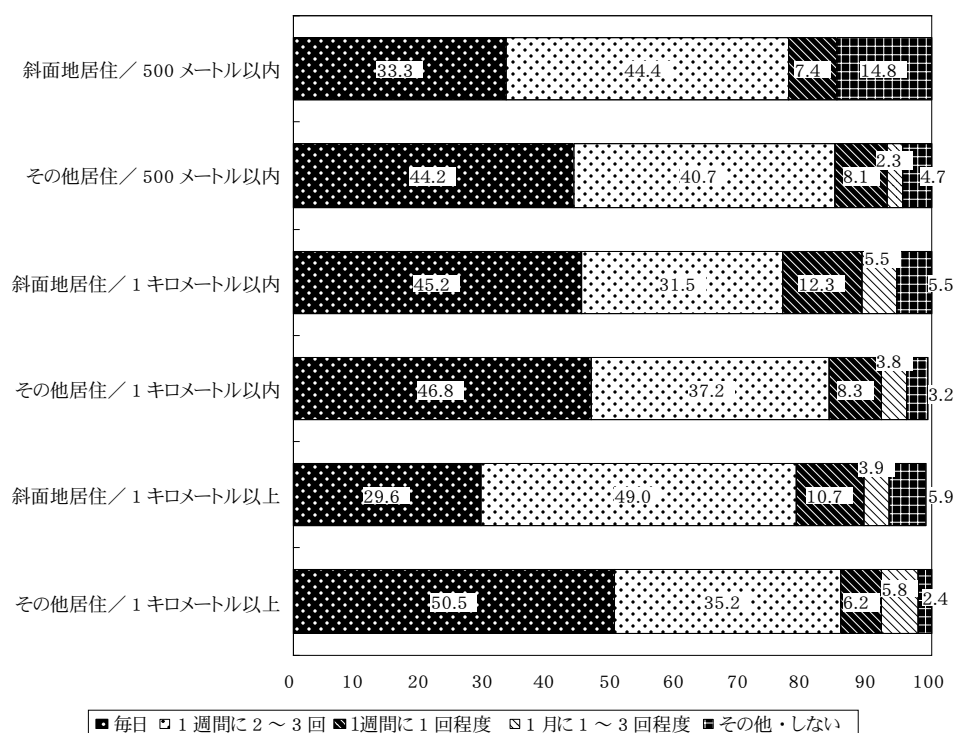
	合計	一人暮らしの世帯	夫婦だけの世帯	その他の世帯
男性	306 100.0	38 12.4	189 61.8	79 25.8
女性	560 100.0	214 38.2	189 33.8	156 27.9
合計	870 100.0	252 29.0	379 43.6	235 27.0

(3) 買い物の距離と頻度

距離が1キロメートル以上になると交通手段に変化が生ずることが分かったが、それでは買い物の頻度には変化があるであろうか。距離が遠いことや交通費を必要とすること等は持ち帰る荷物の量や、費用に影響することから、頻度にも影響すると思われる。持ち帰る量が少なければ、回数を増やすことで補うであろうし、費用がかかるのであれば、回数が少なくなるであろう。この関係は距離と頻度の関係で、どのように表れるのであろうか。図表4にその結果を示している。当然同居家族の有無で買い物の頻度は異なるであろうし、距離でも異なるであろう。

図表4により頻度を見ると、500メートル以内では斜面地居住とその他居住では「毎日買い物をする」と「その他・買い物をしない」で差が認められる。1キロメートル以内の距離では「毎日買い物をする」では差がないが、「週に2～3回」「週に1回程度」等に差がでている。つまりその他居住に比べると斜面地居住では買い物の回数が少ない方の比率が高い。また、距離が1キロメートル以上では斜面地居住は毎日買い物が少なく、週に2～3回が増加する。このように距離の違いと生活環境は買い物の頻度に少なからず影響している。

図表4 距離と買い物の頻度の関係



(4) 買い物の距離と場所

距離と環境は買い物の交通手段や頻度に影響が認められたが、買い物はどこに行っているのだろうか。例えば配達等のサービスが得られる店なのか、近所の小売店なのか、商店街なのか。

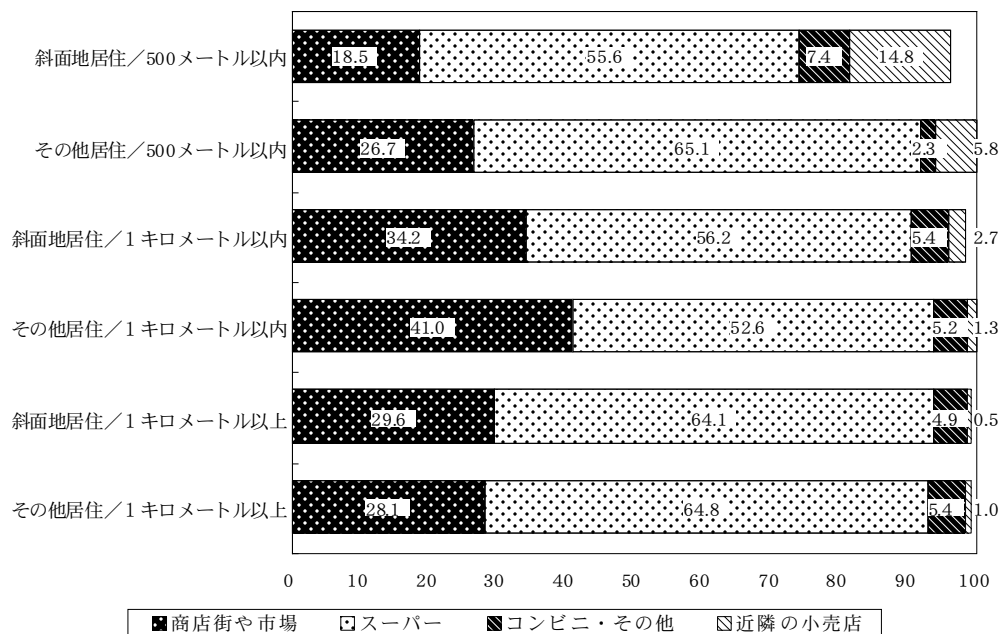
この点を確認したのが、下の図表5である。これによると、500メートル以内の斜面地居住の場合はその他居住に比べて、商店街や市場が少なく、スーパーや近隣の小売店が多いという結果であるが、これは居住地の近くに商店街や市場よりもスーパーや小売店が多いためであると考えられる。同様に、他の場所でも、斜面地居住とその他居住は1キロメートル以内では近くにある店を利用していることを示しているに過ぎないと考えられる。つまり1キロメートル以内に商店街や市場よりもスーパーがあるから、徒歩や自転車、公共交通機関を交通手段として利用するということがある。

この結果はしかし、1キロメートル以上になると異なるようである。1キロメートルを超えると斜面地居住もその他居住もほとんど同じ種類の店を利用している。ここでは買い物のしやすさや好みも反映していると思われるが、交通手段が自家用車や公共交通機関となり、行き先に商店街や市場が無い、あるいはスーパーが買い物をしやすいと考えている人の多いことを示唆している。

この結果は重要な示唆を与えてくれると思う。つまり、同様の距離に商店街や市場、スーパーやコンビニ、小売店があった場合の消費者の買い物行動と選好度を表すともいえる。特に、ここでは1キロメートル以上の場所に買い物に行く際に、スーパーと商店街や市場の選好を示唆している。同じ場所にあった場合はスーパーを6割、商店街や市場を3割が利用するであろうということである。一方、スーパー、商店街や市場までの距離が1キロメートル以内になると、近い方を利用する

可能性が高まるということである。商店街や市場は選好度の意味でも課題があるといえるかも知れない。

図表 5 距離と買い物をする場所の関係



(5) 買い物の距離と困ること

交通費や持ち帰る量等は距離に伴う問題として予測可能であるが、これ以外にも距離に伴い、困ることがあるのかを確認した結果が図表6である。図表6は最も困ることを一つだけ選択した結果であり、複数存在する困ることの中で最も困ることを示していると解釈できる。

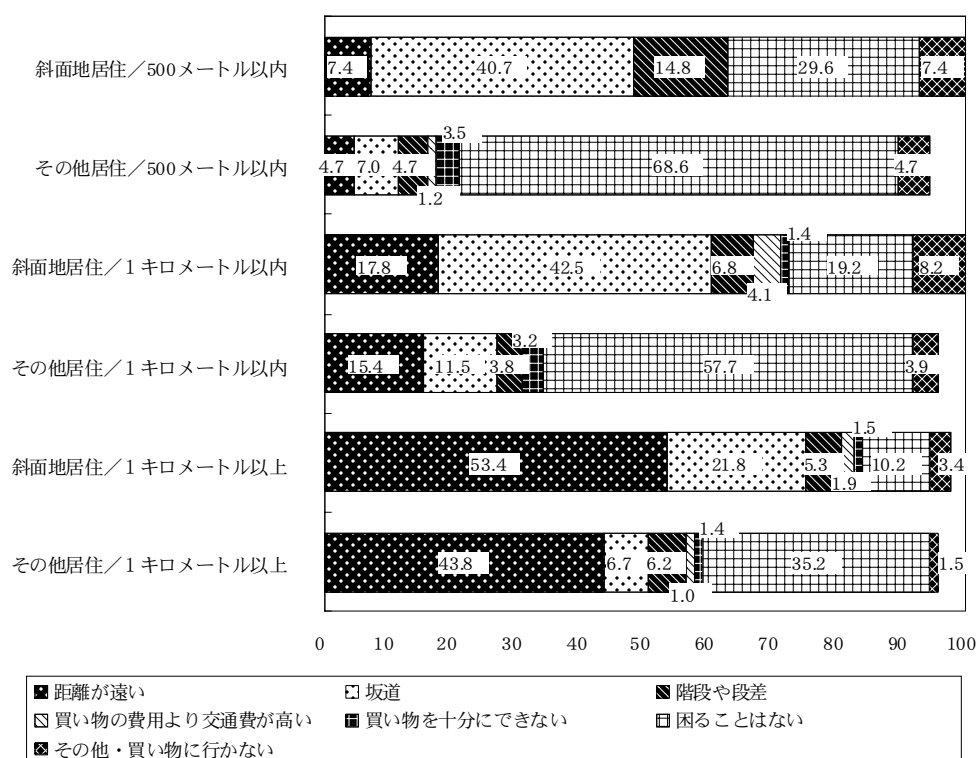
この結果によると、距離と困ることの関連で斜面地居住とその他居住では明らかに異なる。図表の通り、買い物に要する距離が500メートル以内でも斜面地居住では「困ることがない」は3割程度に止まり、坂道、階段や段差に困る人が5割以上である。一方でその他居住では「困ることはない」が約7割である。買い物が近くても斜面地が障害となっている。

1キロメートル以内になると、斜面地居住では距離と坂道を障害として意識する人が増加する。その他居住も距離や坂道や階段・段差を意識する人が増えるが、「困ることはない」という回答は斜面地居住では約2割に減少するが、その他居住では約6割である。

1キロメートル以上では距離が障害として最も意識され、坂道や階段・段差がこれに続く。一方、距離が1キロメートル以上になっても、「困ることはない」に関しては斜面地居住が約1割、その他居住は35.2%へと低下する。しかし、この差は明らかに大きいといえよう。

距離が障害として意識される比率から見て、歩いて暮らせる街は1キロメートル以内である。

図表6 距離と買い物で困ることの関係



2 社会関係と相互の手助け

ここでは近所の人との関係と相互の手助けを基に社会関係と社会関係資本について検討する。内容は近所の人との付き合いと年中行事や祭りへの参加、近所の人との付き合いの内容の居住地域での違い、相互の助け合いの程度である。

近所の人との付き合いは距離や生活環境により生じる問題を解決したり、減少したりする可能性があり、このような有益な社会関係であると考えられる相互の助け合いを社会関係資本と見なし、社会関係による社会関係資本の量と質を検討する。

近所の人との付き合いは日頃の交流により生じるのか、あるいは子どもを通じて生まれるのかであるが、今日では少子化のために、また子どもが少ないために、かつてのような頻繁に子どもの学校行事を通した親同士や子どもと地域の成人の関係を形成する機会は少なくなっている。機会はあっても子どもの数が少なく、社会関係を形成するほど回数がないままに終わる。このため、地域の社会関係も希薄化し、地域の教育力は低下している。これは地域で子どもを通した社会関係形成の機会が少なく、それを通じた共同作業が少ないことを意味しているとともに、それに変わる共同作業の機会も少なくなっている。地域の祭りがなくなるなどが典型であるが、ここではその意味で、初めに祭りや行事への参加と近所の人との付き合いの関連を見てみることにする。

(1) 近所の人との会話の頻度と年中行事への参加

図表7より、祭りや行事への参加では、好きで参加と役割で参加の計が89人で無回答と同数の1割程度にすぎない。参加している人と近所の人との会話の頻度の関連では、祭りや行事に参加している人の方が多いという結果である。役割で参加している人も会話頻度は多いことから、面接的な

交流が会話の頻度を高くするともいえるかもしれない。しかし、頻度は多いが浅い関係はあり得ることであるから、図表 8 には行事への参加と付き合いの内容の関連を示した（無回答は省略）。

図表 7 祭りや行事への参加と近所の人との会話の頻度の関連

	合計	ほとんど毎日	週に 2 回以上	月に 1 回以上	ほとんどない	無回答
好きで参加している	31 100.0	13 41.9	12 38.7	3 9.7	1 3.2	2 6.5
役割で参加している	58 100.0	27 46.6	24 41.4	2 3.4	5 8.6	— —
あまり参加していない	289 100.0	89 30.8	110 38.1	42 14.5	41 14.2	7 2.4
参加していない	403 100.0	96 23.8	120 29.8	64 15.9	110 27.3	13 3.2
無回答	89 100.0	13 14.6	20 22.5	6 6.7	13 14.6	37 41.6
合計	870 100.0	238 27.4	286 32.9	117 13.4	170 19.5	59 6.8

図表 8 祭りや行事への参加と近所の人との付き合いの内容の関連

	度話を 挨拶する する程 立ち	趣味を 一緒に する	宗教活 動を する	老人ク ラブ 等で一 緒に 活動す る	互いの 家を 行き来 する	病気の 時に 助け合 う	家事や 些細な 物や相 談のり とり	つき合 いは ない	その他
好きで参加している	24 77.4	6 19.4	4 12.9	7 22.6	8 25.8	9 29.0	15 48.4	— —	— —
役割で参加している	41 70.7	16 27.6	2 3.4	5 8.6	11 19.0	8 13.8	24 41.4	3 5.2	3 5.2
あまり参加していない	233 80.6	28 9.7	20 6.9	8 2.8	44 15.2	34 11.8	94 32.5	12 4.2	11 3.8
参加していない	299 74.2	22 5.5	17 4.2	6 1.5	41 10.2	36 8.9	113 28.0	45 11.2	9 2.2

図表 8 によると行事に参加している方が付き合いの内容は深い傾向を示している。ただし、参加している人が少ないために一人当たりのウエイトが高く、必ずしもこの結果そのまま、行事への参加は近所の人との付き合いを深くするとはいえないであろう。

(2) 近所の人との会話の頻度と付き合いの内容の関連

次に会話の頻度も付き合いの内容と関連しているかについて示したのが図表 9 である。これを見ると、毎日会話していても立ち話が多く、互いの家を行き来したり、些細な用事や物のやりとり、病気の時に助け合うという付き合いは多くはない。しかし、会話の頻度が高いほど深い付き合いが多いことが分かる。この結果から人数が少ないために、行事への参加は付き合いを深めるとは言い難いが、会話の頻度が多い人は付き合いが深いことを示唆している。しかし、この要因をもう少し視点を変えると、社交性等のパーソナリティも考慮しなければならないことになり、ここではそのような資料を準備できないのでここまでということになる。

図表 9 近所の人との会話の頻度と近所の人との付き合いの内容の関連

	合計	挨拶や立ち話を する程度	趣味を一緒にする	宗教活動とともに する	老人クラブ等 で一緒に活動する	互いの家を行き 来する	病気の時に助け 合う	家事や些細な用 事、相談や物のやり とり	つき合いはない	その他	無回答
ほとんど毎日	238 100.0	163 68.5	40 16.8	18 7.6	14 5.9	68 28.6	48 20.2	121 50.8	－ －	10 4.2	7 2.9
週に2回以上	286 100.0	242 84.6	24 8.4	12 4.2	10 3.5	30 10.5	32 11.2	106 37.1	5 1.7	5 1.7	1 0.3
月に1回以上	117 100.0	96 82.1	8 6.8	10 8.5	2 1.7	8 6.8	8 6.8	24 20.5	7 6.0	3 2.6	2 1.7
ほとんどない	170 100.0	113 66.5	3 1.8	3 1.8	1 .6	2 1.2	－ －	6 3.5	52 30.6	7 4.1	5 2.9
無回答	59 100.0	24 40.7	1 1.7	1 1.7	0 .0	2 3.4	2 3.4	6 10.2	0 .0	2 3.4	32 54.2
合計	870 100.0	638 73.3	76 8.7	44 5.1	27 3.1	110 12.6	90 10.3	263 30.2	64 7.4	27 3.1	47 5.4

(3) 道具による付き合い

他者との付き合いは近所の人との付き合いばかりではないので、会話や行き来、物のやりとり以外の、道具を用いた付き合いの有無を尋ねたが、その結果が図表10である。これによると、会話の頻度が多いほど、直接会う関係が多いのであるが、会話の頻度が月1回程度やほとんどない人も、必要なときは電話やメール、手紙を利用していることが分かる。ただし、必要なときだけであり、積極的に多用している様子はない。近所の人とほとんど会話のない人は、電話やメール、手紙のやりとりもほとんどしない傾向が強いようである。

図表10 近所の人との会話の頻度と電話やメール、手紙のやりとりの関連

	直接会って話をしたり、行動をともにする方が多い	会うよりも電話やメール、手紙でのやりとりのほうが多い	電話やメール、手紙は必要な時だけする	ほとんどしない
ほとんど毎日	119 50.0	23 9.7	57 23.9	27 11.3
週に2回以上	111 38.8	39 13.6	86 30.1	35 12.2
月に1回以上	31 26.5	12 10.3	48 41.0	21 17.9
ほとんどない	10 5.9	13 7.6	57 33.5	87 51.2
無回答	8 13.6	4 6.8	11 18.6	4 6.8
合計	279 32.1	91 10.5	259 29.8	174 20.0

(4) 近所の人との会話の頻度と近所の人との付き合いの内容（居住地域別）

それでは、生活環境の違いにより近所の人との付き合いの内容は異なるのであろうか。斜面地居住は生活環境として障害が多いことが分かったが、その他居住と比べた場合には近所の人との助け合いなどのより深い付き合いをしていると予測されるのであるが、それを確かめるために図表11には居住地域別の近所の人との会話の頻度と付き合いの内容の関連を示した。

これによると、付き合いが深いと推測できる、太枠で囲んだ部分の比率に大きな差は認められなかった。この結果の理由はいくつか考えられる。第一に、助け合わねばならないほどに大きな問題はないこと。家族がいるために近所の人の手助けを必要としないこと等である。高齢者の多くが口にするのは「家族がしてくれる」である。他者の世話にはなりたくないという意識の表れであるが、このような意識を超えてほどの問題が多くは起こらないであろう。事実図表11では「家族同様の付き合い」といわれる「家事や些細な用事、相談や物のやりとり」を両方の居住地域共に会話の頻度が多い人では5割の人が行っているものであり、このような関係は居住地区に関連なく行われることを示している。つまり、居住地域の環境により、近所の人との付き合いが大きく変わる訳ではないことが分かる。

図表11 近所の人との会話の頻度と近所の人との付き合いの内容の関連

		合計	挨拶や立ち話を する程度	趣味を一緒にす る	宗教活動をとも にする	老人クラブ等で 一緒に活動する	互いの家を行き 来する	病気の時に助け 合う	家事や些細な用 事、相談や物の やりとり	付き合いはない	その他
斜面地居住	ほとんど毎日	82 100.0	52 63.4	13 15.9	8 9.8	6 7.3	21 25.6	15 18.3	44 53.7	— —	5 6.1
	週に2回以上	116 100.0	98 84.5	11 9.5	4 3.4	3 2.6	12 10.3	11 9.5	43 37.1	2 1.7	1 0.9
	月に1回以上	42 100.0	34 81.0	5 11.9	3 7.1	2 4.8	1 2.4	2 4.8	7 16.7	2 4.8	2 4.8
	ほとんどない	66 100.0	42 63.6	— —	2 3.0	— —	— —	— —	— —	21 31.8	5 7.6
	合計	324 100.0	233 71.9	29 9.0	17 5.2	11 3.4	35 10.8	28 8.6	94 29.0	25 7.7	13 4.0
その他居住	ほとんど毎日	156 100.0	111 71.2	27 17.3	10 6.4	8 5.1	47 30.1	33 21.2	77 49.4	— —	5 3.2
	週に2回以上	170 100.0	144 84.7	13 7.6	8 4.7	7 4.1	18 10.6	21 12.4	63 37.1	3 1.8	4 2.4
	月に1回以上	75 100.0	62 82.7	3 4.0	7 9.3	— —	7 9.3	6 8.0	17 22.7	5 6.7	1 1.3
	ほとんどない	104 100.0	71 68.3	3 2.9	1 1.0	1 1.0	2 1.9	— —	6 5.8	31 29.8	2 1.9
	合計	546 100.0	405 74.2	47 8.6	27 4.9	16 2.9	75 13.7	62 11.4	169 31.0	39 7.1	14 2.6

(5) 社会関係の量と居住地域の関連

相互の助け合いとして15項目（付表につけた調査票の間4参照）をあげて、「手助けをした」「手助けをしてもらった」を回答してもらった。その結果を「した」「してもらった」に1点、この両方の場合に2点を配点し、その平均得点を算出して、社会関係の量とした。平均点が高いほど社会関係量が多いことになる。ただし、この平均得点は「手助けをした」「手助けをしてもらった」項目数の平均数ともいえる数値であり、一つの項目について行った回数の平均点ではない。その意味では平均点が高いことは数種類の手助けを「した」「してもらった」ことを示すにすぎず、手助けの広がりを表している。回数でもなく質でもない。

このような意味を表す図表12の平均得点を見ると、斜面地居住の方が、その他居住よりも高い得点を示している。社会関係の質的な側面や回数をこれにより説明はできないが、手助けの種類は斜面地居住の方が多いことを示している。

図表12 手助けの種類の数

斜面地とその他の比較用	平均値
斜面地居住	2.85
その他居住	2.47
合計	2.61

当初考えていた質的な側面に関しては資料が不足しているために、機会があれば検討を試みたいと思う。

以上、斜面地居住や環境条件による高齢者の生活の困難さの違いを見てきたのであるが、高齢者は生活の障害が多くても斜面地から降りてはこない場合が普通である。誰もが住み慣れた土地を簡単には離れるはずがない。歩いて暮らせる街を目指すのであれば、居住地域の近くに社会資源を増やすことが重要なようである。

以下には、調査結果の概要を順次紹介している。

第2節 調査結果の概要

I 調査内容と斜面地居住者の区分方法

1 調査内容

この調査では傾斜地居住にともなう生活問題を既述の通りの仮説を設定したのであるが、実際に調査した内容は3つに類別できる。一つは日常での生活問題、特に距離に伴う生活問題。二つ目は社会関係資本の量と質。三つ目は地域の変化や愛着について。

一つ目の日常での生活問題では日用品や食料品の買い物と病院への通院の二種類の質問により距離に伴う問題の有無を尋ねた。

二つ目の社会関係資本の量と質では、地域の活動や行事、団体への参加及び、近隣の人との付き合いの頻度や内容について尋ねた。さらに近隣の人との相互の助け合いの有無について質問した。

三つ目は、住んでいる地域のよいと思う「もの」や「こと」、ずっと住み続けたい、こどもや孫にも住んでほしいと思う等と、地域の景観に気をつけている等について質問した。また、現在の居住地から転居する場合の条件を尋ねた。

これらの質問について以下では、距離と場所、付き合いの頻度と内容、景観への配慮に視点を置いて分析した。

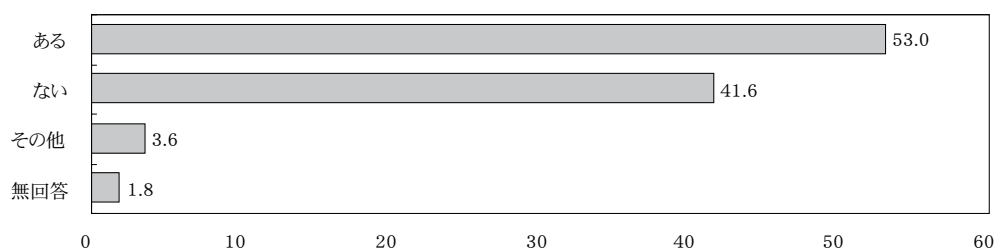
2 日常の生活問題と斜面地居住者の区分方法

日常生活の問題に関しては買い物と通院という二つの主要な事柄について質問した。買い物に関する質問は、散歩や買い物での外出の頻度、日用品・食料品の買い物をする店の種類、最も利用する店までの距離、最も利用する店までの移動手段、買い物で困ることである。また、通院に関する質問は、通院頻度、通院方法、通院で困ることである。これらに付随して、日常生活で利用する道路の危険性、生活全体で困っていること・気になること・悩みについて尋ねた。これらの質問への回答から地(校)区で斜面地に居住にしているであろうと推測し、斜面地居住とその他居住に区分した。以下ではこの区分により結果を比較し検討する。

(1) 日常生活で利用する道路の危険性

図表1は「日常生活で利用する道路は転倒などの危険性を感じることや、そのような場所がありますか」と質問した結果を示している。

図表 1 日常生活で利用する道路で転倒などの危険性を感じる、場所の有無



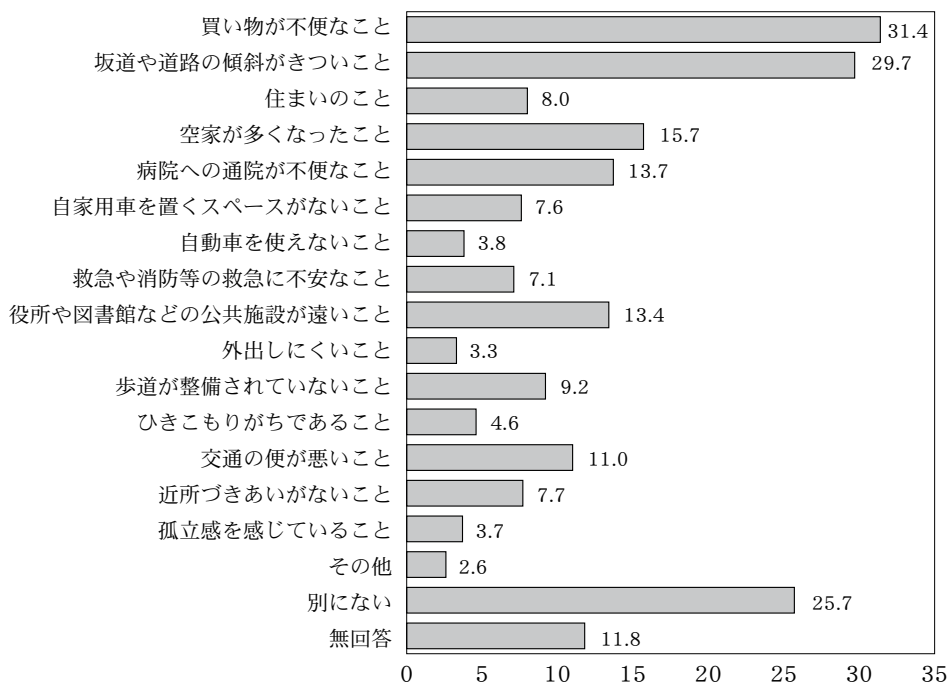
これによると 5 割以上の人々が危険性を感じたり、そのような場所があると回答している。

(2) 生活全体で困っていること・気になること・悩み

図表 2 は日常生活で困っていることや気になること、悩みに関して複数回答で質問した結果を示している。これによると「買い物に不便」「坂道や道路の傾斜がきつい」「別がない」という回答が多く 30～25% であった。これらの他に「空家が多くなった」「病院への通院が不便なこと」「役所や図書館など公共施設が遠いこと」等も 1 割以上の人々が困ると回答している。

距離に伴う不便が生じる主要なこととして以下で検討する買い物と通院では、買い物を最も多くの人が困るとしているが、通院は約 1 割であった。

図表 2 生活全体で困ることや気になること、悩み（複数回答）



(3) 斜面地居住者の区分方法－斜面地居住とその他居住の区分

調査地の概要でも述べた通り、調査地(校)区では回答した全ての人が斜面地に居住している訳ではない。しかし、図表 1、2 に示した転倒などの危険を感じる場所や生活全体で困ることの中で、

斜面地居住のためと推測できる回答がある。具体的には「坂道や道路の傾斜がきつい」「自家用車を置くスペースがない」「救急や消防の等の不安がある」「外出しにくい」である。そこでこれらの回答者を斜面地居住とし、その他居住者と区分して比較することで、生活問題を検討することにする。この区分方法による斜面地居住者数は324人、その他居住者数は546人である。

図表 3 生活全体で困ることと転倒などの危険性を感じることや場所の関連性

困っていることや悩み（多重回答）	危険性を感じること、場所				
	合計	ある	ない	その他	無回答
買い物が不便なこと	273 100.0	194 71.1	71 26.0	5 1.8	3 1.1
坂道や道路の傾斜がきついこと	258 100.0	213 82.6	34 13.2	7 2.7	4 1.6
住まいのこと	70 100.0	42 60.0	23 32.9	5 7.1	— —
空家が多くなったこと	137 100.0	90 65.7	41 29.9	6 4.4	— —
病院への通院が不便なこと	119 100.0	89 74.8	23 19.3	6 5.0	1 0.8
自家用車を置くスペースがないこと	66 100.0	42 63.6	19 28.8	4 6.1	1 1.5
自動車を使えないこと	33 100.0	22 66.7	7 21.2	4 12.1	— —
救急や消防等の救急に不安なこと	62 100.0	54 87.1	7 11.3	1 1.6	— —
役所や図書館などの公共施設が遠いこと	117 100.0	79 67.5	33 28.2	4 3.4	1 0.9
外出しにくいこと	29 100.0	23 79.3	3 10.3	2 6.9	1 3.4
歩道が整備されていないこと	80 100.0	69 86.3	9 11.3	1 1.3	1 1.3
ひきこもりがちであること	40 100.0	28 70.0	9 22.5	3 7.5	— —
交通の便が悪いこと	96 100.0	71 74.0	21 21.9	2 2.1	2 2.1
近所づきあいがないこと	67 100.0	45 67.2	18 26.9	4 6.0	— —
孤立感を感じていること	32 100.0	23 71.9	5 15.6	4 12.5	— —
その他	23 100.0	14 60.9	7 30.4	2 8.7	— —
別にない	224 100.0	66 29.5	151 67.4	5 2.2	2 0.9

さらに日常生活で利用する道路の危険性をこれに加味して、斜面地居住者を抽出すると、図表 3 のように「買い物が不便なこと」194人、「病院への通院が不便なこと」89人、「歩道が整備されて

いないこと」69人、「交通の便が悪いこと」71人も危険性を感じることや場所がある。一方、斜面地居住の対象とした項目の中でも危険性を感じることや場所がないと回答した人は「坂道や道路の傾斜がきつい」34人、「自家用車を置くスペースがない」19人、「救急や消防の等の不安がある」7人、「外出しにくい」3人である。後者は斜面地でなくても道路の危険性はあると考えてそのままにして、前者を斜面地居住に加えるかということであるが、「買い物が不便なこと」「病院への通院が不便なこと」「交通の便が悪いこと」は斜面地居住でなくても考えられるために、斜面地居住には加えないこととした。また、「歩道が整備されていないこと」もそのような道路は多く存在するために、斜面地居住には加えないこととした。これにより、斜面地居住者数は上述の通りとして区分する。

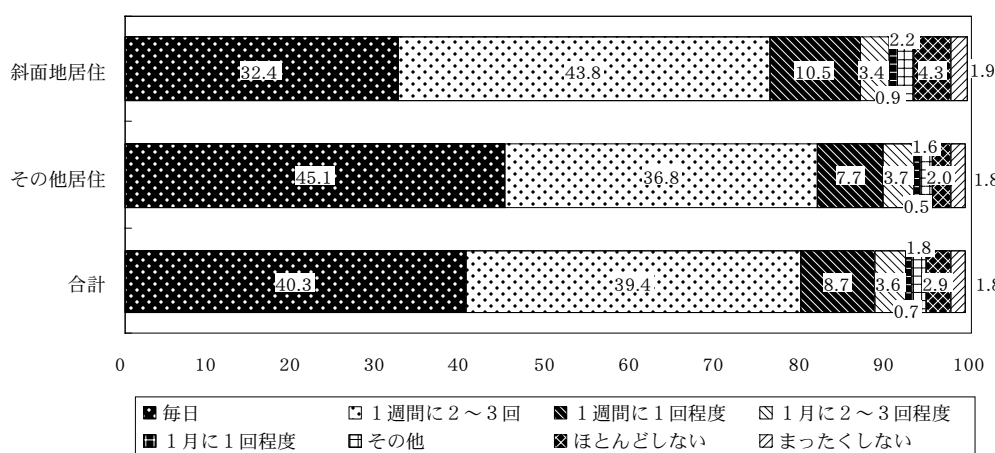
Ⅱ 買い物と通院の問題

1 買い物の問題

買い物の距離が高齢者の生活に大きく影響していることは上述の通りである。これに坂道、斜面地が加わった場合の影響の大きさを以下では、その他居住の場合と比較して見ていくことにする。

(1) 日用品・食料品の買い物の頻度

図表4 買い物の頻度



図表4には買い物の頻度を、斜面地居住とその他居住及び、それらの合計（全体）を示している。これによると買い物をまったくしない人も2%程度存在するが、買い物は「毎日」と「週に2〜3回」「週に1回程度」で居住地に関係なく9割近く、あるいは以上になる。

居住地による違いは大きくはないが、斜面地居住は「毎日」よりも「週に2〜3回」の方が多く、その他居住では「毎日」が多くなっている。さらに、「週に1回程度」を加えても、その他居住の方が買い物の頻度は高いといえる（図表では無回答は省略している）。

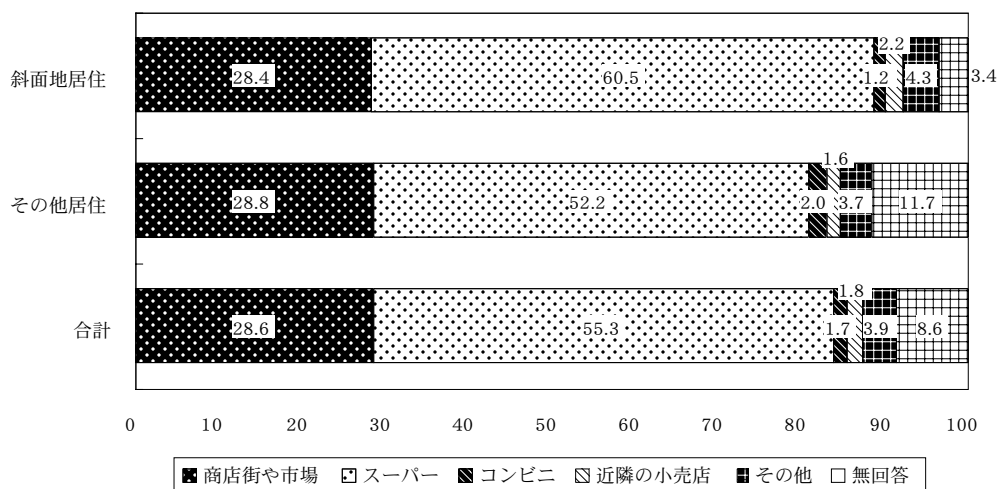
しかし、これだけではその他居住の買い物頻度が高い要因が居住地の特性によるとはいえない。例えば、斜面地居住の方が年齢が高いかも知れない。あるいは家族が同居していることで、買い物に行く必要が低いかも知れない。これらに関しては後に属性で見てみることにする。

(2) 日用品・食料品の買い物をする場所

毎日や週に1～2回の買い物をどこでするかについて図表5に示した。買い物の場所は主として「スーパー」「商店街や市場」である。「近隣の小売店」は2%程度である。

居住地で比較すると斜面地居住はスーパーを利用している人が6割で5割程度のその他居住よりも高い比率を示している。商店街や市場に関しては斜面地居住もその他居住ほとんど同水準である。その他居住の無回答が多かったのは理由が分からないが、買い物をしないことを示しているのかも知れない。

図表5 買い物をする場所



(3) 買い物をする店までの距離

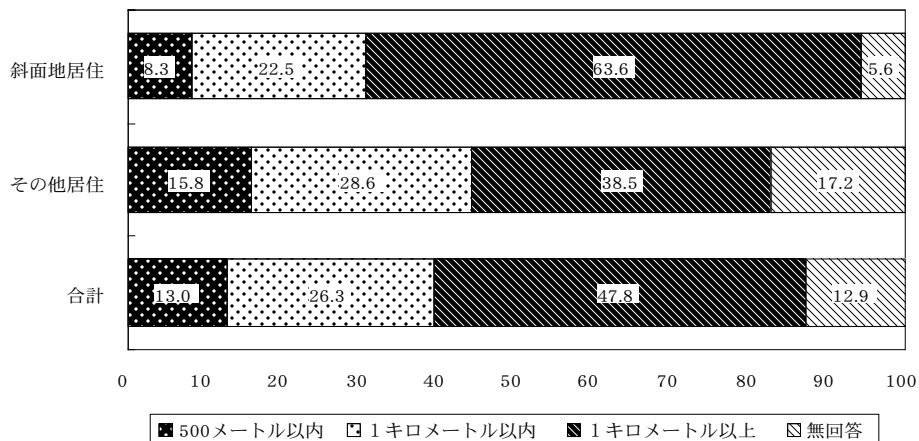
買い物をする店までの距離については500メートル以内、1キロメートル以内、1キロメートル以上で回答を求めたが、特別に基準がある訳ではなく、500メートル～1キロメートル程度なら徒歩で可能と考えたためであり、1キロメートルを超えると徒歩では荷物を持って帰るのがきついであろうと考えたためである。ただし、これは季節により異なる可能性はある。同じ500メートルでも吹きさらしや日陰のない道路では冬や夏にはきつくなるであろうし、坂道の有無も同様である。そのために基準は流動的である。

結果は図表6の通りであるが、斜面地居住の方が買い物に長い距離を要している人が多くを占めている。斜面地居住では500メートル以内が1割以下であり、1キロメートル以内が約2割である。6割以上が1キロメートル以上の距離を買い物に行っている。

これに対してその他居住の買い物の距離は、500メートル以内が15.8%であり、1キロメートル以内が28.6%、1キロメートル以上が38.5%である。その他居住の方が買い物の距離が短いことになる。上の基準を当てはめると、その他居住は4割以上が徒歩圏内の店を利用し、斜面地居住は3割程度である。少なくとも距離としては、その他居住の方が買い物には便利といえるかもしれない。ただし、この質問にもその他居住の無回答が多かった。買い物に行かないのか、距離が分かりにくいのか、あるいは最もよく買い物に利用する店が特定していないためなのかは不明である。この買

い物に利用する店までの距離と頻度には関連性があると考えられるが、これは第1節で検討している。

図表6 最も買い物に利用する店までの距離



(4) 買い物の交通手段

距離により交通手段が異なってくるであろうし、そのために要する費用も異なる。

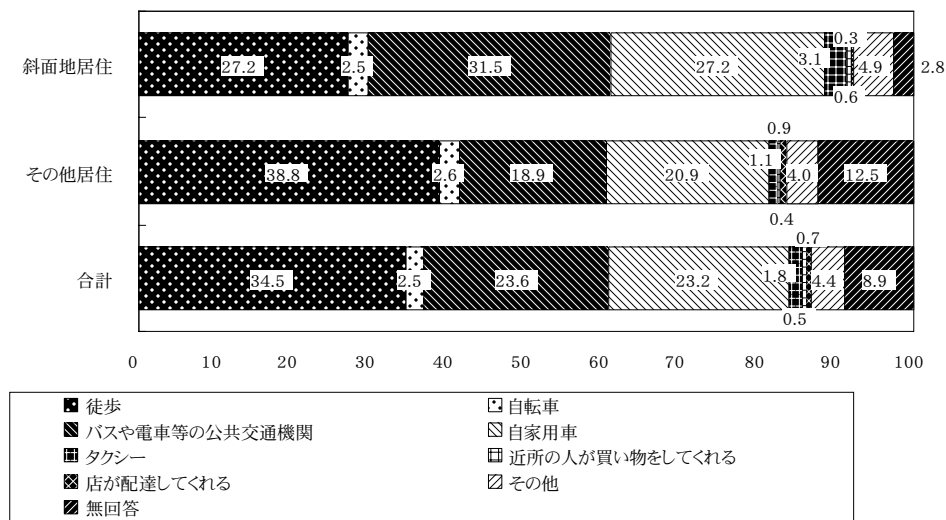
最も頻繁に買い物に利用する店までの交通手段は全体では、多い順に「徒歩」「公共交通機関」「自家用車」である。

斜面地居住では買い物の交通手段として「公共交通機関」利用が最も多く、その他居住では「徒歩」が最も多いことは利用する店までの距離の違いを表している。図表6に示した買い物をする店までの距離では、設定した基準を当てはめた場合、その他居住は4割以上が徒歩圏内の店を利用し、斜面地居住は3割程度であった。徒歩での買い物可能距離はこの基準に結果が符合している。

距離が1キロメートルを超えた場合の交通手段が「公共交通機関」になるか「自家用車」になるかの違いであるが、差は大きくはないが、斜面地居住は「公共交通機関」が多く、その他居住は「自家用車」が多くなっているようである。

この点も買い物の頻度に影響があると考え第1節で検討した。

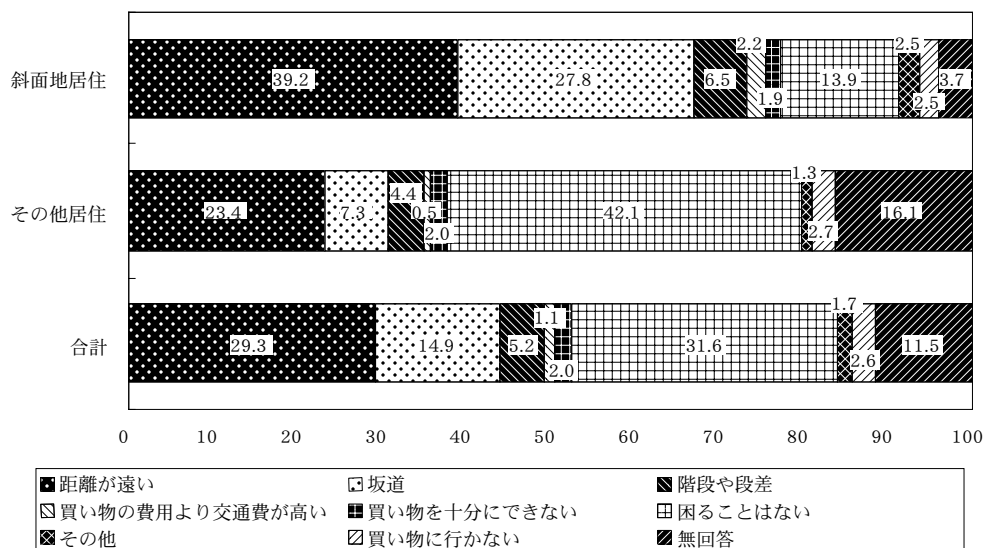
図表7 日用品の買い物に利用する交通手段



(5) 買い物の際に困ること

食料品や日用品の買い物をする際に困ることを一つ選択してもらった。本来、困ることは複数あると思われるが、最も困ることの意味で一つ選択としたのである。ただし、回答には複数回答している場合もあった。この場合は番号の若い方を回答として採用した。これによる回答結果への影響は1%以下である。

図表8 買い物の際に困ること



買い物で最も困ることは、斜面地居住では「距離が遠い」「坂道」「階段や段差」であるが、「困ることはない」も1割以上存在する。一方、その他居住では「困ることはない」が最も多い回答であり4割を超えている。次いで「距離が遠い」である。「坂道」「階段や段差」も計1割程度存在する。この1割の人を斜面地居住に含めて集計しなかったのは、生活全体で困ることを複数回答で選択した際に、回答として選択されなかったために、斜面地居住に該当せず、利用する店までの途中

の坂道や段差と見なしたためである。

図表 8 より、斜面地居住もその他居住も距離は買い物での明らかに大きな問題となっていることが分かる。斜面地居住ではこの距離がより多くの人に影響し、さらには坂道がバリアとして加わっているのである。両者の間の居住地の違いが「困ることはない」に関して大きな差になって表れている。

2 通院の問題

通院は日用品や食料品の買い物と並んで距離が障害となる主要な日常生活の要素である。しかし、通院は全ての人が必要としている訳ではなく、その点では斜面地居住やその他居住が生活の困難さの違いを浮き上がらせるとは限らないかも知れない。

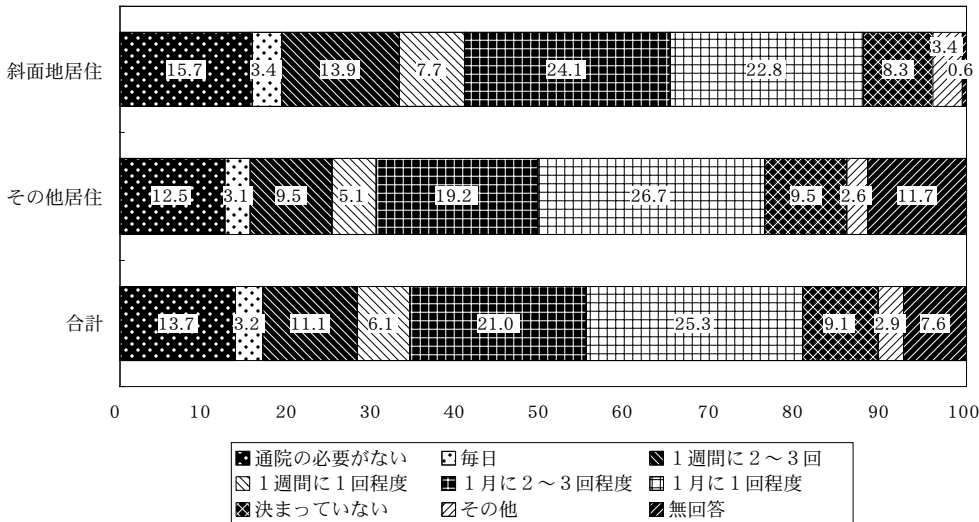
以下では、通院の回数や通院手段、通院で困ることについて質問し、斜面地居住とその他居住の違いを比較してみた。

(1) 通院の回数

通院を必要としない人は少なく、全体で13.7%である。無回答をこれに加えると2割程度の人が通院を必要としていないが、残りの8割の人は通院していることになる。

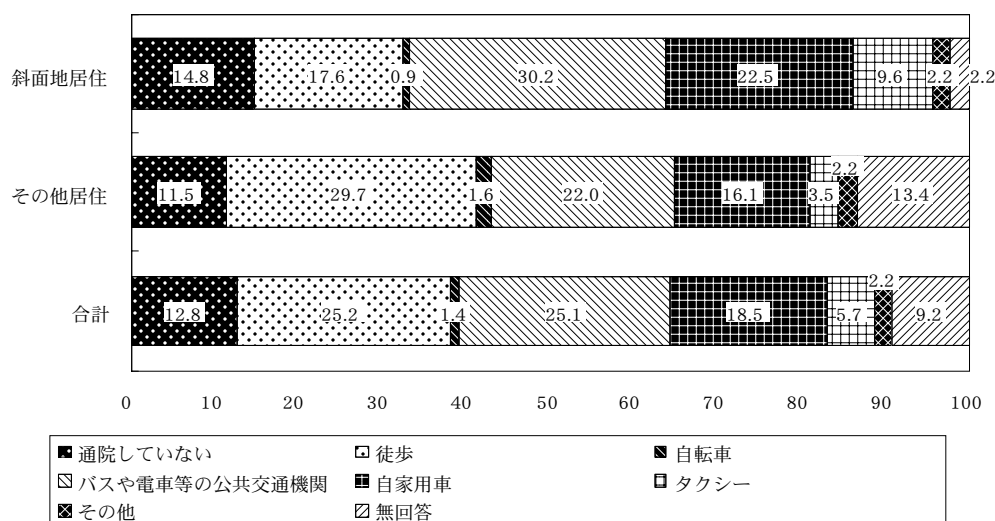
図表 9 によると、通院の頻度は斜面地居住の方が回数が多いようである。つまり「毎日」は同水準であるが、「週に2～3回」「週に1回程度」は斜面地居住の方が多く、「月に2～3回」は同水準で、「月に1回程度」ではその他居住が多くなる。この結果には年齢が影響するとも考えられる。

図表 9 通院の回数



(2) 通院手段

図表10 通院手段



本来通院していない人は図表9と同じはずであるが、結果は違いがある。通院手段では通院回数よりも通院していない人の数が減少した。減少は些細であるからこのまま見ていくことにする。

通院手段は斜面地居住では「公共交通機関」が多く、「自家用車」「徒歩」の順である。「タクシー」も約1割を占めている。その他居住では「徒歩」が最も多く3割を占めている。次いで「公共交通機関」「自家用車」であるが、自家用車は斜面地居住よりも低い比率を示している。「タクシー」は3.5%に止まっている。

この結果は年齢の影響か、斜面地の影響かは明確ではないが、斜面地居住のほうが、多くの人が徒歩以外の手段により通院していることが示されている。これは坂道や距離の影響であるのかを以下の通院で困ることで確認する。

(3) 通院で困ること

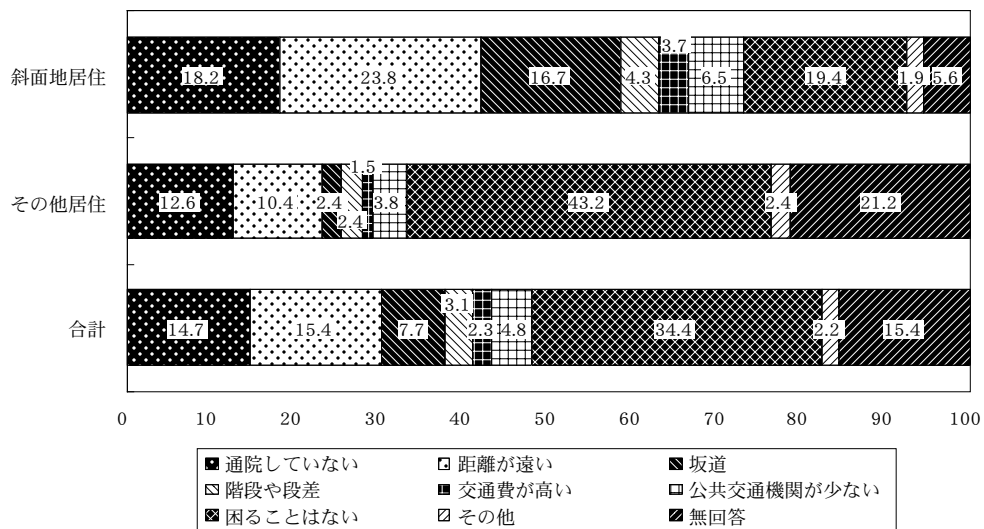
通院で困ることも買い物と同様に複数あると考えられるが、最も困ることの意味で、一つ選択として質問した。結果として買い物同様に複数回答があったが若い回答番号を集計に採用した。これによる集計結果への影響は1%未満である。

また、この問も全員に質問したために「通院していない」という回答が含まれるが、これも通院回数、通院手段と一致するはずである。しかし、一致していないし通院手段よりも増加しているが、これも通院手段同様にこのまま見ていくことにする。

斜面地居住では、通院で困ることは「距離が遠い」「坂道」である。その他居住では「困ることはない」が4割以上を占めて圧倒的に多かった。「距離が遠い」は二番目に多く1割程度である。交通手段として徒歩が多いこともあり、交通費で困る比率も斜面地居住に比べて低い。

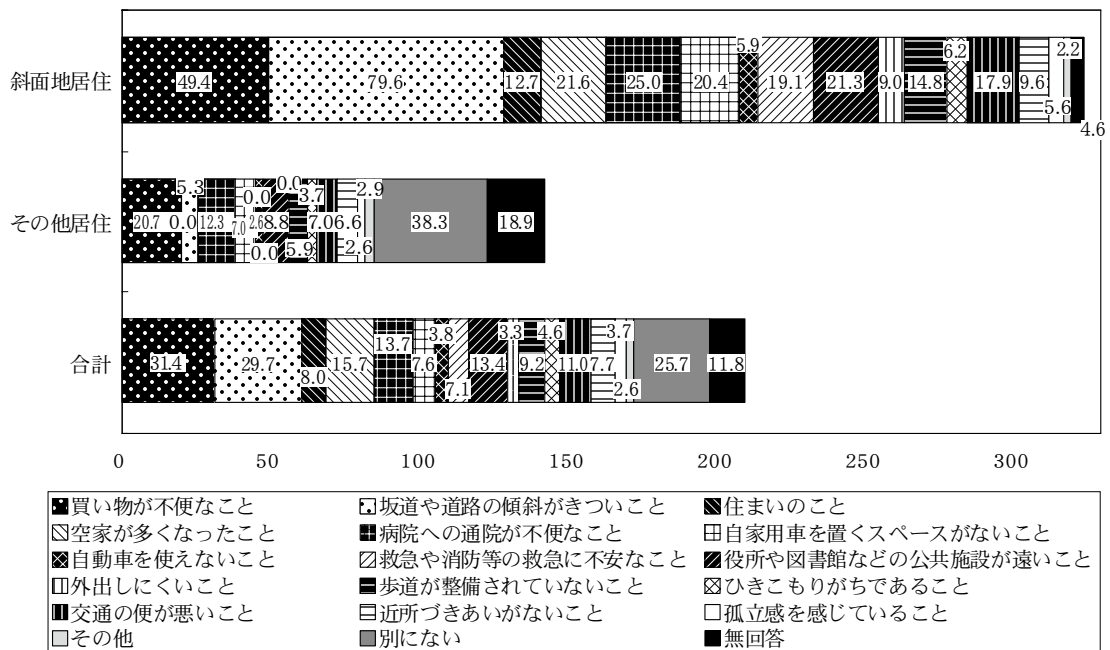
このように通院で困ることに関しても斜面地居住とその他居住では困ることの大きな違いが認められる。また、距離は共通した問題であることも分かる。

図表11 通院で困ること



3 生活全体で困ること、気になること、悩みについて

図表12 生活全体で困ること、気になること、悩み



生活全体で見た場合の困ることや気になること、悩みについては、図表12の通り、斜面地居住が圧倒的に多いことが分かる。この結果から即、生活のバリアが多いことを示しているとは言い難いが、坂道や道路の傾斜がきついことに関しては、これらを基準として斜面地居住とその他居住に区分した経緯から当然であるが、買い物が不便、空き家が多くなっている、病院への通院が不便、自家用車を置くスペースがない、救急や消防の不安等の多くの項目でその他居住を上回っている。その他居住は別れない、無回答が多く、生活の種々の面での落差は歴然としている。ここには斜面地

は高齢者の生活のバリアとなっていることが明示されている。

Ⅲ 地域の社会関係

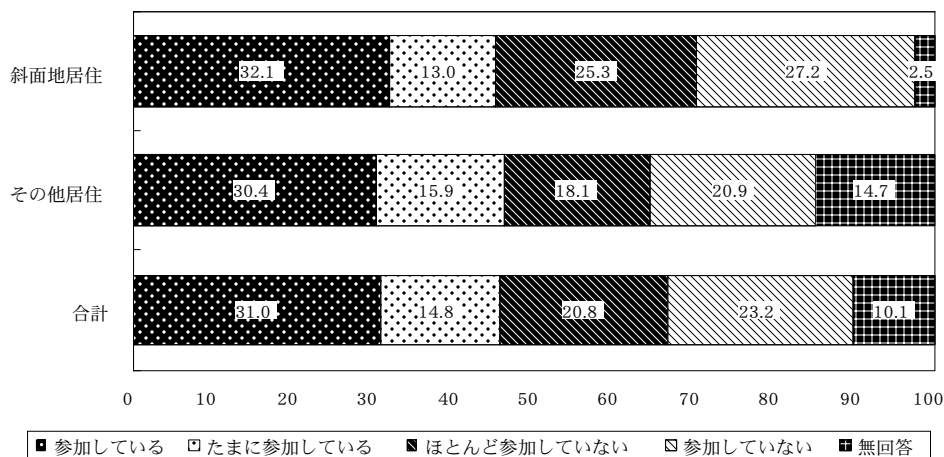
社会関係に関しては、町内会・自治会活動への参加、参加している地域団体、伝統的な年中行事や祭りへの参加、近所の人との会話や付き合い方、電話やメールの手紙の頻度等について尋ねた。これらが直接には社会関係資本とはなり得ないかも知れないが、調査地の概要の通り、自治会加入率が高く、活動も活発であることから、可能性は高いと思われる。

1 町内会・自治会への参加や行事への参加

(1) 町内会・自治会活動への参加

調査地の概要でも述べた通り、調査地では99%という高い町内会・自治会加入率を示している。しかし、加入と活動参加とは別であり、図表13が示す通り実際に活動に参加しているのは「たまに参加している」も含めても斜面地居住、その他居住ともに45%程度に止まり、過半数が参加していないと回答している。高齢を理由に参加を断る場合も多くなるのが一般的な傾向であるから、この結果も首肯できる。

図表13 町内会・自治会活動への参加



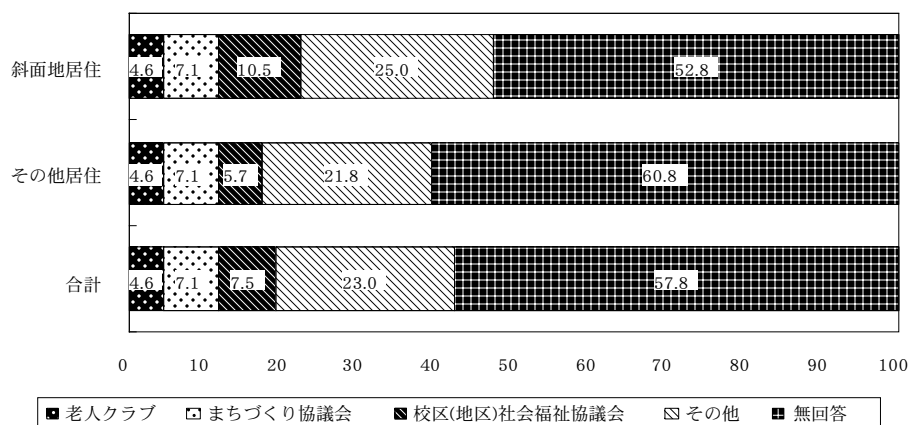
(2) 参加している地域団体

参加している地域団体は複数のはずであるが、この質問では一つだけ選択してもらった。しかし、複数あるはずの参加団体への回答は無回答が圧倒的に多く、しかも、回答した参加している地域団体は、老人クラブでもまちづくり協議会でもなく、その他が多かったのである。一つ選択であるから、複数参加している地域団体の中から最も参加している団体を選択したはずであると考え、老人クラブでもまちづくり協議会でもない、その他を確認した。

その他には、病気や体調不良等の参加できない状態、及び近所との折り合いという人間関係等により主に参加していない人が多く含まれている。このことから地域団体への参加は老人クラブ、

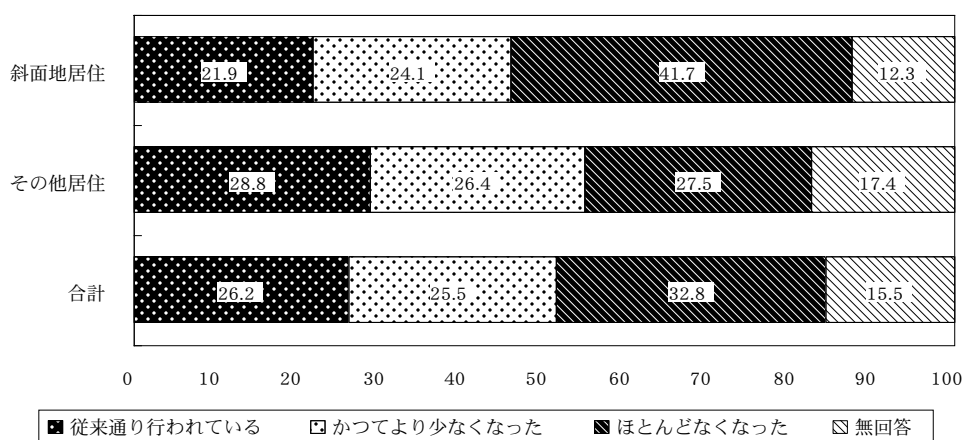
まちづくり協議会、校（地）区社協への参加比率が実質的参加を表しているとも言えそうである。高齢になると地域団体への参加が難しくなることを示唆しているようでもある。

図表14 参加している地域団体



(3) 伝統的な年中行事の実施

図表15 伝統的な年中行事の実施



地域の活動として代表的と思われる伝統的な年中行事の現状を尋ねたのは、これにより、地域共同体としての共同作業が行われ、地域の連帯や凝集性が強まると考えられるからである。結果は図表15の通り、従来通り行われているのは全体では26.2%であり、斜面地居住では2割程度、その他居住では約3割である。

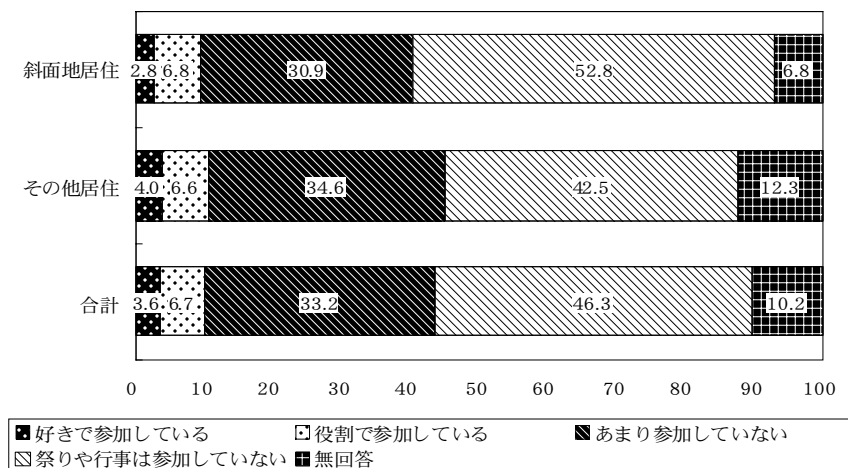
かつてより少なくなった、ほとんどなくなったが斜面地居住では65%以上と占め、地域活動の衰退を示している。

(4) 伝統的な年中行事や祭りへの参加

少なくなっている伝統的な行事や祭りへの参加については、図表16の通り、約9割が参加していない。この結果は居住地が斜面地、その他ともに違いはない。

行事に参加していないということは、ある意味では地域の人々との関係も育たないことや年齢のために参加できないことを示している。

図表16 年中行事や祭りへの参加



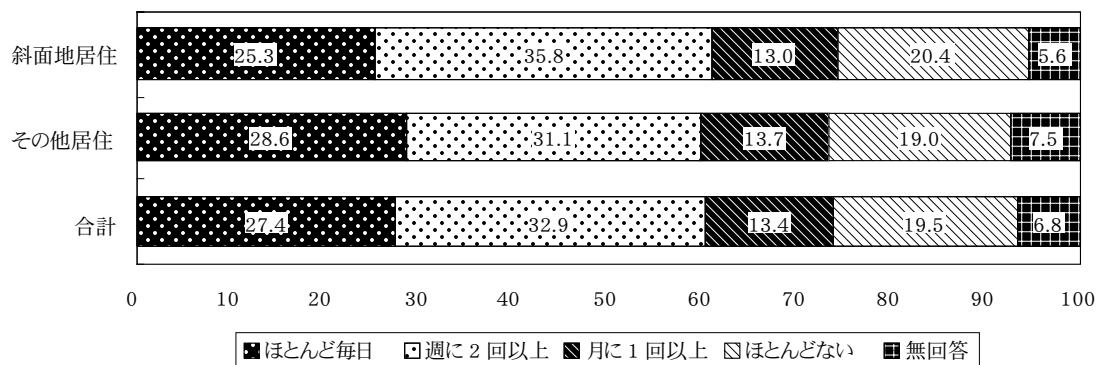
2 近所の人との付き合い

(1) 近所の人との会話

町内会・自治会活動への参加は半数未満、年中行事や祭りへの参加はほとんどないということがここまで分かったことであるが、近所の人との会話の頻度はどうであろう。

この点では、図表17を見る限り、全体や斜面地居住とその他居住ともに大差がなく、ほとんど毎日、週に2回以上の両者の計は約6割である。つまり、6割以上の方は近所の人とほとんど毎日あるいは、少なくとも週に2回以上は会話をしていることになる。一方、残りの4割程度は会話がほとんどないことになる。

図表17 近所の人との会話の頻度



(2) 近所の人との付き合いの内容

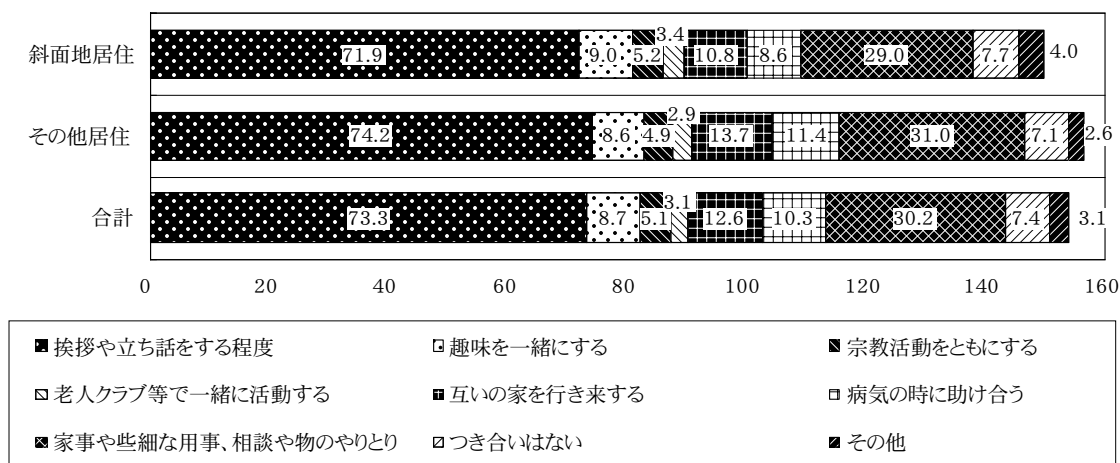
その会話あるいは付き合いの内容は複数回答であるから相手により異なるのは当然であるが、圧

倒的に多いのは「挨拶や立ち話しをする程度」である。7割以上の人がこれをしている。近所の人との会話の頻度では4割程度の人が会話がほとんどない状態であったが、会話をする则挨拶や立ち話し程度ということであろうか。一方では3割程度の人「日常での家事やちょっとした用事、相談ごとや物のやりとりをする」という近所付き合いをしている。これは親戚や家族との付き合いと同様の付き合いに分類される。近所付き合いで次に多いのは「互いの家を行き来する」である。次に「趣味を一緒にする」「病気の時に助け合う」と続く。

一方、「付き合いはない」人は7%程度、無回答3%程度であり、これらから約1割の人は近所付き合いがないと思っていることになる。

挨拶や立ち話し程度の頻度は多いが浅い付き合いが多くを占めていることが推測できるが、3割程度、あるいはそれ以上の人は親戚や家族と同様の近所付き合いをしていることが分かる。

図表18 近所付き合いの内容

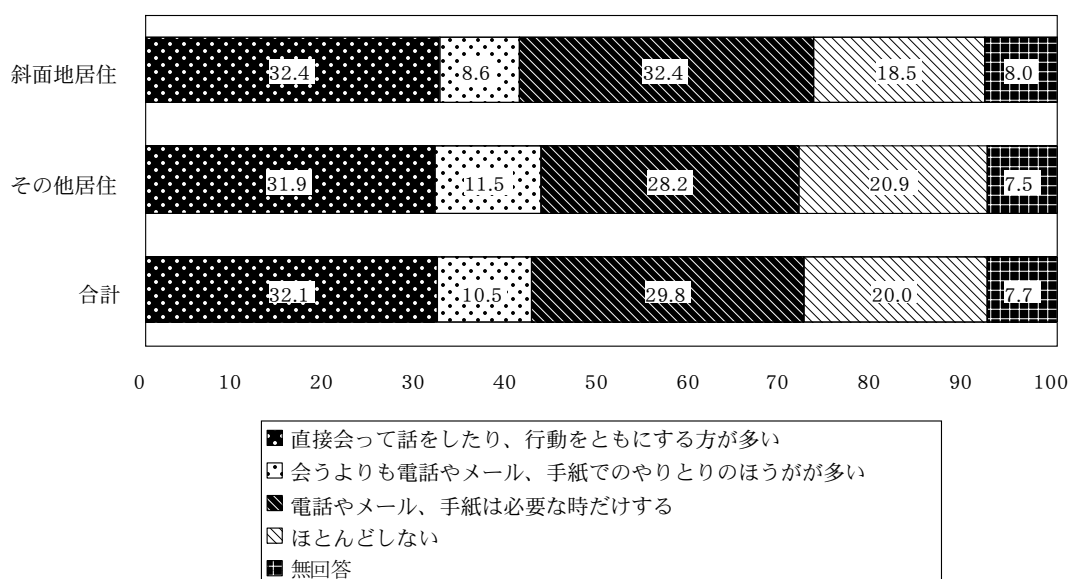


(3) 家での電話やメール、手紙

隣近所の人との付き合いは挨拶や立ち話し程度であっても、家で電話で話をしたり、ルールや手紙をやりとりしていれば、直接的な付き合いは希薄でも社会関係が希薄とは言い難い。間接的、直接的近所付き合い以外にこれらの付き合いがどの程度なされているかを尋ねた。

結果は図表23の通りであり、「直接会って話をしたり行動を共にする方が多い」が3割、「電話やメール、手紙のやりとりの方が多い」が3割であった。一方、「ほとんどしない・無回答」も約3割である。「会うよりも電話やメール、手紙でのやりとりのほうが多い」が1割であるから、近所付き合いとは別の付き合いが手紙や電話、メールのやりとりという方法で存在することになる。近所付き合いのみが社会関係ではなく、見え難い所での社会関係が成立しているとも言える。

図表19 電話やメール、手紙でのやりとり



IV 地域の助け合い

調査票では、日常的な助け合いについて「ご近所の方と次のような手助けをしたり、してもらったりしたことがありますか（団体でした場合も含む）」と15項目について尋ねた。

回答方法は、一つの項目に対して手助けをした場合としてもらった場合のどちらかがあれば、「した、してもらった」のどちらかの番号に回答をし、両方があれば両方の番号に回答する。どちらもなければ回答しないという方法である。

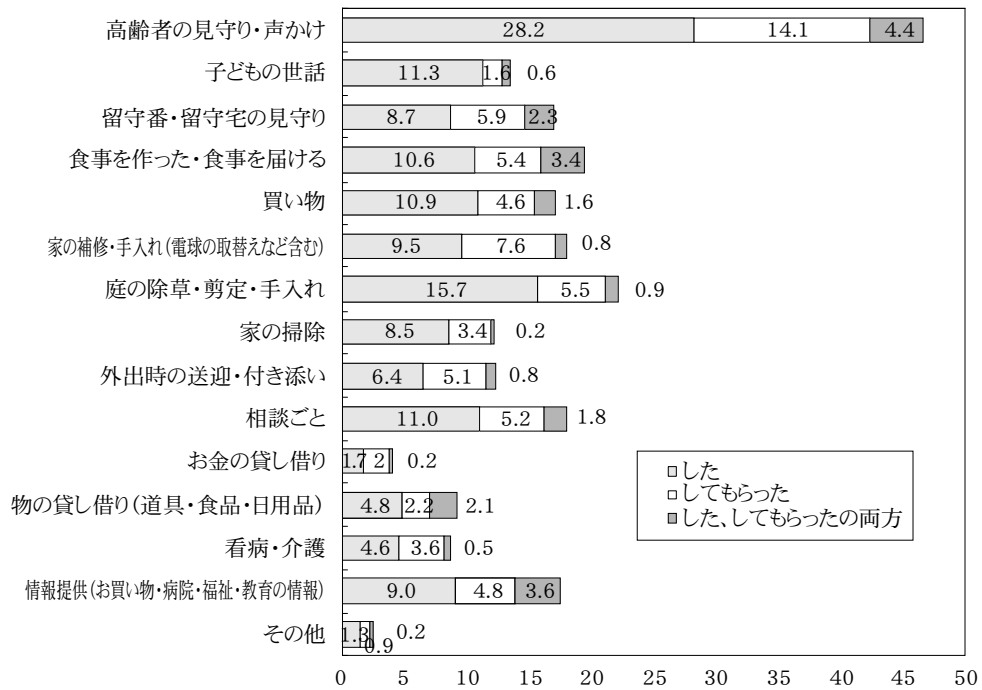
1 全体の傾向

全体で見た場合の地域の助け合いは、手助けをしたでは、高齢者の見守り・声かけ、子どもの世話、食事を作る、買い物、相談ごととはどれも10%以上の人が行っていた。この中で手助けをした比率が高い項目は、高齢者の見守り・声かけであり28.2%の人が行っていた。しかし、この比率は他の調査に比べて高くはない（高齢者に限定しない場合は40%を超えるという結果もある）。回答者が高齢者であることがこの結果になっていると思われる。

一方、手助けをしてもらったでは、10%を超えている項目は高齢者の見守り・声かけの14.1%のみである。してもらった項目の比率も他の調査に比べて高くはない。

また、全ての項目で、手助けした・してもらったの両方の人がいる。その中で比率が高い項目は、高齢者の見守り・声かけ、食事を作る、情報の提供であるが、5%未満である。

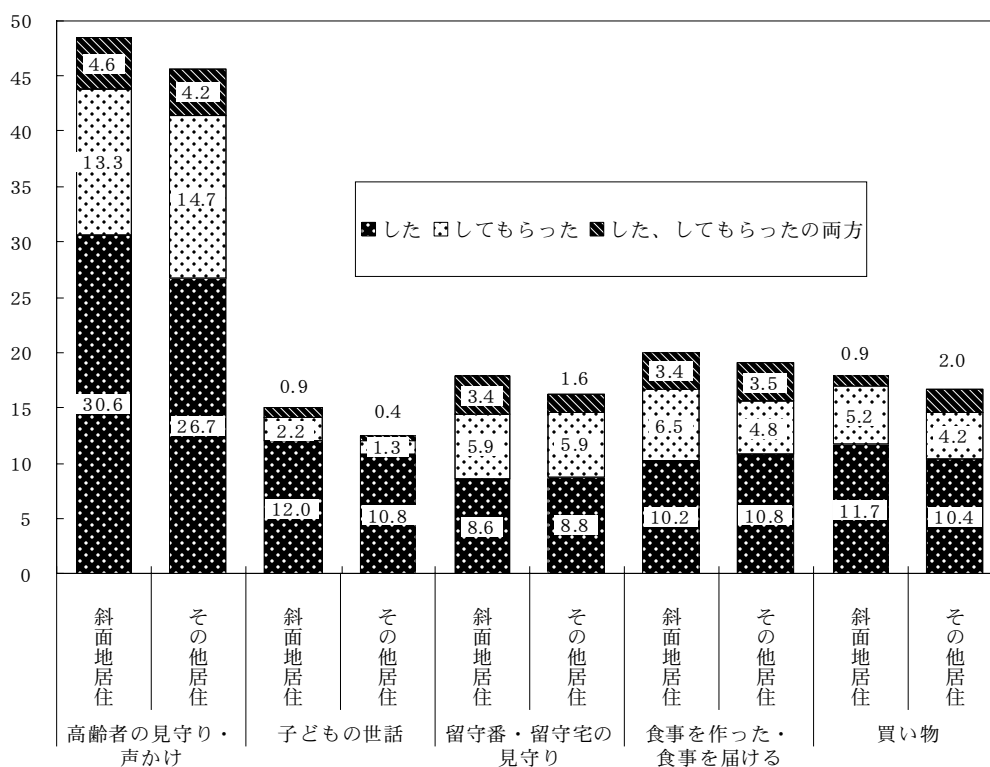
図表20 地域の助け合い（全体）



2 居住地域別の地域の助け合い

居住地別に助け合いをまとめたのが図表21-1～3である。項目が多いために3つの図表に分けて示している。これによると、「家の掃除」と「その他」を除くすべてで斜面地居住の方が相互の助け合いを「した・してもらった・両方」の計が高い比率を示している。特に差が大きいのは「家の補修・手入れ」「庭の掃除・剪定・手入れ」「相談事」「情報の提供」である。他の項目では居住地による大きな差はない。項目によってはその他居住の方が「手助けした」が高い比率を示したり、「手助けしてもらった」が高い比率を示している。

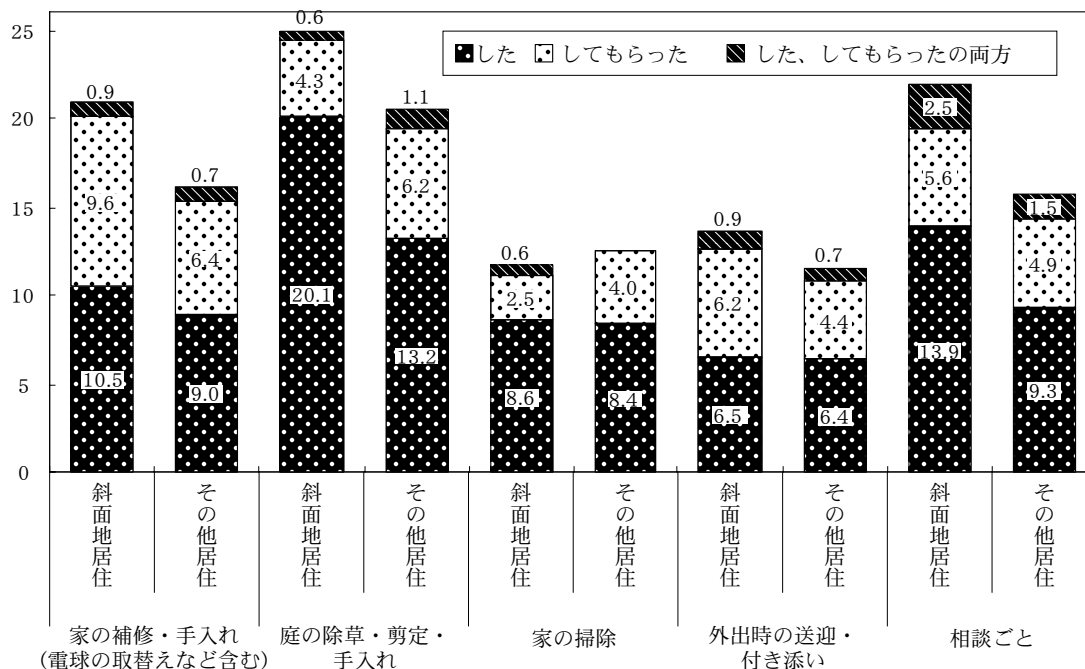
図表21-1 居住地別の相互の助け合い



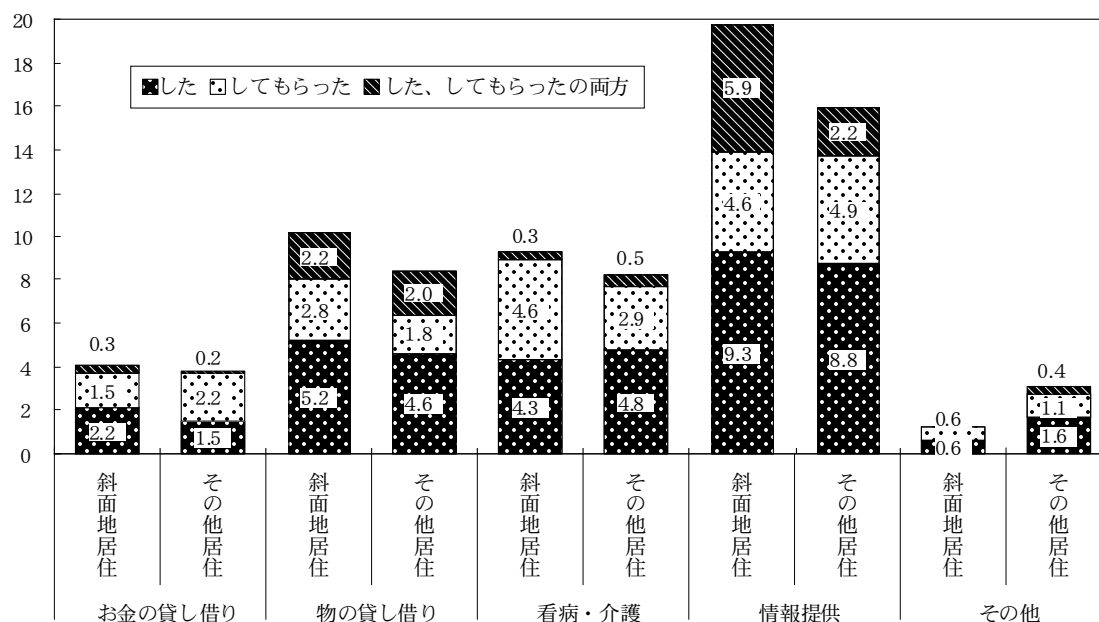
このことで分かる通り、「手助けする・してもらう」ということは、その事態が起こるということである。手助け（する・してもらう）を必要とする事態が自分や相手に起こることで成立する行為であり、困っている相手がいればいるだけ行うことができる。また、手助けを必要とする事態は社会関係の量の多さや質とは無関係に起こることであり、手助けをした人が多いことが社会関係の量が豊富であることを示している訳ではない。手助けは個人の（ここでは団体でした場合も含んでいる）の主体的行為であり、手助けを必要とする人が多ければ、それだけ多くの手助けができることになる。となると、多く手助けした人はそれだけ必要とする人が周りにいたことを意味し、社会関係の量が関係する。つまり、相互の手助けは社会関係とは無関係に独立して起こることであるが、独立して生じる事態を直接・間接に知り得るのは社会関係の量と関連するであろうし、実際に手助けを複数ででも個人ででも行うことに結びつくのは主体である個人にかかわる。主体にかかわるこ

とにより、個人のもつ社会関係は日常生活での自分自身の問題解決に直接役立つような社会関係資本とはいえない。しかし、社会関係の豊かさは自分自身の問題解決の可能性を拡大することになる。

図表21-2 居住地別の相互の助け合い（続き）



図表21-3 居住地別の相互の助け合い（続き）



V 地域の変化や愛着について

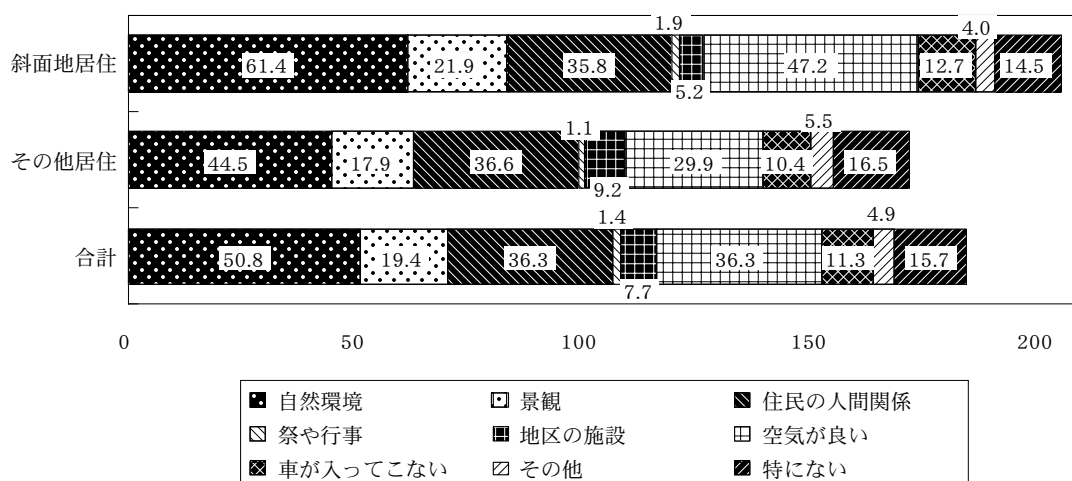
これまで見た限りでは、斜面地に居住することは生活の障害も多くなることを示している。しかし、斜面地には長所もある。以下には、その長所の認識や地域への愛着、地域の変化、転居の条件や安心して暮らせる条件等について尋ねた結果を示す。

1 地域で良いと思うこと・もの

地域の長所をどのように認識しているか。良いと思うことやものについて質問した。結果は図表22の通りである。これによると斜面地居住では自然環境、景観、空気がよいと思っている人が多いことが分かる。特に自然環境については6割以上、空気がよいは5割近くの人が思っている。一方、祭りや行事に関して評価が低いのは、このままでよいと思っていないことを示しているのだろうか。地区の施設に関しても評価が低い。

斜面地居住とその他居住を比較すると積み上げた回答比率の合計が200%を超えている斜面地居住と170%程度のその他居住では、斜面地居住の方が良いと思うこと・ものが多いという長所があることを示している。地域の人間関係に関しても良いと思う人が35～36%である。全体では自然環境、景観、人間関係、空気がよいと思っていることである。

図表22 地域で良いと思うこと・もの



2 地域への愛着

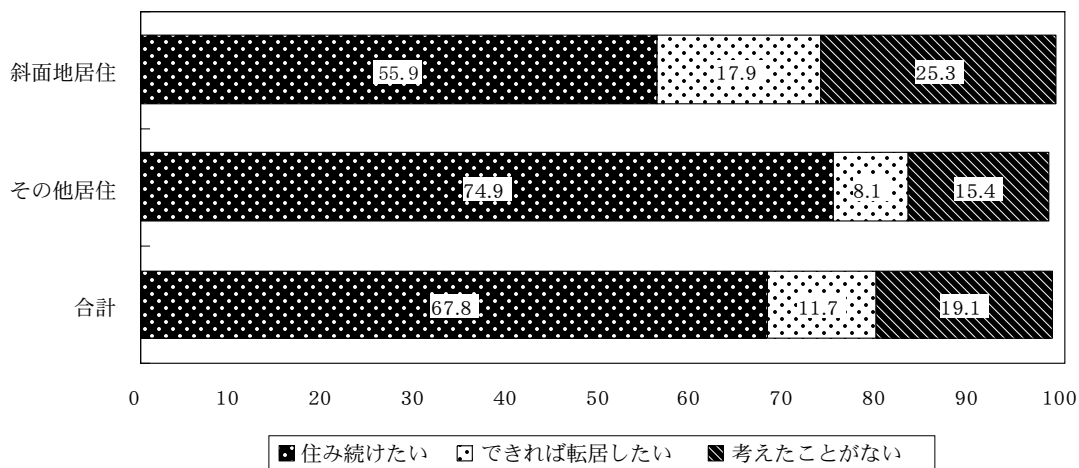
(1) 住み続ける

景観や自然環境、空気や人間関係がよいと思う地域に住み続けようと思っているのか、それとも年齢的な条件から転居も考えているのかを尋ねて、地域への愛着の表れのひとつと見なすことにする。

結果は図表23に示す通り斜面地居住とその他居住では違いが表れた。「住み続けたい」に関してはその他居住が7割以上であるのに対して、斜面地居住では55.9%と、約半数に止まっている。一方、「できれば、転居したい」ではその他居住が1割以下であるが、斜面地居住では2割近くが転

居したいと思っている。しかし、「考えたことがない」は斜面地居住の方がその他居住よりも多かった。また、「考えたことがない」は両者ともに「転居」よりも多く、斜面地居住では4分の1が考えたことかないである。

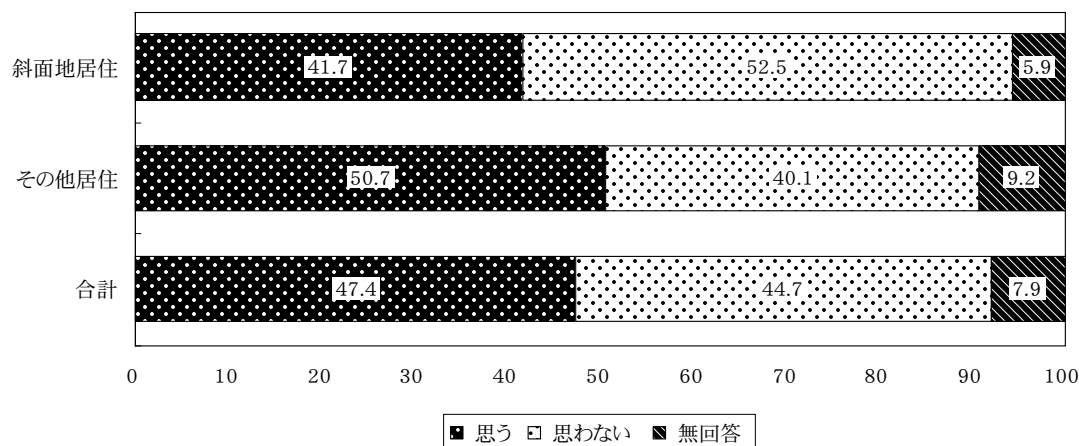
図表23 ずっと住み続けたい



(2) 子どもや孫にも住んで欲しい

子どもや孫にも住んで欲しいと思うのは、地域への愛着であろうか。それとも、寂しいとか、単に一緒に生活したいとか、そのような意味であろうか。この質問ではその点の詳細は分からないが、ここでは地域への愛着と見なして結果を見ていくことにする。

図表24 子どもや孫にも住んで欲しい



図表24によると、斜面地居住とその他居住の間で大きな違いは認められない。どちらも子どもや孫にも住んで欲しいと「思う」「思わない」がほとんど同水準である。ただし、細かく言えば、斜面地居住の方が「住んで欲しいと思う」が10ポイント低く、「住んで欲しいと思わない」が10ポイント高い。つまり、「思う」「思わない」が居住地域により、丁度4割と5割で逆になっている。こ

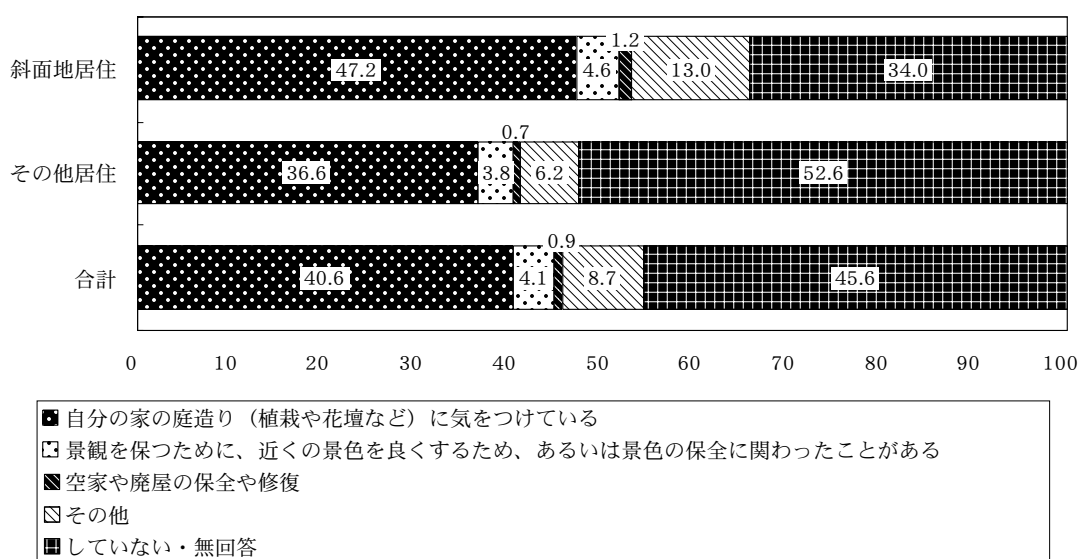
のことから、あえていえば、地域への愛着はあるが、子どもや孫に住んで欲しいと思うほどではないのか、既に同居している場合を除き、環境がきびしいと思っているのか等である。

(3) 景観に気を配る

居住地域への愛着は景観に気を配ることでも表れるであろうと考えて、景観に気をつけて行っていることについて尋ねた。

斜面地居住の5割近くの人が「自分の家の庭造り」に気をつけており、その他居住よりも多かった。また、「何もしていない・無回答」に関しても斜面地居住の方が少ない等、結果からは景観に関しては斜面地居住の方が気を配っている様子が窺える。

図表25 景観へ気を配る



(4) 空家の増加

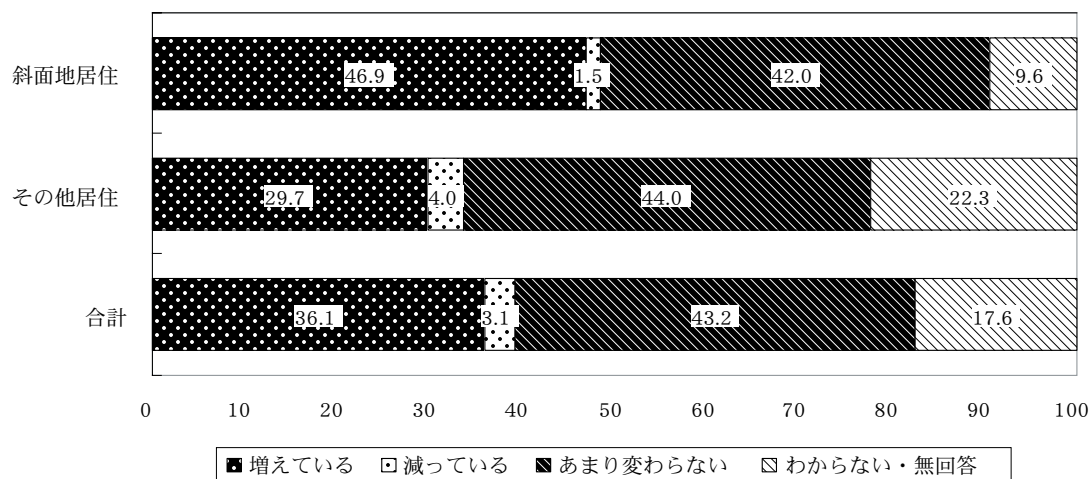
空家の増加に関しては少子化や高齢化の影響や、地域の環境の変化を示している。必ずしも地域への愛着を直接示しているとはいえないし、居住地域の地形の影響で転入者が少ないために空家が増えているともいえるが、環境や地域に気を配ることで気がつくことと、気がつかないことがある。その意味で、空家の増加に気がついていることは、地域への愛着を間接的に表していると見て取れる。また、空家に対する保全や修復の必要性を認識できたりもする。

地域の変化の認識と愛着を表すという意味で、空家や廃屋の増加について尋ねた。

結果は図表26に示した。これによると斜面地では空家や廃屋が増加していることを示している。高齢化が進んでいるとも考えられるが、46.9%が「増えている」と回答した。その他居住では約3割であるから、斜面地の方が空家や廃屋が増えているとみるべきであろう。地域の環境に気を配っていることの違いのみとはいいがたい。しかし、「あまり変わらない」という回答が斜面地とその他の間で差がないことや「わからない・無回答」がその他居住にかなり多いことからすると、地域の環境への気の配り方が違うことを示しているとも考えられる。いずれにしても斜面地の地域環境は空家や廃屋が増えていることは確かであろうが、気を配らない人はその他居住と同程度存在し、

気を配っている人は斜面地の方が多いといえるかも知れない。これも地域への愛着を表していることになるであろうし、斜面地の方が愛着はあるように見える。

図表26 空家や廃屋の増加



Ⅵ 転居や日常生活の安心

斜面地居住には景観や環境、人間関係等の良いところも多く、愛着もあるが、転居を考えたことがある人も皆無ではない。その転居の条件と日常生活での救急や消防の問題、役所や公共機関が遠い、交通が不便等の問題もない訳ではない。これらを考慮して安心して生活するために必要なことを尋ねた。転居の条件は不足していることや現在の生活で重要なことが条件になると思われる。そのため、安心して生活するために必要なことと重なる部分も多いと思われる。

1 転居の条件

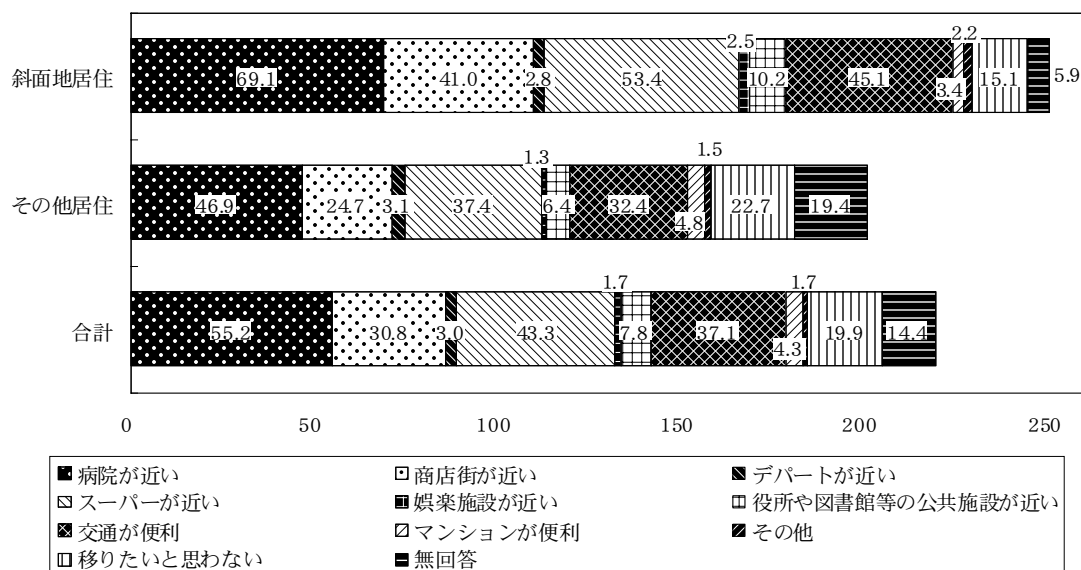
転居の条件は必要なこと・ものについて全て選択するという複数回答で質問した。その結果は図表27である。図表を見ると、一見して斜面地とその他の間の違いを示していることが分かる。第一に分かることは、斜面地居住の方が一人当たりの選択した項目が多いこととその他居住の無回答の多さである。

これを項目ごとに見ていくと、斜面地居住の約7割が選択したのは「病院が近い」であった。その他居住も「病院が近い」は最も回答が多かったのであるが、5割に満たない水準である。この違いは何を意味するか、明確ではないが、高齢化が進み医療へのニーズが高いと推測もできる。また、53.4%が「スーパーが近い」ことを条件としている。買い物物の不便さを表しているが、「商店街が近い」は41.0%であるから買い物には商店街よりもスーパーが選ばれる様子が窺える。スーパーに次いで三番目に多いのが「交通が便利」であった。これらの結果から、斜面地居住の転居の主要な条件は病院が近いこと、買い物物が便利（スーパーと商店街を加えると74.4%で病院を上回る）なこと、交通が便利なことである。一方、移りたいと思わない人も15.1%存在した。

その他居住の転居の主要な条件は病院が近い、買い物が便利なこと、交通が便利なことでは斜面地居住と同じである。しかし、病院が近い、買い物の便利さ（スーパーと商店街を加えてもると62.1%で病院を上回るのは同じ）、交通が便利のいずれも斜面地居住よりも低水準であり、移りたいと思わない人は22.7%、無回答は19.4%であり、この両方で4割を超える等、大きな違いが認められた。

生活環境として買い物、通院のための距離が障害になることに視点を置いて第1節でも検討したが、斜面地の方が障害は大きいことを確認できる。病院やスーパーを斜面地に近づける必要がある。

図表27 転居の条件



2 日常生活を安心して送るために重要なこと

日常生活を安心して送るために必要なことは、日常生活で困っていることは別の意味をもち、高齢者の不安とも関連する事柄である。多くの調査で既に報告されている主な不安は健康、経済、家族関係（人間関係）や社会保障である。特に昨今の年金・医療等の社会保障の問題や高齢者医療制度の開始等により、高齢者の不安、あるいは老後の不安として社会保障が順位を上げているが、基本的には健康であり、経済的に不安がなく、家族が近くにいることが、安心の必要条件である。その意味で、ここでは安心して送るための必要条件を尋ねたことになるが、回答には家族、近隣等の人間関係、福祉サービス、緊急時の救急・消防等を提示し、経済や健康は選択されることが明確であるために提示しなかった。つまり、一番の健康、二番の経済を除く三番目には、人間関係や福祉サービス、緊急時の救急・消防、役所のサービス等の中で何を重要と考えているかを尋ねていることになる。

結果図表28に示した通りである。これによると、斜面地居住で最も多かったのは「隣近所とのつき合い」であった。「同居している家族」「離れていても家族がいる」等の家族に関する回答も多いのであるが、「隣近所の親しい友人・知人」と並び「隣近所とのつき合い」は家族を上回った。「親

戚」は「役所のサービス」よりも回答が少なかった。

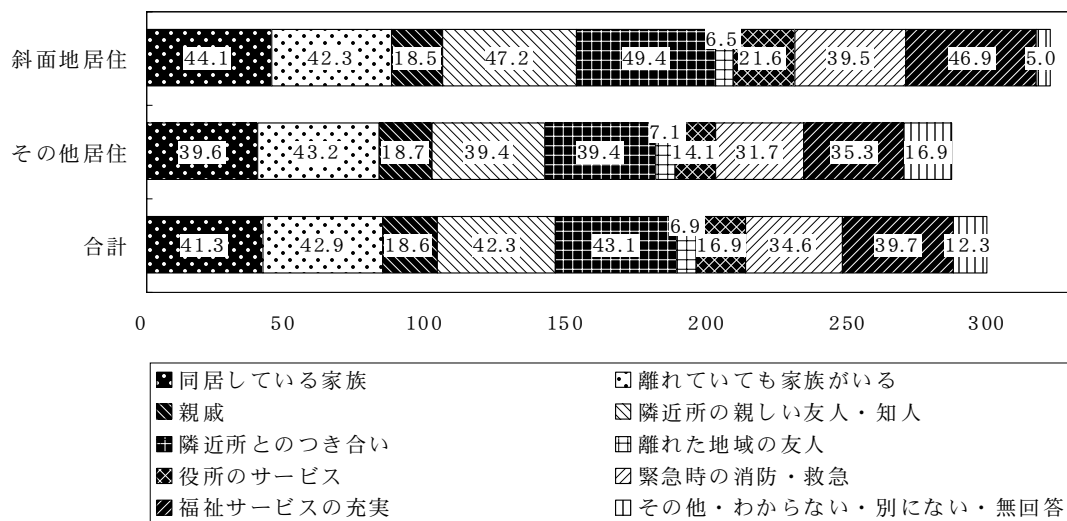
この隣近所との関係と同様に多かったのは「福祉サービスの充実」である。家族以上に安心して生活するためには重要と位置づけられている。また、「緊急時の消防・救急」も重要と考えられている。

その他居住の場合は「離れていても家族がいる」が最も多く、続いて「同居している家族」「隣近所の親しい友人・知人」「隣近所とのつき合い」が並んで重要とされ、「福祉サービスの充実」「緊急時の消防・救急」の順である。斜面地居住ほどに「役所のサービス」は重要と位置づけられていない。

このように斜面地居住ではどちらかというと隣近所とのつき合いや友人・知人を重視し、家族はその次であるが、その他居住では家族に次いで隣近所との関係を重視しているという違いが認められた。

北九州市と下関市で行った社会関係資本に関する調査結果では家族・親戚が中心の回答が多くを占め、近隣との人間関係を重視する回答は少なかったのであるが、この結果は斜面地居住の特徴といえるかもしれない。

図表28 日常生活を安心して暮らすために重要なこと



VII 対象者の基本属性

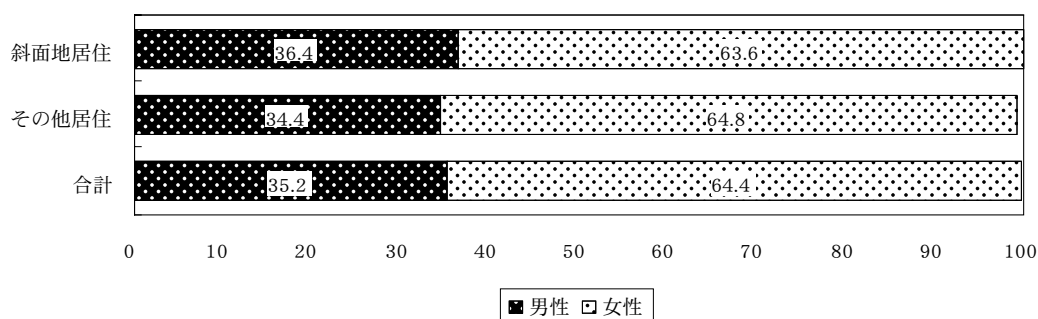
1 性別

性別は図表29の通り、全体では女性が64.4%、男性が35.2%であり、女性が男性の二倍近くを占めている。

調査に応じてくれた校(地)区の65歳以上全員を対象とした調査であり、回収率も96.7%と高いことから、この校(地)区の高齢者は女性が圧倒的に多いという構成である。

斜面地居住とその他居住の間には大差はないが、前者に男性多いことと後者では無回答が多い(無回答は省略)。

図表29 性別

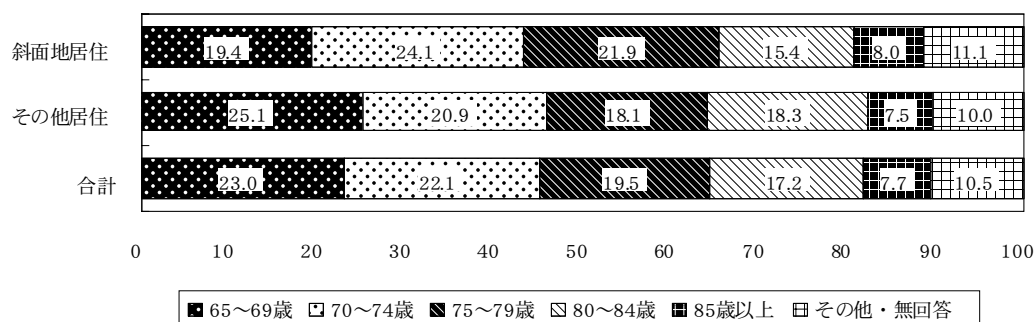


2 年齢構成

対象者の年齢構成は図表30の通りである。これによると全体では年齢が高くなるに従い比率は低下する。しかし、65～74歳と75歳以上に区分すると、前者が45.1%、後者が44.4%でほとんど同じである。なお、65歳以上を対象としたのであるが、家族が回答した人も含まれており、「その他」は約1割であった。集計には斜面地に居住の生活問題という意味で、この「その他」を含めている(福祉協力員の労力を無駄にしないためにも)。

買い物では斜面地居住の方が距離や坂道・段差が障害となっていたが、この年齢構成を見ると、斜面地居住は年齢が高いことにより障害が多いという訳ではないことが分かる。

図表30 年齢構成



なお、性別では圧倒的に女性が多かったのであるが、年齢区分別の性別は図表31の通りである。これによると年齢が高くなるほど女性の占める比率が高くなる傾向がある。

図表31 年齢別の性別構成

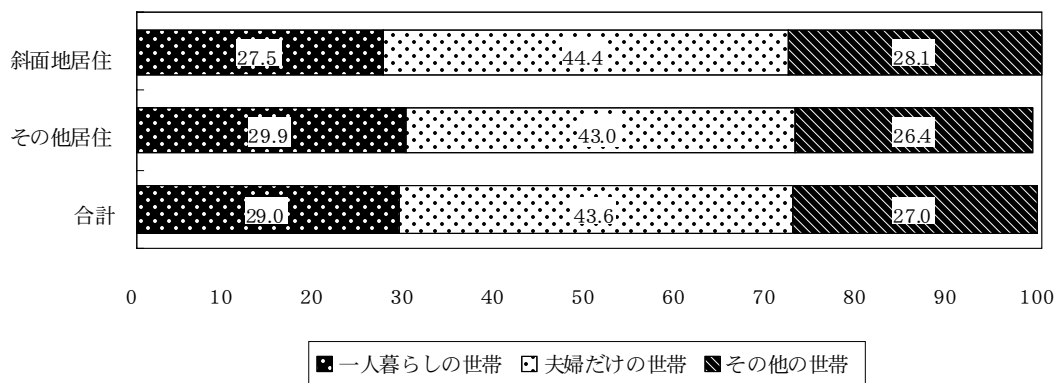
年齢区分	合計		男性		女性		無回答	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
65～69歳	200	100.0	76	38.0	124	62.0	—	—
70～74歳	192	100.0	76	39.6	116	60.4	—	—
75～79歳	170	100.0	62	36.5	107	62.9	1	0.6
80～84歳	150	100.0	44	29.3	106	70.7	—	—
85歳以上	67	100.0	20	29.9	47	70.1	—	—
その他	86	100.0	26	30.2	60	69.8	—	—
無回答	5	100.0	2	40.0	—	—	3	60.0
合計	870	100.0	306	35.2	560	64.4	4	0.5

3 世帯構成

世帯構成は、全体では約3割が一人暮らし、約4割が夫婦のみ世帯、約3割がその他の世帯である。その他の世帯は子ども、孫と同居である。

斜面地居住とその他居住の間では、前者は一人暮らしが多少少なく、夫婦のみ世帯が多少多い。

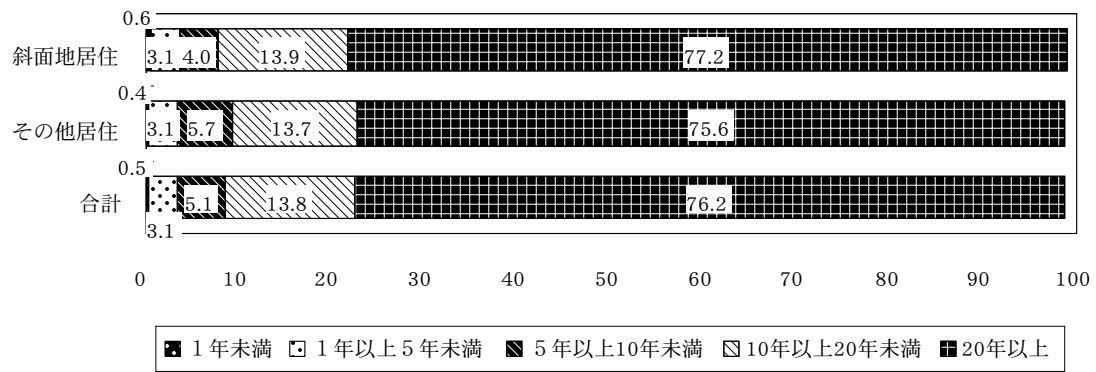
図表32 世帯構成



4 居住年数

居住年数は、全体では20年以上が76.2%と多く占めており、10～20年未満が13.8%であるから、これらで9割以上を占めている。居住年数に関しては斜面地居住もその他居住も大差がない。

図表33 居住年数



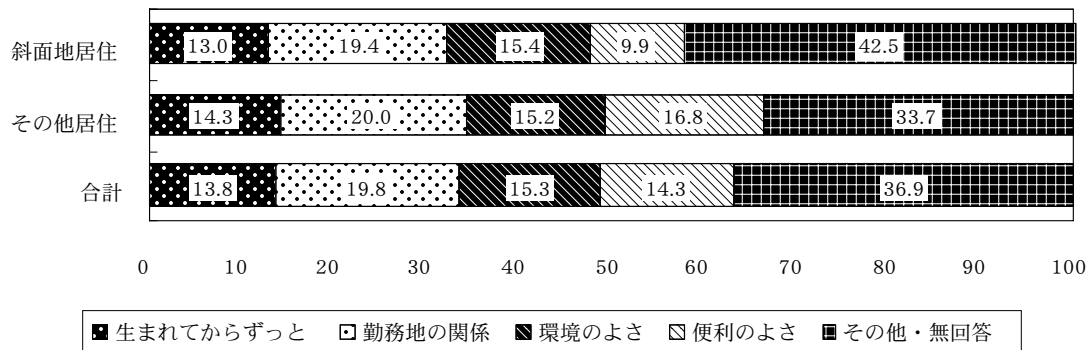
5 現在の地域に住むきっかけ

現在の地域に住むようになったきっかけは、全体では最も多い「その他」を除くと「勤務地の関係」が最も多い。続いて大きな差がなく「環境の良さ」「便利の良さ」「生まれてからずっと」である。

一方、斜面地居住では「その他」が多く、その他居住に比べて「便利の良さ」が少なくなっている。「勤務地の関係」「環境の良さ」「生まれてからずっと」という理由には差がない。

その他の主な内容は図表35に全体を示しているが、「結婚」が圧倒的に多く、「親や先祖代々住んでいた・親との同居」「土地や家を購入」「市営住宅入居」が続いて多い。「親と同居・介護のため」や「家業・仕事」も理由となっている。

図表34 現在の地域に住むきっかけ



図表35 住むようになったきっかけ（その他の内容）

結婚	47
親が住んでいた、同居、先祖代々	17
土地や家屋がある、入手できた・購入	14
市営住宅	8
移転・転居・引越	6
祖父母が老いた為、後を継ぐため	6
生家に帰ってきた、近い、結婚して離れ、また実家にもどる	5
商売をするため、仕事のため	5
親戚の勧めで、近くににいる	4
自家、生まれた所	4
子供の学校関係	3
被災のためやむなく	4
親の介護・世話の為	3
娘世帯と同居、姉妹と同居	2
アパート・借家	3
知人のお世話、勧め、近くに住むため	2
バリアフリー建築なので	1
免許の関係	1
釣りが趣味で海の近いところ	1
子供から独立して自由に生活したいので	1
自分の土地があるので。結婚して。	1
実姉の転勤により	1
車が入らず坂が多かったので	1
計	166

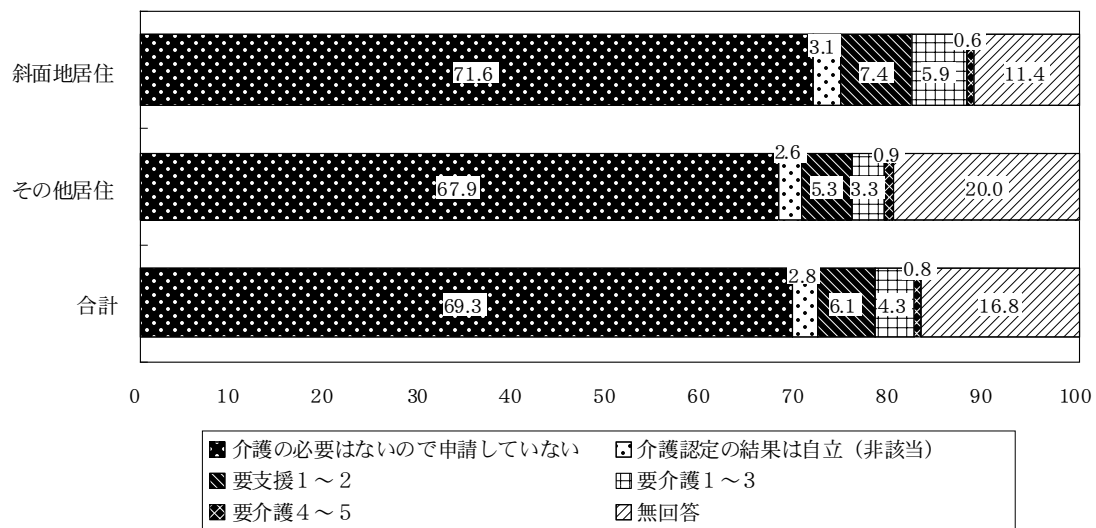
6 介護保険の介護度の認定結果について

図表36は介護度の認定結果を示している。全体では、約7割の人が介護の必要がないため申請しておらず、要支援1～要介護5までの計が11.2%である。これは市の認定率16～18%程度よりかなり低い水準である。

居住地別では斜面地居住の方が介護の必要がないため申請していない比率は高いのであるが、要支援1～要介護5は13.9%であり、その他居住の9.5%よりも認定率が高い。

介護度は年齢との関連が強いが、図表30より、居住地別年齢構成では特に斜面地居住が高い訳ではない。また、介護度による居住地別の生活問題の違いを検討するつもりであったが、認定者数が少ないために、そこまで進めないこととした。

図表36 介護保険での介護度



以上が高齢者の斜面地居住と距離に伴う問題、及び社会関係に関する調査結果である。今後は、社会関係の質・量の分析方法を工夫する等を行いながら、平行して調査地点を増やしていく予定である。

以下には、付表として今回使用した調査票と性別、年齢別等の基本属性ごとの結果の集計表を掲載した。

〈参考文献〉

藤井正、光多長温、小野達也、家中茂編著「地域政策入門」ミネルヴァ書房、2008

傾斜のきつい長い階段



長く続く急な坂道



日陰や風除けもない道路



地域の生活問題に関するアンケート

問1 アンケートの集計に必要な基本的事柄についてお聞きします（属性）

(1) 性別はどちらですか。

1. 男 性 2. 女 性

(2) 何歳ですか。

1. 65～69歳 2. 70～74歳 3. 75～79歳 4. 80～84歳
5. 85歳以上 6. その他（ ）

(3) 現在のあなたの世帯は次のどれですか。

1. 一人暮らしの世帯 2. 夫婦だけの世帯 3. その他の世帯（ ）

(4) あなたは、この地域（小学校区くらい）に何年お住まいですか。

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満 5. 20年以上

(5) 現在お住まいの地域に住むきっかけはなんですか。

1. 生まれてからずっと 2. 勤務地の関係 3. 環境のよさ
4. 便利のよさ 5. その他（ ）

(6) お住まい地域で、良いと思う「もの」や「こと」は何ですか。次の中からいくつでも選んで、番号に○を付けてください。

1. 自然環境 2. 景観 3. 住民の人間関係 4. 祭や行事
5. 地区の施設 6. 空気が良い 7. 車が入ってこない
8. その他（ ） 9. 特にない

(7) 住めば都といいますが、ずっと現在の地域に住みたいですか。

1. 住みたい 2. できれば転居したい 3. 考えたことがない

(8) 子どもさんやお孫さんにも住んで欲しいと思いますか。

1. 思う 2. 思わない

問2 生活についてお聞きします

(1) 日常生活で利用する道路は転倒などの危険性を感じることや、そのような場所がありますか。

1. ある 2. ない 3. その他

(2) 散歩や食料品、日用品の買い物を含めて外出はどの程度しますか。

1. 毎日 2. 1週間に2～3回 3. 1週間に1回程度
4. 1月に2～3回程度 5. 1月に1回程度 6. その他（ ）
7. ほとんどしない 8. まったくしない

(3) 最も多く食料品や日用品の買い物をする店はどこですか。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1. 商店街や市場 | 2. スーパー | 3. コンビニ |
| 4. 近隣の小売店 | 5. その他 | |

(4) 最も多く食料品や日用品の買い物をする店までの距離はどの位ですか。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 500メートル以内 | 2. 1キロメートル以内 | 3. 1キロメートル以上 |
|--------------|--------------|--------------|

(5) 最も多く食料品や日用品の買い物をする店までどのようにして行きますか。

- | | | |
|--------------|-----------------------|-------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バスや電車等の公共交通機関 |
| 4. 自家用車 | 5. タクシー | 6. 近所の人が買い物をしてくれる |
| 7. 店が配達してくれる | 8. その他 () | |

(6) 食料品や日用品の買い物をする際に困ることはどのようなことですか。

- | | | |
|-------------------|--------|----------------|
| 1. 距離が遠い | 2. 坂道 | 3. 階段や段差 |
| 4. 買い物の費用より交通費が高い | | 5. 買い物を十分にできない |
| 6. 困ることはない | 7. その他 | 8. 買い物に行かない |

(7) 病院には週に何回くらい通いますか。

- | | | |
|-------------|-----------------------|-------------|
| 1. 通院の必要がない | 2. 毎日 | 3. 1週間に2～3回 |
| 4. 1週間に1回程度 | 5. 1月に2～3回程度 | 6. 1月に1回程度 |
| 7. 決まっていない | 8. その他 () | |

(8) 通院はどのようにして行きますか。

- | | | |
|------------------|---------------------------------------|---------|
| 1. 通院していない | 2. 徒歩 | 3. 自転車 |
| 4. バスや電車等の公共交通機関 | | 5. 自家用車 |
| 6. タクシー | 7. その他 () | |

(9) 通院で困ることはどのようなことですか。

- | | | |
|------------|---------------------------------------|---------------|
| 1. 通院していない | 2. 距離が遠い | 3. 坂道 |
| 4. 階段や段差 | 5. 交通費が高い | 6. 公共交通機関が少ない |
| 7. 困ることはない | 8. その他 () | |

(10) 生活全体として考えて、暮らしの中で困っていることや気になること、悩みごと等がありますか。次の中からいくつでも選んで番号に○を付けて下さい。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 買い物が不便なこと | 2. 坂道や道路の傾斜がきついこと |
| 3. 住まいのこと | 4. 空家が多くなったこと |
| 5. 病院への通院が不便なこと | 6. 自家用車を置くスペースがないこと |
| 7. 自動車を使えないこと | 8. 救急や消防等の救急に不安なこと |
| 9. 役所や図書館などの公共施設が遠いこと | 10. 外出しにくいこと |
| 11. 歩道が整備されていないこと | 12. ひきこもりがちであること |
| 13. 交通の便が悪いこと | 14. 近所づきあいがいないこと |
| 15. 孤立感を感じていること | 16. その他 () |
| 17. 別がない | |

問3 地域の活動についてお聞きします。

(1) 町内会・自治会の活動には参加していますか。

1. 参加している 2. たまに参加している 3. ほとんど参加していない
4. 参加していない

(2) 参加している団体はありますか。

1. 老人クラブ 2. まちづくり協議会 3. 校区(地区)社会福祉協議会
4. その他

(3) 伝統的な年中行事や祭りは行われていますか。

1. 従来通り行われている 2. かつてより少なくなった 3. ほとんどなくなった

(4) 伝統的な年中行事や祭りには参加していますか。

1. 好きで参加していない 2. 役割で参加している 3. あまり参加していない
4. 祭りや行事は参加していない

(5) あなたは、週に何回ぐらい、近所の人たちと話をしますか。主なものを1つ選び、番号に○を付けて下さい（単なるあいさつは除きます）。

1. ほとんど毎日 2. 週に2回以上 3. 月に1回以上
4. ほとんどない

(6) 近所の人とは、どのようなお付き合いをなさっていますか。次の中からいくつでも選んで番号に○を付けて下さい。

1. 挨拶や立ち話をする程度 2. 趣味を一緒にする 3. 宗教活動をともにする
4. 老人クラブ等で一緒に活動する 5. 互いの家を行き来する
6. 病気の時に助け合う
7. 日常での家事やちょっとした用事、相談ごとや物のやりとりをする
8. つき合いはない 9. その他（ ）

(7) 家で電話やメール、手紙を書くようなことをしますか。

1. 直接会って話をしたり、行動をともにする方が多い
2. 会うよりも電話やメール、手紙でのやりとりのほうが多い
3. 電話やメール、手紙は必要な時だけする
4. ほとんどしない

問4 ご近所の方と次のよう手助けをしたり、してもらったことがありますか。(1)から(15)の中で、「手助けした」場合は1に、「してもらった」場合は2に、両方ある場合には1、2に○を付けてください（団体でした場合も含みます）。該当しない場合は○を付けないでください。

ご近所の方とお互いに手助けし合いましたか？	した	してもらった
(1) 高齢者の見守り・声かけ	1	2
(2) 子どもの世話	1	2

(3) 留守番・留守宅の見守り	1	2
(4) 食事を作った・食事を届ける	1	2
(5) 買い物	1	2
(6) 家の補修・手入れ（電球の取替えなど含む）	1	2
(7) 庭の除草・剪定・手入れ	1	2
(8) 家の掃除	1	2
(9) 外出時の送迎・付き添い	1	2
(10) 相談ごと	1	2
(11) お金の貸し借り	1	2
(12) 物の貸し借り（道具・食品・日用品）	1	2
(13) 看病・介護	1	2
(14) 情報提供（お買い物・病院・福祉・教育の情報）	1	2
(15) その他（ ）	1	2

問5 地域についてお聞きします

(1) 景観に気をつけて次のようなことをしていますか。

1. 自分の家の庭造り（植栽や花壇など）に気をつけている
2. 景観を保つために、近くの景色を良くするため、あるいは景色の保全に関わったことがある
3. 空家や廃屋の保全や修復
4. その他

(2) お住まいの地域に空家や廃屋は増えていますか。

1. 増えている
2. 減っている
3. あまり変わらない

(3) 北九州市の基本構想の中にコンパクトシティ構想があります。商店やデパート、スーパー、病院などが身近にあり、歩いて暮らせる街づくり構想ですが、仮にマンション等移るとすれば、主にどのような理由によりますか。3つまで選んでください。

1. 病院が近い
2. 商店街が近い
3. デパートが近い
4. スーパーが近い
5. 娯楽施設が近い
6. 役所や図書館等の公共施設が近い
7. 交通が便利
8. マンションが便利
9. その他（ ）
10. 移りたいと思わない

(4) 日常生活を安心して送るためには何が重要だと思いますか。次の中からいくつでも選んで番号に○を付けて下さい。

1. 同居している家族
2. 離れていても家族がいる
3. 親戚
4. 隣近所の親しい友人・知人
5. 隣近所との付き合い
6. 離れた地域の友人
7. 役所のサービス
8. 緊急時の消防・救急
9. 福祉サービスの充実
10. その他（ ）
11. わからない
12. 別がない

問 6 介護保険で介護度の認定を受けていますか。

1. 介護の必要はないので申請していない 2. 介護認定の結果は自立（非該当）
3. 要支援 1～2 4. 要介護 1～3 5. 要介護 4～5

ご協力をありがとうございました

回収用の封筒に入れて封をしてお渡してください

結果をお知りになりたい場合は下記に宛名をお書き下さい。集計結果を郵送いたします。

ご住所

ご氏名

	問		問1.1 性別		問1.2 年齢区分						問1.3 世帯構成				
	合計	男性	女性	無回答	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	その他	無回答	一人暮らしの世帯	夫婦だけの世帯	その他の世帯	無回答
性別	合計（無回答省略）	870	306	560	4	200	192	170	150	67	86	252	379	235	4
		100.0	35.2	64.4	0.5	23.0	22.1	19.5	17.2	7.7	9.9	29.0	43.6	27.0	0.5
	男性	306	306	—	—	76	76	62	44	20	26	38	189	79	—
		100.0	100.0	—	—	24.8	24.8	20.3	14.4	6.5	8.5	12.4	61.8	25.8	—
年齢区分	女性	560	—	560	—	124	116	107	106	47	60	214	189	156	1
		100.0	—	100.0	—	22.1	20.7	19.1	18.9	8.4	10.7	38.2	33.8	27.9	0.2
	65～69歳	200	76	124	—	200	—	—	—	—	—	37	106	57	—
		100.0	38.0	62.0	—	100.0	—	—	—	—	—	18.5	53.0	28.5	—
	70～74歳	192	76	116	—	—	192	—	—	—	—	48	103	41	—
		100.0	39.6	60.4	—	—	100.0	—	—	—	—	25.0	53.6	21.4	—
	75～79歳	170	62	107	1	—	—	170	—	—	—	59	82	29	—
		100.0	36.5	62.9	0.6	—	—	100.0	—	—	—	34.7	48.2	17.1	—
	80～84歳	150	44	106	—	—	—	—	150	—	—	71	40	38	1
		100.0	29.3	70.7	—	—	—	—	100.0	—	—	47.3	26.7	25.3	0.7
世帯構成	85歳以上	67	20	47	—	—	—	—	—	67	—	28	16	23	—
		100.0	29.9	70.1	—	—	—	—	—	100.0	—	41.8	23.9	34.3	—
	その他	86	26	60	—	—	—	—	—	86	—	9	30	47	—
		100.0	30.2	69.8	—	—	—	—	—	100.0	—	10.5	34.9	54.7	—
居住地域	一人暮らしの世帯	252	38	214	—	37	48	59	71	28	9	252	—	—	—
		100.0	15.1	84.9	—	14.7	19.0	23.4	28.2	11.1	3.6	100.0	—	—	—
	夫婦だけの世帯	379	189	189	1	106	103	82	40	16	30	—	379	—	—
		100.0	49.9	49.9	0.3	28.0	27.2	21.6	10.6	4.2	7.9	0.5	100.0	—	—
介護保険の介護度	その他の世帯	235	79	156	—	57	41	29	38	23	47	—	—	235	—
		100.0	33.6	66.4	—	24.3	17.4	12.3	16.2	9.8	20.0	—	—	100.0	—
	斜面地居住	324	118	206	—	63	78	71	50	26	35	89	144	91	—
		100.0	36.4	63.6	—	19.4	24.1	21.9	15.4	8.0	10.8	27.5	44.4	28.1	—
介護保険の介護度	その他居住	546	188	354	4	137	114	99	100	41	51	163	235	144	4
		100.0	34.4	64.8	0.7	25.1	20.9	18.1	18.3	7.5	9.3	29.9	43.0	26.4	0.7
	介護の必要はないの で申請していない	603	225	378	—	173	137	103	92	25	71	152	276	175	—
		100.0	37.3	62.7	—	28.7	22.7	17.1	15.3	4.1	11.8	25.2	45.8	29.0	—
	介護認定の結果は自 立（非該当）	24	9	15	—	6	4	7	3	4	—	9	9	6	—
		100.0	37.5	62.5	—	25.0	16.7	29.2	12.5	16.7	—	37.5	37.5	25.0	—
	要支援1～2	53	12	41	—	1	15	12	14	9	2	31	14	8	—
		100.0	22.6	77.4	—	1.9	28.3	22.6	26.4	17.0	3.8	58.5	26.4	15.1	—
	要介護1～3	37	10	27	—	—	3	9	11	14	—	16	13	8	—
		100.0	27.0	73.0	—	—	8.1	24.3	29.7	37.8	—	43.2	35.1	21.6	—
介護保険の介護度	要介護4～5	7	5	2	—	—	3	—	1	3	—	1	2	4	—
		100.0	71.4	28.6	—	—	42.9	—	14.3	42.9	—	14.3	28.6	57.1	—
	無回答	146	45	97	4	20	30	39	29	12	13	43	65	34	4
		100.0	30.8	66.4	2.7	13.7	20.5	26.7	19.9	8.2	8.9	29.5	44.5	23.3	2.7

	問	問1.4 居住年					問1.5 住むようになったきっかけ							
	合計	1 年未満	1 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上	無回答	生まれてか らずっと	勤務地の関係	環境のよさ	便利のよさ	その他	無回答	
性別	合計（無回答省略）	870	4	27	44	120	663	12	120	172	133	124	282	39
	男性	100.0	0.5	3.1	5.1	13.8	76.2	1.4	13.8	19.8	15.3	14.3	32.4	4.5
年齢区分	女性	306	—	10	12	44	236	4	62	69	48	39	77	11
		100.0	—	3.3	3.9	14.4	77.1	1.3	20.3	22.5	15.7	12.7	25.2	3.6
	65～69歳	560	4	17	32	76	426	5	58	102	85	85	205	25
		100.0	0.7	3.0	5.7	13.6	76.1	0.9	10.4	18.2	15.2	15.2	36.6	4.5
	70～74歳	200	1	5	14	24	156	—	29	48	29	29	58	7
		100.0	0.5	2.5	7.0	12.0	78.0	—	14.5	24.0	14.5	14.5	29.0	3.5
	75～79歳	192	—	4	10	32	141	5	26	40	32	21	64	9
		100.0	—	2.1	5.2	16.7	73.4	2.6	13.5	20.8	16.7	10.9	33.3	4.7
	80～84歳	170	1	8	11	26	121	3	22	29	23	28	59	9
		100.0	0.6	4.7	6.5	15.3	71.2	1.8	12.9	17.1	13.5	16.5	34.7	5.3
	85歳以上	150	1	5	6	14	123	1	17	25	28	25	50	5
		100.0	0.7	3.3	4.0	9.3	82.0	0.7	11.3	16.7	18.7	16.7	33.3	3.3
	その他	67	—	1	3	7	56	—	10	13	13	8	19	4
		100.0	—	1.5	4.5	10.4	83.6	—	14.9	19.4	19.4	11.9	28.4	6.0
世帯構成	一人暮らしの世帯	86	1	4	—	17	64	—	16	15	8	13	32	2
		100.0	1.2	4.7	—	19.8	74.4	—	18.6	17.4	9.3	15.1	37.2	2.3
	夫婦だけの世帯	252	2	12	24	32	177	5	28	51	38	45	80	10
		100.0	0.8	4.8	9.5	12.7	70.2	2.0	11.1	20.2	15.1	17.9	31.7	4.0
	その他の世帯	379	—	8	9	52	307	3	56	92	57	55	100	19
		100.0	—	2.1	2.4	13.7	81.0	0.8	14.8	24.3	15.0	14.5	26.4	5.0
居住地域	斜面地居住	235	2	7	11	36	178	1	35	29	38	24	102	7
		100.0	0.9	3.0	4.7	15.3	75.7	0.4	14.9	12.3	16.2	10.2	43.4	3.0
	その他居住	324	2	10	13	45	250	4	42	63	50	32	125	12
		100.0	0.6	3.1	4.0	13.9	77.2	1.2	13.0	19.4	15.4	9.9	38.6	3.7
介護保険の介護度	介護の必要はないの で申請していない	546	2	17	31	75	413	8	78	109	83	92	157	27
		100.0	0.4	3.1	5.7	13.7	75.6	1.5	14.3	20.0	15.2	16.8	28.8	4.9
	介護認定の結果は自 立（非該当）	603	4	15	33	83	464	4	74	120	94	93	201	21
		100.0	0.7	2.5	5.5	13.8	76.9	0.7	12.3	19.9	15.6	15.4	33.3	3.5
	要介護 1 ～ 3	24	—	1	1	2	20	—	3	10	2	1	8	—
		100.0	—	4.2	4.2	8.3	83.3	—	12.5	41.7	8.3	4.2	33.3	—
	要介護 4 ～ 5	53	—	4	3	8	38	—	6	14	4	7	19	3
		100.0	—	7.5	5.7	15.1	71.7	—	11.3	26.4	7.5	13.2	35.8	5.7
	要介護 1 ～ 3	37	—	1	2	3	31	—	10	4	6	3	13	1
		100.0	—	2.7	5.4	8.1	83.8	—	27.0	10.8	16.2	8.1	35.1	2.7
	要介護 4 ～ 5	7	—	—	—	—	7	—	—	2	2	—	3	—
		100.0	—	—	—	—	100.0	—	—	28.6	28.6	—	42.9	—
	無回答	146	—	6	5	24	103	8	27	22	25	20	38	14
		100.0	—	4.1	3.4	16.4	70.5	5.5	18.5	15.1	17.1	13.7	26.0	9.6

	問		問1.6 地域でよいと思うもの・こと（多重回答）								
	合計	自然環境	景観	住民の人間関係	祭や行事	地区の施設	空気が良い	車が入ってこない	特にない	その他	無回答
合計（無回答省略）	870	442	169	316	12	67	316	98	43	137	15
	100.0	50.8	19.4	36.3	1.4	7.7	36.3	11.3	4.9	15.7	1.7
性別	男性	306	165	70	101	4	24	115	35	47	5
	100.0	53.9	22.9	33.0	1.3	7.8	37.6	11.4	5.6	15.4	1.6
女性	560	276	99	215	8	43	201	63	26	90	7
	100.0	49.3	17.7	38.4	1.4	7.7	35.9	11.3	4.6	16.1	1.3
年齢区分	65～69歳	200	101	45	67	2	18	75	16	33	3
	100.0	50.5	22.5	33.5	1.0	9.0	37.5	8.0	5.0	16.5	1.5
	70～74歳	192	106	38	60	4	11	75	11	31	1
	100.0	55.2	19.8	31.3	2.1	5.7	39.1	14.6	5.7	16.1	0.5
	75～79歳	170	80	33	63	1	14	62	7	25	5
	100.0	47.1	19.4	37.1	0.6	8.2	36.5	11.8	4.1	14.7	2.9
	80～84歳	150	65	23	59	3	12	54	5	25	2
	100.0	43.3	15.3	39.3	2.0	8.0	36.0	12.0	3.3	16.7	1.3
	85歳以上	67	40	5	32	1	5	23	7	10	—
	100.0	59.7	7.5	47.8	1.5	7.5	34.3	10.4	3.0	14.9	—
その他	86	50	25	34	1	7	26	9	8	12	1
	100.0	58.1	29.1	39.5	1.2	8.1	30.2	10.5	9.3	14.0	1.2
世帯構成	一人暮らしの世帯	252	106	40	113	3	19	82	11	38	4
	100.0	42.1	15.9	44.8	1.2	7.5	32.5	15.1	4.4	15.1	1.6
夫婦だけの世帯	379	219	88	126	6	34	142	31	19	56	7
	100.0	57.8	23.2	33.2	1.6	9.0	37.5	8.2	5.0	14.8	1.8
その他の世帯	235	117	41	76	3	14	91	29	13	43	1
	100.0	49.8	17.4	32.3	1.3	6.0	38.7	12.3	5.5	18.3	0.4
斜面地居住	324	199	71	116	6	17	153	41	13	47	3
	100.0	61.4	21.9	35.8	1.9	5.2	47.2	12.7	4.0	14.5	0.9
その他居住	546	243	98	200	6	50	163	57	30	90	12
	100.0	44.5	17.9	36.6	1.1	9.2	29.9	10.4	5.5	16.5	2.2
介護の必要はないの で申請していない	603	323	119	222	7	49	234	67	33	87	4
	100.0	53.6	19.7	36.8	1.2	8.1	38.8	11.1	5.5	14.4	0.7
介護認定の結果は自 立（非該当）	24	12	8	5	1	3	8	3	—	4	—
	100.0	50.0	33.3	20.8	4.2	12.5	33.3	12.5	—	16.7	—
要支援 1 ～ 2	53	24	10	21	—	2	16	5	4	8	—
	100.0	45.3	18.9	39.6	—	3.8	30.2	9.4	7.5	15.1	—
要介護 1 ～ 3	37	19	3	14	2	3	14	6	—	8	2
	100.0	51.4	8.1	37.8	5.4	8.1	37.8	16.2	—	21.6	5.4
要介護 4 ～ 5	7	4	1	2	—	—	3	1	—	2	—
	100.0	57.1	14.3	28.6	—	—	42.9	14.3	—	28.6	—
無回答	146	60	28	52	2	10	41	16	6	28	9
	100.0	41.1	19.2	35.6	1.4	6.8	28.1	11.0	4.1	19.2	6.2

	問 合計	問1.7 住み続けたい				問1.8 子どもさんやお孫さんにも住んで欲しい				問2.1 日常生活で利用する道路は転倒などの危険性			
		住み続けたい	できれば転居したい	考えたことがない	無回答	思う	思わない	無回答	ある	ない	その他	無回答	
性別	合計（無回答省略）	870	590	102	166	12	412	389	69	461	362	31	16
		100.0	67.8	11.7	19.1	1.4	47.4	44.7	7.9	53.0	41.6	3.6	1.8
	男性	306	212	29	62	3	146	144	16	150	139	15	2
		100.0	69.3	9.5	20.3	1.0	47.7	47.1	5.2	49.0	45.4	4.9	0.7
	女性	560	377	73	104	6	265	245	50	311	222	16	11
年齢区分		100.0	67.3	13.0	18.6	1.1	47.3	43.8	8.9	55.5	39.6	2.9	2.0
	65～69歳	200	137	21	40	2	98	89	13	109	78	10	3
		100.0	68.5	10.5	20.0	1.0	49.0	44.5	6.5	54.5	39.0	5.0	1.5
	70～74歳	192	128	26	35	3	94	90	8	109	74	9	—
		100.0	66.7	13.5	18.2	1.6	49.0	46.9	4.2	56.8	38.5	4.7	—
世帯構成	75～79歳	170	114	21	35	—	75	77	18	84	79	5	2
		100.0	67.1	12.4	20.6	—	44.1	45.3	10.6	49.4	46.5	2.9	1.2
	80～84歳	150	107	12	28	3	73	62	15	74	67	4	5
		100.0	71.3	8.0	18.7	2.0	48.7	41.3	10.0	49.3	44.7	2.7	3.3
	85歳以上	67	50	6	11	0	31	30	6	37	24	3	3
世帯構成		100.0	74.6	9.0	16.4	0.0	46.3	44.8	9.0	55.2	35.8	4.5	4.5
	その他	86	53	15	17	1	41	39	6	47	39	—	—
		100.0	61.6	17.4	19.8	1.2	47.7	45.3	7.0	54.7	45.3	—	—
	一人暮らしの世帯	252	177	35	38	2	95	122	35	137	106	5	4
		100.0	70.2	13.9	15.1	0.8	37.7	48.4	13.9	54.4	42.1	2.0	1.6
居住地域	夫婦だけの世帯	379	262	33	78	6	185	173	21	196	159	17	7
		100.0	69.1	8.7	20.6	1.6	48.8	45.6	5.5	51.7	42.0	4.5	1.8
	その他の世帯	235	150	34	50	1	131	94	10	128	96	9	2
		100.0	63.8	14.5	21.3	0.4	55.7	40.0	4.3	54.5	40.9	3.8	0.9
	斜面地居住	324	181	58	82	3	135	170	19	252	56	11	5
介護保険の介護度		100.0	55.9	17.9	25.3	0.9	41.7	52.5	5.9	77.8	17.3	3.4	1.5
	その他居住	546	409	44	84	9	277	219	50	209	306	20	11
		100.0	74.9	8.1	15.4	1.6	50.7	40.1	9.2	38.3	56.0	3.7	2.0
	介護の必要はないの で申請していない	603	407	64	127	5	286	277	40	315	256	26	6
		100.0	67.5	10.6	21.1	0.8	47.4	45.9	6.6	52.2	42.5	4.3	1.0
介護保険の介護度	介護認定の結果は自 立（非該当）	24	17	3	4	—	16	7	1	16	8	—	—
		100.0	70.8	12.5	16.7	—	66.7	29.2	4.2	66.7	33.3	—	—
	要支援 1 ～ 2	53	40	8	4	1	24	24	5	36	15	1	1
		100.0	75.5	15.1	7.5	1.9	45.3	45.3	9.4	67.9	28.3	1.9	1.9
	要介護 1 ～ 3	37	26	5	6	—	18	16	3	24	10	3	—
介護保険の介護度		100.0	70.3	13.5	16.2	—	48.6	43.2	8.1	64.9	27.0	8.1	—
	要介護 4 ～ 5	7	5	2	—	—	5	1	1	4	3	—	—
		100.0	71.4	28.6	—	—	71.4	14.3	14.3	57.1	42.9	—	—
	無回答	146	95	20	25	6	63	64	19	66	70	1	9
		100.0	65.1	13.7	17.1	4.1	43.2	43.8	13.0	45.2	47.9	0.7	6.2

問		問2.2 散歩や食料品、日用品の買い物を含めて外出はどの程度										
		毎日	1週間に2～3回	1週間に1回程度	1週間に2～3回程度	1月に1回程度	その他	ほとんどしない	まったくしない	無回答		
性別	合計（無回答省略）	870	351	343	76	31	6	16	25	16	6	
		100.0	40.3	39.4	8.7	3.6	0.7	1.8	2.9	1.8	0.7	
	男性	306	129	111	30	12	2	6	9	7	—	
		100.0	42.2	36.3	9.8	3.9	0.7	2.0	2.9	2.3	—	
	女性	560	221	232	46	19	4	10	16	9	3	
		100.0	39.5	41.4	8.2	3.4	0.7	1.8	2.9	1.6	0.5	
	年齢区分	65～69歳	200	102	78	12	5	1	—	2	—	—
			100.0	51.0	39.0	6.0	2.5	0.5	—	1.0	—	—
		70～74歳	192	86	82	11	5	1	4	3	—	—
			100.0	44.8	42.7	5.7	2.6	0.5	2.1	1.6	—	—
75～79歳		170	65	66	17	8	2	3	5	2	2	
		100.0	38.2	38.8	10.0	4.7	1.2	1.8	2.9	1.2	1.2	
80～84歳		150	35	72	23	6	2	3	5	3	1	
		100.0	23.3	48.0	15.3	4.0	1.3	2.0	3.3	2.0	0.7	
85歳以上		67	12	20	8	5	—	4	8	10	—	
		100.0	17.9	29.9	11.9	7.5	—	6.0	11.9	14.9	—	
世帯構成	その他	86	50	25	5	2	—	2	1	1	—	
		100.0	58.1	29.1	5.8	2.3	—	2.3	1.2	1.2	—	
	一人暮らしの世帯	252	76	122	29	12	—	9	3	1	—	
		100.0	30.2	48.4	11.5	4.8	—	3.6	1.2	0.4	—	
	夫婦だけの世帯	379	177	138	27	11	1	4	12	6	3	
		100.0	46.7	36.4	7.1	2.9	0.3	1.1	3.2	1.6	0.8	
	その他の世帯	235	98	82	20	8	5	3	10	9	—	
		100.0	41.7	34.9	8.5	3.4	2.1	1.3	4.3	3.8	—	
	斜面地居住	324	105	142	34	11	3	7	14	6	2	
		100.0	32.4	43.8	10.5	3.4	0.9	2.2	4.3	1.9	0.6	
介護保険の介護度	その他居住	546	246	201	42	20	3	9	11	10	4	
		100.0	45.1	36.8	7.7	3.7	0.5	1.6	2.0	1.8	0.7	
	介護の必要はないの で申請していない	603	277	242	43	22	2	6	7	4	—	
		100.0	45.9	40.1	7.1	3.6	0.3	1.0	1.2	0.7	—	
	介護認定の結果は自 立（非該当）	24	5	15	2	1	—	—	1	—	—	
		100.0	20.8	62.5	8.3	4.2	—	—	4.2	—	—	
	要支援1～2	53	7	22	13	1	1	3	4	2	—	
		100.0	13.2	41.5	24.5	1.9	1.9	5.7	7.5	3.8	—	
	要介護1～3	37	7	4	8	2	—	3	5	7	1	
		100.0	18.9	10.8	21.6	5.4	—	8.1	13.5	18.9	2.7	
要介護4～5	7	1	2	1	—	—	—	1	2	—		
	100.0	14.3	28.6	14.3	—	—	—	14.3	28.6	—		
無回答	146	54	58	9	5	3	4	7	1	5		
	100.0	37.0	39.7	6.2	3.4	2.1	2.7	4.8	0.7	3.4		

	問 合計	問2.3 最も多く食料品や日用品の買い物をする店はどこ					問2.4 買い物をする店までの距離				
		商店街や市場	スーパー	コンビニ	近隣の小売店	その他	無回答	500メートル以内	1キロメートル以内	1キロメートル以上	無回答
性別	合計 (無回答省略)	870 100.0	249 28.6	481 55.3	15 1.7	16 1.8	34 3.9	75 8.6	113 13.0	229 26.3	416 47.8
	男性	306 100.0	71 23.2	177 57.8	8 2.6	4 1.3	16 5.2	30 9.8	36 11.8	81 26.5	152 49.7
年齢区分	女性	560 100.0	177 31.6	303 54.1	7 1.3	12 2.1	18 3.2	43 7.7	77 13.8	146 26.1	264 47.1
	65～69歳	200 100.0	58 29.0	121 60.5	1 0.5	2 1.0	5 2.5	13 6.5	18 9.0	55 27.5	108 54.0
世帯構成	70～74歳	192 100.0	52 27.1	107 55.7	1 0.5	4 2.1	7 3.6	21 10.9	27 14.1	48 25.0	91 47.4
	75～79歳	170 100.0	50 29.4	95 55.9	6 3.5	2 1.2	5 2.9	12 7.1	26 15.3	43 25.3	78 45.9
居住地域	80～84歳	150 100.0	58 38.7	69 46.0	3 2.0	2 1.3	5 3.3	13 8.7	23 15.3	42 28.0	63 42.0
	85歳以上	67 100.0	13 19.4	29 43.3	— —	5 7.5	10 14.9	10 14.9	10 14.9	20 29.9	22 32.8
介護保険の介護度	その他	86 100.0	17 19.8	59 68.6	4 4.7	1 1.2	2 2.3	3 3.5	9 10.5	19 22.1	54 62.8
	一人暮らしの世帯	252 100.0	85 33.7	129 51.2	4 1.6	7 2.8	7 2.8	20 7.9	36 14.3	66 26.2	115 45.6
世帯構成	夫婦だけの世帯	379 100.0	106 28.0	208 54.9	8 2.1	7 1.8	15 4.0	35 9.2	49 12.9	101 26.6	181 47.8
	その他の世帯	235 100.0	57 24.3	143 60.9	3 1.3	2 0.9	12 5.1	18 7.7	28 11.9	60 25.5	120 51.1
居住地域	斜面地居住	324 100.0	92 28.4	196 60.5	4 1.2	7 2.2	14 4.3	11 3.4	27 8.3	73 22.5	206 63.6
	その他居住	546 100.0	157 28.8	285 52.2	11 2.0	9 1.6	20 3.7	64 11.7	86 15.8	156 28.6	210 38.5
介護保険の介護度	介護の必要はないの で申請していない	603 100.0	184 30.5	360 59.7	9 1.5	7 1.2	15 2.5	28 4.6	77 12.8	167 27.7	317 52.6
	介護認定の結果は自 立 (非該当)	24 100.0	7 29.2	12 50.0	— —	3 12.5	— —	2 8.3	4 16.7	8 33.3	10 41.7
介護保険の介護度	要支援1～2	53 100.0	14 26.4	27 50.9	2 3.8	1 1.9	5 9.4	4 7.5	12 22.6	12 22.6	21 39.6
	要介護1～3	37 100.0	6 16.2	15 40.5	2 5.4	2 5.4	6 16.2	6 16.2	7 18.9	9 24.3	13 35.1
無回答	要介護4～5	7 100.0	2 28.6	1 14.3	— —	— —	2 28.6	2 28.6	— —	1 14.3	2 28.6
	無回答	146 100.0	36 24.7	66 45.2	2 1.4	3 2.1	6 4.1	33 22.6	13 8.9	32 21.9	53 36.3

		問		問2.5 買い物をする店までどのようにして行きます								
		合計	徒歩	自転車	バスや電車等の公共交通機関	自家用車	タクシー	近所の人買い物をしてくれる	店が配達してくれる	その他	無回答	
性別	合計（無回答省略）	870	300	22	205	202	16	4	6	38	77	
		100.0	34.5	2.5	23.6	23.2	1.8	0.5	—	0.7	4.4	8.9
	男性	306	104	9	46	99	2	—	—	1	17	28
		100.0	34.0	2.9	15.0	32.4	0.7	—	—	0.3	5.6	9.2
	女性	560	195	13	158	103	14	4	5	21	47	
		100.0	34.8	2.3	28.2	18.4	2.5	0.7	—	0.9	3.8	8.4
	年齢区分	65～69歳	200	80	6	34	62	2	—	—	2	14
		100.0	40.0	3.0	17.0	31.0	1.0	—	—	—	1.0	7.0
		70～74歳	192	65	6	44	49	2	—	2	6	18
		100.0	33.9	3.1	22.9	25.5	1.0	—	—	1.0	3.1	9.4
75～79歳		170	62	6	53	21	4	1	3	5	15	
100.0		36.5	3.5	31.2	12.4	2.4	0.6	—	1.8	2.9	8.8	
80～84歳		150	61	—	50	13	4	3	1	4	14	
100.0		40.7	—	33.3	8.7	2.7	2.0	—	0.7	2.7	9.3	
85歳以上		67	15	1	16	4	4	—	—	17	10	
100.0		22.4	1.5	23.9	6.0	6.0	—	—	—	25.4	14.9	
世帯構成	その他	86	16	3	7	53	—	—	—	4	3	
	100.0	18.6	3.5	8.1	61.6	—	—	—	—	4.7	3.5	
	一人暮らしの世帯	252	92	3	96	17	11	2	1	10	20	
	100.0	36.5	1.2	38.1	6.7	4.4	0.8	—	0.4	4.0	7.9	
	夫婦だけの世帯	379	134	12	71	103	3	1	4	15	36	
	100.0	35.4	3.2	18.7	27.2	0.8	0.3	—	1.1	4.0	9.5	
	その他の世帯	235	74	7	37	81	2	1	1	13	19	
	100.0	31.5	3.0	15.7	34.5	0.9	0.4	—	0.4	5.5	8.1	
	斜面地居住	324	88	8	102	88	10	2	1	16	9	
	100.0	27.2	2.5	31.5	27.2	3.1	0.6	—	0.2	4.9	2.8	
介護保険の介護度	その他居住	546	212	14	103	114	6	2	5	22	68	
	100.0	38.8	2.6	18.9	20.9	1.1	0.4	—	0.9	4.0	12.5	
	介護の必要はないので申請していない	603	234	18	136	165	5	1	1	16	27	
	介護認定の結果は自立（非該当）	100.0	38.8	3.0	22.6	27.4	0.8	0.2	0.2	2.7	4.5	
	要支援 1～2	24	10	1	4	3	4	—	—	—	2	
	100.0	41.7	4.2	16.7	12.5	16.7	—	—	—	—	8.3	
	要介護 1～2	53	14	—	20	3	4	—	4	3	5	
	100.0	26.4	—	37.7	5.7	7.5	—	—	7.5	5.7	9.4	
	要介護 1～3	37	8	2	6	—	3	1	1	10	6	
	100.0	21.6	5.4	16.2	—	8.1	2.7	—	2.7	27.0	16.2	
無回答	要介護 4～5	7	2	—	1	—	—	—	—	2	2	
	100.0	28.6	—	14.3	—	—	—	—	—	28.6	28.6	
	無回答	146	32	1	38	31	—	2	—	7	35	
	100.0	21.9	0.7	26.0	21.2	—	1.4	—	—	4.8	24.0	

	問2.6 買い物をする際に困ること									
	問 合計	距離が遠い	坂道	階段や段差	買い物の費用より交通費が高い	買い物を十分にできない	困ることはない	その他	買い物に行かない	無回答
性 別	合計（無回答省略）	870 100.0	255 29.3	130 14.9	45 5.2	10 1.1	17 2.0	275 31.6	15 1.7	23 2.6
	男性	306 100.0	80 26.1	43 14.1	14 4.6	3 1.0	8 2.6	108 35.3	4 1.3	13 4.2
年 齢 区 分	女性	560 100.0	175 31.3	86 15.4	30 5.4	7 1.3	9 1.6	167 29.8	11 2.0	10 1.8
	65～69歳	200 100.0	67 33.5	28 14.0	6 3.0	3 1.5	1 0.5	71 35.5	2 1.0	3 1.5
世 帯 構 成	70～74歳	192 100.0	57 29.7	29 15.1	9 4.7	1 0.5	7 3.6	58 30.2	2 1.0	3 1.6
	75～79歳	170 100.0	48 28.2	33 19.4	8 4.7	1 0.6	4 2.4	54 31.8	4 2.4	1 0.6
居 住 地 域	80～84歳	150 100.0	37 24.7	23 15.3	9 6.0	1 0.7	3 2.0	49 32.7	1 0.7	5 3.3
	85歳以上	67 100.0	18 26.9	9 13.4	6 9.0	3 4.5	—	10 14.9	1 1.5	11 16.4
介 護 保 険 の 介 護 度	その他	86 100.0	28 32.6	8 9.3	6 7.0	1 1.2	2 2.3	32 37.2	5 5.8	— —
	一人暮らしの世帯	252 100.0	79 31.3	41 16.3	18 7.1	3 1.2	6 2.4	69 27.4	3 1.2	4 1.6
世 帯 構 成	夫婦だけの世帯	379 100.0	106 28.0	56 14.8	12 3.2	2 0.5	7 1.8	133 35.1	8 2.1	8 2.1
	その他の世帯	235 100.0	70 29.8	33 14.0	14 6.0	5 2.1	4 1.7	73 31.1	4 1.7	11 4.7
居 住 地 域	斜面地居住	324 100.0	127 39.2	90 27.8	21 6.5	7 2.2	6 1.9	45 13.9	8 2.5	12 3.7
	その他居住	546 100.0	128 23.4	40 7.3	24 4.4	3 0.5	11 2.0	230 42.1	7 1.3	15 2.7
介 護 保 険 の 介 護 度	介護の必要はないの で申請していない	603 100.0	189 31.3	85 14.1	26 4.3	5 0.8	10 1.7	227 37.6	8 1.3	8 1.3
	介護認定の結果は自 立（非該当）	24 100.0	10 41.7	6 25.0	2 8.3	1 4.2	—	3 12.5	—	—
世 帯 構 成	要支援1～2	53 100.0	16 30.2	13 24.5	5 9.4	1 1.9	1 1.9	9 17.0	1 1.9	7 13.2
	要介護1～3	37 100.0	9 24.3	6 16.2	—	1 2.7	2 5.4	3 8.1	2 5.4	11 29.7
居 住 地 域	要介護4～5	7 100.0	2 28.6	—	2 28.6	—	—	—	—	1 14.3
	無回答	146 100.0	29 19.9	20 13.7	10 6.8	2 1.4	4 2.7	33 22.6	4 2.7	3 2.1

	問 合計	問2.7 病院には週に何回								
		通院の必要がない	毎日	1週間に2～3回	1週間に1回程度	1月に2～3回程度	1月に1回程度	決まっていない	その他	無回答
性別	合計（無回答省略）	870	119	28	97	183	220	79	25	66
		100.0	13.7	3.2	11.1	21.0	25.3	9.1	2.9	7.6
	男性	306	35	9	28	59	92	27	14	21
		100.0	11.4	2.9	9.2	19.3	30.1	8.8	4.6	6.9
	女性	560	84	19	69	123	127	52	11	43
		100.0	15.0	3.4	12.3	22.0	22.7	9.3	2.0	7.7
	65～69歳	200	36	3	9	32	65	30	5	15
		100.0	18.0	1.5	4.5	16.0	32.5	15.0	2.5	7.5
	70～74歳	192	11	6	20	53	45	22	6	16
		100.0	5.7	3.1	10.4	27.6	23.4	11.5	3.1	8.3
年齢区分	75～79歳	170	17	7	28	40	36	11	6	14
		100.0	10.0	4.1	16.5	23.5	21.2	6.5	3.5	8.2
	80～84歳	150	14	6	30	32	36	5	2	11
		100.0	9.3	4.0	20.0	21.3	24.0	3.3	1.3	7.3
	85歳以上	67	5	5	8	15	17	3	2	4
		100.0	7.5	7.5	11.9	22.4	25.4	4.5	3.0	6.0
	その他	86	36	1	2	11	18	8	4	4
		100.0	41.9	1.2	2.3	12.8	20.9	9.3	4.7	4.7
	一人暮らしの世帯	252	21	8	53	24	46	18	6	21
		100.0	8.3	3.2	21.0	9.5	18.3	7.1	2.4	8.3
世帯構成	夫婦だけの世帯	379	52	14	27	20	82	38	13	29
		100.0	13.7	3.7	7.1	5.3	21.6	10.0	3.4	7.7
居住地域	その他の世帯	235	46	6	17	9	45	23	6	14
		100.0	19.6	2.6	7.2	3.8	19.1	9.8	2.6	6.0
	斜面地居住	324	51	11	45	25	78	27	11	2
		100.0	15.7	3.4	13.9	7.7	24.1	8.3	3.4	0.6
介護保険の介護度	その他居住	546	68	17	52	28	105	52	14	64
		100.0	12.5	3.1	9.5	5.1	19.2	9.5	2.6	11.7
	介護の必要はないの で申請していない	603	109	13	44	32	126	63	19	25
		100.0	18.1	2.2	7.3	5.3	20.9	10.4	3.2	4.1
	介護認定の結果は自 立（非該当）	24	2	—	4	6	3	3	—	1
		100.0	8.3	—	16.7	25.0	20.8	12.5	—	4.2
	要支援1～2	53	2	3	19	7	4	2	1	2
		100.0	3.8	5.7	35.8	13.2	24.5	3.8	1.9	3.8
要介護1～3	37	1	2	12	2	8	10	1	1	
	100.0	2.7	5.4	32.4	5.4	21.6	27.0	2.7	2.7	
要介護4～5	7	—	—	1	1	1	1	1	1	
	100.0	—	—	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	
無回答		146	5	10	17	5	30	10	3	36
		100.0	3.4	6.8	11.6	3.4	20.5	6.8	2.1	24.7

問		問2.8 通院はどのように							
	合計	通院していない	徒歩	自転車	バスや電車等の 公共交通機関	自家用車	タクシー	その他	無回答
合計（無回答省略）	870	111	219	12	218	161	50	19	80
	100.0	12.8	25.2	1.4	25.1	18.5	5.7	2.2	9.2
性別	男性	306	72	5	54	95	14	7	27
	100.0	10.5	23.5	1.6	17.6	31.0	4.6	2.3	8.8
女性	560	79	146	7	163	66	36	12	51
	100.0	14.1	26.1	1.3	29.1	11.8	6.4	2.1	9.1
年齢区分	65～69歳	200	32	53	1	47	43	3	18
	100.0	16.0	26.5	0.5	23.5	21.5	1.5	1.5	9.0
70～74歳	192	17	50	5	53	41	6	1	19
	100.0	8.9	26.0	2.6	27.6	21.4	3.1	0.5	9.9
75～79歳	170	15	51	4	55	15	11	2	17
	100.0	8.8	30.0	2.4	32.4	8.8	6.5	1.2	10.0
80～84歳	150	11	45	—	39	20	17	4	14
	100.0	7.3	30.0	—	26.0	13.3	11.3	2.7	9.3
85歳以上	67	4	13	—	14	11	12	7	6
	100.0	6.0	19.4	—	20.9	16.4	17.9	10.4	9.0
その他	86	32	6	2	8	31	1	2	4
	100.0	37.2	7.0	2.3	9.3	36.0	1.2	2.3	4.7
一人暮らしの世帯	252	26	69	2	94	14	22	5	20
	100.0	10.3	27.4	0.8	37.3	5.6	8.7	2.0	7.9
夫婦だけの世帯	379	48	95	6	81	83	18	9	39
	100.0	12.7	25.1	1.6	21.4	21.9	4.7	2.4	10.3
その他の世帯	235	37	55	4	42	64	10	5	18
	100.0	15.7	23.4	1.7	17.9	27.2	4.3	2.1	7.7
斜面地居住	324	48	57	3	98	73	31	7	7
	100.0	14.8	17.6	0.9	30.2	22.5	9.6	2.2	2.2
その他居住	546	63	162	9	120	88	19	12	73
	100.0	11.5	29.7	1.6	22.0	16.1	3.5	2.2	13.4
介護の必要はないの で申請していない	603	99	172	8	141	118	19	9	37
	100.0	16.4	28.5	1.3	23.4	19.6	3.2	1.5	6.1
介護認定の結果は自 立（非該当）	24	2	7	1	7	3	2	1	1
	100.0	8.3	29.2	4.2	29.2	12.5	8.3	4.2	4.2
要支援 1～2	53	2	9	—	21	8	9	1	3
	100.0	3.8	17.0	—	39.6	15.1	17.0	1.9	5.7
要介護 1～3	37	1	8	2	3	3	11	7	2
	100.0	2.7	21.6	5.4	8.1	8.1	29.7	18.9	5.4
要介護 4～5	7	1	—	—	2	—	2	1	1
	100.0	14.3	—	—	28.6	—	28.6	14.3	14.3
無回答	146	6	23	1	44	29	7	—	36
	100.0	4.1	15.8	0.7	30.1	19.9	4.8	—	24.7

問		問2.9 通院で困ること								
	合計	通院していない	距離が遠い	坂道	階段や段差	交通費が高い	公共交通機関が 少ない	困ることはない	その他	無回答
合計（無回答省略）	870	128	134	67	27	20	42	299	19	134
	100.0	14.7	15.4	7.7	3.1	2.3	4.8	34.4	2.2	15.4
	男性	306	40	45	24	10	8	9	126	7
	100.0	13.1	14.7	7.8	3.3	2.6	2.9	41.2	2.3	12.1
性別	女性	560	88	88	42	17	12	33	173	12
	100.0	15.7	15.7	7.5	3.0	2.1	5.9	30.9	2.1	17.0
	200	39	28	12	2	1	11	75	3	29
	100.0	19.5	14.0	6.0	1.0	0.5	5.5	37.5	1.5	14.5
年齢区分	65～69歳	192	22	29	19	6	10	65	3	28
	100.0	11.5	15.1	9.9	3.1	5.2	5.2	33.9	1.6	14.6
	70～74歳	170	15	30	13	8	4	9	56	3
	100.0	8.8	17.6	7.6	4.7	2.4	5.3	32.9	1.8	18.8
世帯構成	80～84歳	150	11	24	12	5	4	61	2	25
	100.0	7.3	16.0	8.0	3.3	2.7	4.0	40.7	1.3	16.7
	85歳以上	67	5	13	9	5	—	4	18	4
	100.0	7.5	19.4	13.4	7.5	—	6.0	26.9	6.0	13.4
世帯構成	その他	86	36	9	1	1	1	23	4	9
	100.0	41.9	10.5	1.2	1.2	1.2	2.3	26.7	4.7	10.5
	一人暮らしの世帯	252	26	51	18	16	3	14	73	7
	100.0	10.3	20.2	7.1	6.3	1.2	5.6	29.0	2.8	17.5
世帯構成	夫婦だけの世帯	379	58	52	30	5	14	17	144	7
	100.0	15.3	13.7	7.9	1.3	3.7	4.5	38.0	1.8	13.7
	その他の世帯	235	44	30	19	6	3	11	82	5
	100.0	18.7	12.8	8.1	2.6	1.3	4.7	34.9	2.1	14.9
居住地域	斜面地居住	324	59	77	54	14	12	21	63	6
	100.0	18.2	23.8	16.7	4.3	3.7	6.5	19.4	1.9	5.6
	その他居住	546	69	57	13	13	8	21	236	13
	100.0	12.6	10.4	2.4	2.4	1.5	3.8	43.2	2.4	21.2
介護保険の介護度	介護の必要はないの で申請していない	603	113	85	36	13	16	29	242	8
	100.0	18.7	14.1	6.0	2.2	2.7	4.8	40.1	1.3	10.1
	介護認定の結果は自 立（非該当）	24	2	4	5	1	—	2	6	—
	100.0	8.3	16.7	20.8	4.2	—	8.3	25.0	—	16.7
介護保険の介護度	要支援 1～2	53	3	15	9	6	2	9	1	7
	100.0	5.7	28.3	17.0	11.3	3.8	1.9	17.0	1.9	13.2
	要介護 1～3	37	1	7	5	3	2	1	10	4
	100.0	2.7	18.9	13.5	8.1	5.4	2.7	27.0	10.8	10.8
介護保険の介護度	要介護 4～5	7	1	—	2	—	—	1	2	1
	100.0	14.3	—	28.6	—	—	—	14.3	28.6	14.3
	無回答	146	8	23	10	4	9	31	4	57
	100.0	5.5	15.8	6.8	2.7	—	6.2	21.2	2.7	39.0

問	問2.10 困っていることや悩み（多重回答）																			
	合計	買い物が不便なこと	坂道や道路の幅が狭いこと	住まいのこと	空家が多くなったこと	病院への通院が不便なこと	自家用車を置くスペースがないこと	自動車を運転すること	救急や消防等の救急に不安なこと	役所や図書館などの公共施設が遠いこと	外出しにくいこと	歩道が整備されていないこと	ひきこもりがちであること	交通の便が悪いこと	近所づきあいがいいこと	孤立感を感ずること	その他	別がない	無回答	
性別	合計（無回答省略）	870	273	258	70	137	119	66	33	62	117	29	80	40	96	67	32	23	224	103
	男性	100.0	31.4	29.7	8.0	15.7	13.7	7.6	3.8	7.1	13.4	3.3	9.2	4.6	11.0	7.7	3.7	2.6	25.7	11.8
		306	80	96	21	56	37	28	11	17	41	8	29	11	30	22	10	10	87	31
	女性	100.0	26.1	31.4	6.9	18.3	12.1	9.2	3.6	5.6	13.4	2.6	9.5	3.6	9.8	7.2	3.3	3.3	28.4	10.1
		560	193	162	49	80	82	38	22	45	76	21	51	29	66	45	22	13	137	69
	65～69歳	100.0	34.5	28.9	8.8	14.3	14.6	6.8	3.9	8.0	13.6	3.8	9.1	5.2	11.8	8.0	3.9	2.3	24.5	12.3
		200	57	49	15	35	20	14	7	14	24	—	24	4	21	11	3	3	59	25
	70～74歳	100.0	28.5	24.5	7.5	17.5	10.0	7.0	3.5	7.0	12.0	—	12.0	2.0	10.5	5.5	1.5	1.5	29.5	12.5
		192	61	63	21	31	26	20	7	16	27	5	20	5	22	15	4	8	49	22
	年齢区分	75～79歳	100.0	31.8	32.8	10.9	16.1	13.5	10.4	3.6	8.3	14.1	2.6	10.4	2.6	11.5	7.8	2.1	4.2	25.5
170		56	57	14	23	27	10	4	14	22	8	11	14	20	19	9	4	34	18	
80～84歳		100.0	32.9	33.5	8.2	13.5	15.9	5.9	2.4	8.2	12.9	4.7	6.5	8.2	11.8	11.2	5.3	2.4	20.0	10.6
150		46	43	9	22	24	5	7	7	21	7	6	12	17	14	12	6	43	20	
世帯構成	85歳以上	100.0	30.7	28.7	6.0	14.7	16.0	3.3	4.7	4.7	14.0	4.7	4.0	8.0	11.3	9.3	8.0	4.0	28.7	13.3
	67	20	17	4	8	15	4	5	9	13	7	7	7	5	10	5	3	2	17	8
	100.0	29.9	25.4	6.0	11.9	22.4	6.0	7.5	13.4	19.4	10.4	10.4	7.5	14.9	7.5	4.5	3.0	25.4	11.9	
	86	33	28	7	18	6	13	3	2	10	2	12	—	6	3	1	—	21	7	
居住地域	その他	100.0	38.4	32.6	8.1	20.9	7.0	15.1	3.5	2.3	11.6	2.3	14.0	—	7.0	3.5	1.2	—	24.4	8.1
	252	92	66	23	34	46	9	10	24	38	14	17	12	38	26	21	5	61	33	
	100.0	36.5	26.2	9.1	13.5	18.3	3.6	4.0	9.5	15.1	5.6	6.7	4.8	15.1	10.3	8.3	2.0	24.2	13.1	
	379	103	116	32	65	44	33	13	22	55	9	32	16	32	26	6	9	102	42	
介護保険の介護度	夫婦だけの世帯	100.0	27.2	30.6	8.4	17.2	11.6	8.7	3.4	5.8	14.5	2.4	8.4	4.2	8.4	6.9	1.6	2.4	26.9	11.1
	235	78	76	15	38	29	24	10	16	24	6	31	12	26	15	5	9	61	24	
	100.0	33.2	32.3	6.4	16.2	12.3	10.2	4.3	6.8	10.2	2.6	13.2	5.1	11.1	6.4	2.1	3.8	26.0	10.2	
	324	160	258	41	70	81	66	19	62	69	29	48	20	58	31	18	7	15	—	
世帯構成	斜面地居住	100.0	49.4	79.6	12.7	21.6	25.0	20.4	5.9	19.1	21.3	9.0	14.8	6.2	17.9	9.6	5.6	2.2	4.6	—
	546	113	—	29	67	38	—	14	—	48	—	—	32	20	38	36	14	16	209	103
	100.0	20.7	—	5.3	12.3	7.0	—	2.6	—	8.8	—	—	5.9	3.7	7.0	6.6	2.6	2.9	38.3	18.9
	603	188	187	50	103	71	47	21	40	78	14	53	23	67	40	18	18	180	47	
	100.0	31.2	31.0	8.3	17.1	11.8	7.8	3.5	6.6	12.9	2.3	8.8	3.8	11.1	6.6	3.0	3.0	29.9	7.8	
	24	8	9	2	3	4	—	2	3	8	1	3	3	2	3	4	—	3	1	
	100.0	33.3	37.5	8.3	12.5	16.7	—	8.3	12.5	33.3	4.2	12.5	12.5	8.3	12.5	16.7	—	12.5	4.2	
	53	18	19	6	8	12	3	3	6	13	3	7	4	5	6	3	—	9	7	
	100.0	34.0	35.8	11.3	15.1	22.6	5.7	5.7	11.3	24.5	5.7	13.2	7.5	9.4	11.3	5.7	—	17.0	13.2	
	37	17	10	3	6	10	4	1	4	5	9	5	3	7	5	4	2	5	3	
介護保険の介護度	要介護1～3	100.0	45.9	27.0	8.1	16.2	27.0	10.8	2.7	10.8	13.5	24.3	13.5	8.1	18.9	13.5	10.8	5.4	13.5	8.1
	7	2	2	1	—	1	—	—	—	2	2	—	2	—	—	1	—	2	2	1
	100.0	28.6	28.6	14.3	—	14.3	—	—	—	28.6	—	—	28.6	—	—	14.3	—	28.6	28.6	14.3
	146	40	31	8	17	21	12	6	7	11	2	10	7	15	12	3	1	25	44	
無回答	100.0	27.4	21.2	5.5	11.6	14.4	8.2	4.1	4.8	7.5	1.4	6.8	4.8	10.3	8.2	2.1	0.7	17.1	30.1	

	問 合計	問3.1 町内会・自治会の活動には参加				問3.2 参加している団体				問3.3 伝統的な年中行事や祭りは行われていますか						
		参加して いる	たまに参加 している	ほとんど参加 していない	参加して いない	無回答	老人クラブ	まちづく り協議会	校区(地区)社 会福祉協議会	その他	無回答	従来通り行 われている	かつてより少 なくなった	ほとんど なくなった	無回答	
性別	合計 (無回答省略)	870	270	129	181	202	88	40	62	65	200	503	228	222	285	135
	男性	1000	310	148	208	232	10.1	4.6	7.1	7.5	23.0	57.8	26.2	25.5	32.8	15.5
年齢区分	女性	306	96	45	58	83	24	11	21	16	89	169	97	71	108	30
	65～69歳	1000	314	147	190	27.1	7.8	3.6	6.9	5.2	29.1	55.2	31.7	23.2	35.3	9.8
世帯構成	一人暮らしの世帯	560	173	84	122	119	62	29	41	49	111	330	130	151	177	102
	夫婦だけの世帯	1000	30.9	15.0	21.8	21.3	11.1	5.2	7.3	8.8	19.8	58.9	23.2	27.0	31.6	18.2
居住地域	斜面地居住	200	72	34	41	35	18	4	23	15	50	108	57	56	63	24
	その他の世帯	1000	36.0	17.0	20.5	17.5	9.0	2.0	11.5	7.5	25.0	54.0	28.5	28.0	31.5	12.0
介護保険の介護度	要介護1～2	192	73	29	33	38	19	8	21	18	48	97	46	56	59	31
	要介護1～3	1000	38.0	15.1	17.2	19.8	9.9	4.2	10.9	9.4	25.0	50.5	24.0	29.2	30.7	16.1
世帯構成	一人暮らしの世帯	170	44	25	36	43	22	16	4	13	36	101	49	33	56	32
	夫婦だけの世帯	1000	25.9	14.7	21.2	25.3	12.9	9.4	2.4	7.6	21.2	59.4	28.8	19.4	32.9	18.8
居住地域	斜面地居住	150	34	20	43	36	17	7	3	9	26	105	39	33	56	22
	その他の世帯	1000	22.7	13.3	28.7	24.0	11.3	4.7	2.0	6.0	17.3	70.0	26.0	22.0	37.3	14.7
介護保険の介護度	要介護1～2	67	13	10	9	29	6	5	1	3	16	42	12	19	24	12
	要介護1～3	1000	19.4	14.9	13.4	43.3	9.0	7.5	1.5	4.5	23.9	62.7	17.9	28.4	35.8	17.9
世帯構成	一人暮らしの世帯	86	33	11	17	21	4	—	10	7	24	45	23	25	27	11
	夫婦だけの世帯	1000	38.4	12.8	19.8	24.4	4.7	—	11.6	8.1	27.9	52.3	26.7	29.1	31.4	12.8
居住地域	斜面地居住	252	73	37	54	56	32	12	14	27	46	153	59	69	71	53
	その他の世帯	1000	29.0	14.7	21.4	22.2	12.7	4.8	5.6	10.7	18.3	60.7	23.4	27.4	28.2	21.0
介護保険の介護度	要介護1～2	379	124	60	78	78	39	18	28	24	96	213	113	91	124	51
	要介護1～3	1000	32.7	15.8	20.6	20.6	10.3	4.7	7.4	6.3	25.3	56.2	29.8	24.0	32.7	13.5
世帯構成	一人暮らしの世帯	235	72	32	49	68	14	10	20	14	58	133	55	62	89	29
	夫婦だけの世帯	1000	30.6	13.6	20.9	28.9	6.0	4.3	8.5	6.0	24.7	56.6	23.4	26.4	37.9	12.3
居住地域	斜面地居住	324	104	42	82	88	8	15	23	34	81	171	71	78	135	40
	その他の世帯	1000	32.1	13.0	25.3	27.2	2.5	4.6	7.1	10.5	25.0	52.8	21.9	24.1	41.7	12.3
介護保険の介護度	要介護1～2	546	166	87	99	114	80	25	39	31	119	332	157	144	150	95
	要介護1～3	1000	30.4	15.9	18.1	20.9	14.7	4.6	7.1	5.7	21.8	60.8	28.8	26.4	27.5	17.4
世帯構成	一人暮らしの世帯	603	215	95	129	121	43	25	56	48	147	327	174	143	204	82
	夫婦だけの世帯	1000	35.7	15.8	21.4	20.1	7.1	4.1	9.3	8.0	24.4	54.2	28.9	23.7	33.8	13.6
居住地域	斜面地居住	24	3	4	5	11	1	4	—	2	6	12	5	12	6	1
	その他の世帯	1000	12.5	16.7	20.8	45.8	4.2	16.7	—	8.3	25.0	50.0	20.8	50.0	25.0	4.2
介護保険の介護度	要介護1～2	53	7	9	18	14	5	4	2	3	13	31	9	19	18	7
	要介護1～3	1000	13.2	17.0	34.0	26.4	9.4	7.5	3.8	5.7	24.5	58.5	17.0	35.8	34.0	13.2
世帯構成	一人暮らしの世帯	37	3	5	8	21	—	1	1	1	10	24	5	9	16	7
	夫婦だけの世帯	1000	8.1	13.5	21.6	56.8	—	2.7	2.7	2.7	27.0	64.9	13.5	24.3	43.2	18.9
居住地域	斜面地居住	7	1	1	1	3	1	—	—	—	4	3	3	2	2	—
	その他の世帯	1000	14.3	14.3	14.3	42.9	14.3	—	—	—	57.1	42.9	42.9	28.6	28.6	—
介護保険の介護度	要介護1～2	146	41	15	20	32	38	6	3	11	20	106	32	37	39	38
	要介護1～3	1000	28.1	10.3	13.7	21.9	26.0	4.1	2.1	7.5	13.7	72.6	21.9	25.3	26.7	26.0

	問		問3.4 伝統的な年中行事や祭りには参加				問3.5 近所の人たちと話をしますか					
	合計	好きで参加している	役割で参加している	あまり参加していない	祭りや行事は参加していない	無回答	ほとんど毎日	週に2回以上	月に1回以上	ほとんどない	無回答	
性別	合計（無回答省略）	870	31	58	289	403	89	238	286	117	170	59
		100.0	3.6	6.7	33.2	46.3	10.2	27.4	32.9	13.4	19.5	6.8
	男性	306	12	25	95	148	26	76	91	43	82	14
		100.0	3.9	8.2	31.0	48.4	8.5	24.8	29.7	14.1	26.8	4.6
年齢区分	女性	560	19	33	194	254	60	162	194	74	88	42
		100.0	3.4	5.9	34.6	45.4	10.7	28.9	34.6	13.2	15.7	7.5
	65～69歳	200	7	19	68	95	11	62	74	25	34	5
		100.0	3.5	9.5	34.0	47.5	5.5	31.0	37.0	12.5	17.0	2.5
	70～74歳	192	11	19	70	71	21	60	60	26	27	19
		100.0	5.7	9.9	36.5	37.0	10.9	31.3	31.3	13.5	14.1	9.9
	75～79歳	170	6	5	56	82	21	47	56	22	33	12
		100.0	3.5	2.9	32.9	48.2	12.4	27.6	32.9	12.9	19.4	7.1
	80～84歳	150	1	4	46	82	17	28	54	20	40	8
		100.0	0.7	2.7	30.7	54.7	11.3	18.7	36.0	13.3	26.7	5.3
	85歳以上	67	2	—	14	43	8	13	19	10	17	8
		100.0	3.0	—	20.9	64.2	11.9	19.4	28.4	14.9	25.4	11.9
世帯構成	その他	86	4	11	34	29	8	28	21	14	18	5
		100.0	4.7	12.8	39.5	33.7	9.3	32.6	24.4	16.3	20.9	5.8
	一人暮らしの世帯	252	9	9	80	117	37	70	91	38	33	20
		100.0	3.6	3.6	31.7	46.4	14.7	27.8	36.1	15.1	13.1	7.9
	夫婦だけの世帯	379	12	35	134	170	28	109	131	45	69	25
		100.0	3.2	9.2	35.4	44.9	7.4	28.8	34.6	11.9	18.2	6.6
	その他の世帯	235	10	14	75	116	20	59	62	34	68	12
		100.0	4.3	6.0	31.9	49.4	8.5	25.1	26.4	14.5	28.9	5.1
居住地域	斜面地居住	324	9	22	100	171	22	82	116	42	66	18
		100.0	2.8	6.8	30.9	52.8	6.8	25.3	35.8	13.0	20.4	5.6
	その他居住	546	22	36	189	232	67	156	170	75	104	41
		100.0	4.0	6.6	34.6	42.5	12.3	28.6	31.1	13.7	19.0	7.5
介護保険の介護度	介護の必要はないので申請していない	603	24	48	205	280	46	183	201	76	115	28
	介護認定の結果は自立（非該当）	24	2	2	10	10	—	2	11	5	5	1
	要支援1～2	53	—	2	19	26	6	8	20	12	11	2
		100.0	—	3.8	35.8	49.1	11.3	15.1	37.7	22.6	20.8	3.8
	要介護1～3	37	1	1	9	22	4	9	6	7	15	—
		100.0	2.7	2.7	24.3	59.5	10.8	24.3	16.2	18.9	40.5	—
	要介護4～5	7	—	1	2	4	—	2	3	—	2	—
		100.0	—	14.3	28.6	57.1	—	28.6	42.9	—	28.6	—
無回答		146	4	4	44	61	33	34	45	17	22	28
		100.0	2.7	2.7	30.1	41.8	22.6	23.3	30.8	11.6	15.1	19.2

問		問3.6 近所の人とのつきあい方（多重回答）														
性別	年齢区分	世帯構成	居住地域	介護保険の介護度	合計（無回答省略）		挨拶や立ち話を する程度	趣味を一緒に する	宗教活動をと もにする	老人クラブ等で 一緒に活動する	病気の時に助 け合う	家事や些細な用事、 相談や物のやりとり	つき合いはない	その他	無回答	
					合計	870	638	76	44	27	110	263	64	27	47	
						100.0	73.3	8.7	5.1	3.1	12.6	10.3	30.2	7.4	3.1	5.4
						306	229	21	12	8	16	24	67	27	8	16
						100.0	74.8	6.9	3.9	2.6	5.2	7.8	21.9	8.8	2.6	5.2
						560	409	55	32	19	93	66	196	37	18	28
						100.0	73.0	9.8	5.7	3.4	16.6	11.8	35.0	6.6	3.2	5.0
						200	160	23	4	4	31	26	73	12	4	5
						100.0	80.0	11.5	2.0	2.0	15.5	13.0	36.5	6.0	2.0	2.5
						192	138	18	12	7	27	17	65	11	6	15
						100.0	71.9	9.4	6.3	3.6	14.1	8.9	33.9	5.7	3.1	7.8
						170	127	19	5	6	16	14	46	9	5	10
						100.0	74.7	11.2	2.9	3.5	9.4	8.2	27.1	5.3	2.9	5.9
						150	114	10	11	6	18	17	40	14	4	5
						100.0	76.0	6.7	7.3	4.0	12.0	11.3	26.7	9.3	2.7	3.3
						67	37	1	6	4	4	9	17	10	5	5
						100.0	55.2	1.5	9.0	6.0	6.0	13.4	25.4	14.9	7.5	7.5
						86	60	5	6	—	13	7	22	8	2	5
						100.0	69.8	5.8	7.0	—	15.1	8.1	25.6	9.3	2.3	5.8
						252	186	25	10	10	44	38	96	19	5	10
						100.0	73.8	9.9	4.0	4.0	17.5	15.1	38.1	7.5	2.0	4.0
						379	280	37	17	8	43	32	107	21	11	26
						100.0	73.9	9.8	4.5	2.1	11.3	8.4	28.2	5.5	2.9	6.9
						235	171	14	17	9	22	20	60	24	10	9
						100.0	72.8	6.0	7.2	3.8	9.4	8.5	25.5	10.2	4.3	3.8
						324	233	29	17	11	35	28	94	25	13	19
						100.0	71.9	9.0	5.2	3.4	10.8	8.6	29.0	7.7	4.0	5.9
						546	405	47	27	16	75	62	169	39	14	28
						100.0	74.2	8.6	4.9	2.9	13.7	11.4	31.0	7.1	2.6	5.1
						603	456	57	32	20	83	71	205	37	14	29
						100.0	75.6	9.5	5.3	3.3	13.8	11.8	34.0	6.1	2.3	4.8
						24	18	3	2	1	2	1	6	—	—	—
						100.0	75.0	12.5	8.3	4.2	8.3	4.2	25.0	—	—	—
						53	38	3	3	2	2	4	13	8	1	4
						100.0	71.7	5.7	5.7	3.8	3.8	7.5	24.5	15.1	1.9	7.5
						37	22	2	—	—	4	5	8	9	4	—
						100.0	59.5	5.4	—	—	10.8	13.5	21.6	24.3	10.8	—
						7	3	—	—	—	2	1	2	3	1	—
						100.0	42.9	—	—	—	28.6	14.3	28.6	42.9	14.3	—
						146	101	11	7	4	17	8	29	7	7	14
						100.0	69.2	7.5	4.8	2.7	11.6	5.5	19.9	4.8	4.8	9.6

	問		問3.7 家で電話やメール、手紙を書く			
	合計	直接会って話をしたり、行動をともにする方が多い	会うよりも電話やメール、手紙でのやりとりのほうが多い	電話やメール、手紙は必要な時だけする	ほとんどしない	無回答
性別	合計（無回答省略）	870 100.0	279 32.1	91 10.5	259 29.8	174 20.0
	男性	306 100.0	80 26.1	29 9.5	90 29.4	88 28.8
年齢区分	女性	560 100.0	199 35.5	61 10.9	169 30.2	86 15.4
	65～69歳	200 100.0	81 40.5	19 9.5	60 30.0	27 13.5
世帯構成	70～74歳	192 100.0	65 33.9	17 8.9	60 31.3	34 17.7
	75～79歳	170 100.0	54 31.8	20 11.8	45 26.5	38 22.4
居住地域	80～84歳	150 100.0	42 28.0	16 10.7	42 28.0	37 24.7
	85歳以上	67 100.0	11 16.4	8 11.9	18 26.9	25 37.3
介護保険の介護度	その他	86 100.0	25 29.1	10 11.6	33 38.4	13 15.1
	一人暮らしの世帯	252 100.0	84 33.3	26 10.3	75 29.8	47 18.7
介護認定の結果は自立（非該当）	夫婦だけの世帯	379 100.0	129 34.0	41 10.8	106 28.0	75 19.8
	その他の世帯	235 100.0	66 28.1	22 9.4	78 33.2	52 22.1
要介護1～2	斜面地居住	324 100.0	105 32.4	28 8.6	105 32.4	60 18.5
	その他居住	546 100.0	174 31.9	63 11.5	154 28.2	114 20.9
要介護1～3	介護の必要はないので申請していない	603 100.0	204 33.8	59 9.8	193 32.0	110 18.2
	介護認定の結果は自立（非該当）	24 100.0	6 25.0	6 25.0	7 29.2	4 16.7
要介護4～5	要支援1～2	53 100.0	14 26.4	4 7.5	14 26.4	15 28.3
	要介護1～3	37 100.0	5 13.5	5 13.5	9 24.3	18 48.6
無回答	要介護4～5	7 100.0	2 28.6	2 28.6	—	3 42.9
		146 100.0	48 32.9	15 10.3	36 24.7	24 16.4
無回答						23 15.8

問	問4.1 高齢者の見守り・声かけ				問4.2 子どもの世話				問4.3 留守番・留守宅の見守り			
	合計	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	した	してもらった	した、してもらったの両方
性別	合計（無回答省略）	870	245	123	38	464	98	14	5	753	76	51
	男性	100.0	28.2	14.1	4.4	53.3	11.3	1.6	0.6	86.6	8.7	5.9
性別	女性	306	90	30	12	174	44	6	2	254	28	13
		100.0	29.4	9.8	3.9	56.9	14.4	2.0	0.7	83.0	9.2	4.2
年齢区分	65～69歳	560	155	93	26	286	54	8	3	495	48	38
	70～74歳	100.0	27.7	16.6	4.6	51.1	9.6	1.4	0.5	88.4	8.6	6.8
年齢区分	75～79歳	200	84	13	4	99	35	2	1	162	23	10
	80～84歳	100.0	42.0	6.5	2.0	49.5	17.5	1.0	0.5	81.0	11.5	5.0
年齢区分	85歳以上	192	57	23	10	102	27	3	1	161	20	10
	その他	100.0	29.7	12.0	5.2	53.1	14.1	1.6	0.5	83.9	10.4	5.2
世帯構成	一人暮らしの世帯	170	33	28	9	100	12	2	1	155	16	6
	夫婦だけの世帯	100.0	19.4	16.5	5.3	58.8	7.1	1.2	0.6	91.2	9.4	3.5
世帯構成	その他の世帯	150	27	29	8	86	5	3	—	142	9	12
	その他	100.0	18.0	19.3	5.3	57.3	3.3	2.0	—	94.7	6.0	8.0
居住地域	斜面地居住	67	7	25	6	29	3	2	—	62	—	10
	その他居住	100.0	10.4	37.3	9.0	43.3	4.5	3.0	—	92.5	—	14.9
介護保険の介護度	介護の必要はないの で申請していない	86	37	4	1	44	16	2	2	66	8	3
	介護認定の結果は自 立（非該当）	100.0	43.0	4.7	1.2	51.2	18.6	2.3	2.3	76.7	9.3	3.5
介護保険の介護度	要支援1～2	252	48	77	17	110	17	5	—	230	16	27
	要介護1～3	100.0	19.0	30.6	6.7	43.7	6.7	2.0	—	91.3	6.3	10.7
介護保険の介護度	要介護4～5	379	129	29	12	209	52	5	1	321	35	15
	無回答	100.0	34.0	7.7	3.2	55.1	13.7	1.3	0.3	84.7	9.2	4.0
介護保険の介護度	その他居住	235	68	16	9	142	29	4	4	198	25	9
	その他居住	100.0	28.9	6.8	3.8	60.4	12.3	1.7	1.7	84.3	10.6	3.8
介護保険の介護度	介護の必要はないの で申請していない	324	99	43	15	167	39	7	3	275	28	19
	介護認定の結果は自 立（非該当）	100.0	30.6	13.3	4.6	51.5	12.0	2.2	0.9	84.9	8.6	5.9
介護保険の介護度	要支援1～2	546	146	80	23	297	59	7	2	478	48	32
	要介護1～3	100.0	26.7	14.7	4.2	54.4	10.8	1.3	0.4	87.5	8.8	5.9
介護保険の介護度	要介護4～5	603	195	69	26	313	78	8	4	513	67	24
	無回答	100.0	32.3	11.4	4.3	51.9	12.9	1.3	0.7	85.1	11.1	4.0
介護保険の介護度	介護の必要はないの で申請していない	24	5	7	1	11	7	1	—	16	1	4
	介護認定の結果は自 立（非該当）	100.0	20.8	29.2	4.2	45.8	29.2	4.2	—	66.7	4.2	16.7
介護保険の介護度	要支援1～2	53	7	23	4	19	2	1	—	50	1	11
	要介護1～3	100.0	13.2	43.4	7.5	35.8	3.8	1.9	—	94.3	1.9	20.8
介護保険の介護度	要介護4～5	37	6	11	3	17	1	1	—	35	3	3
	無回答	100.0	16.2	29.7	8.1	45.9	2.7	2.7	—	94.6	8.1	8.1
介護保険の介護度	介護の必要はないの で申請していない	7	3	2	—	2	1	2	—	4	—	2
	介護認定の結果は自 立（非該当）	100.0	42.9	28.6	—	28.6	14.3	28.6	—	57.1	—	28.6
介護保険の介護度	要支援1～2	146	29	11	4	102	9	1	1	135	4	7
	要介護1～3	100.0	19.9	7.5	2.7	69.9	6.2	0.7	0.7	92.5	2.7	4.8
介護保険の介護度	要介護4～5											
	無回答											

問	問4.4 食事を作った・食事を届ける				問4.5 買い物				問4.6 家の補修・手入れ（電球の取替えなど含む）			
	合計	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	した	してもらった	した、してもらったの両方
性別	合計（無回答省略）	870	92	47	30	701	95	40	721	83	66	7
	男性	100.0	10.6	5.4	3.4	80.6	10.9	4.6	82.9	9.5	7.6	0.8
性別	女性	306	19	13	10	264	35	8	258	59	12	4
		100.0	6.2	4.2	3.3	86.3	11.4	2.6	84.3	19.3	3.9	1.3
年齢区分	65～69歳	560	72	34	20	434	59	32	460	24	54	3
		100.0	12.9	6.1	3.6	77.5	10.5	5.7	82.1	4.3	9.6	0.5
年齢区分	70～74歳	200	25	5	6	164	38	2	158	23	11	1
		100.0	12.5	2.5	3.0	82.0	19.0	1.0	79.0	11.5	5.5	0.5
年齢区分	75～79歳	192	23	10	9	150	25	3	159	28	5	3
		100.0	12.0	5.2	4.7	78.1	13.0	1.6	82.8	14.6	2.6	1.6
年齢区分	80～84歳	170	11	11	3	145	9	9	150	10	17	—
		100.0	6.5	6.5	1.8	85.3	5.3	5.3	88.2	5.9	10.0	—
年齢区分	85歳以上	150	15	9	6	120	11	13	125	8	17	2
		100.0	10.0	6.0	4.0	80.0	7.3	8.7	83.3	5.3	11.3	1.3
その他		67	4	10	3	50	2	13	51	2	15	—
		100.0	6.0	14.9	4.5	74.6	3.0	19.4	76.1	3.0	22.4	—
世帯構成	一人暮らしの世帯	86	13	2	3	68	9	—	74	12	1	1
		100.0	15.1	2.3	3.5	79.1	10.5	—	86.0	14.0	1.2	1.2
世帯構成	夫婦だけの世帯	252	21	28	15	188	27	22	197	14	38	1
		100.0	8.3	11.1	6.0	74.6	10.7	8.7	78.2	5.6	15.1	0.4
世帯構成	その他の世帯	379	47	13	12	307	47	10	316	47	20	4
		100.0	12.4	3.4	3.2	81.0	12.4	2.6	83.4	12.4	5.3	1.1
居住地	斜面地居住	235	23	6	3	203	20	8	205	22	8	2
		100.0	9.8	2.6	1.3	86.4	8.5	3.4	87.2	9.4	3.4	0.9
居住地	その他居住	324	33	21	11	259	38	17	266	34	31	3
		100.0	10.2	6.5	3.4	79.9	11.7	5.2	82.1	10.5	9.6	0.9
介護保険の介護度	介護の必要はないの で申請していない	546	59	26	19	442	57	23	455	49	35	4
	介護認定の結果は自 立（非該当）	100.0	10.8	4.8	3.5	81.0	10.4	4.2	83.3	9.0	6.4	0.7
介護保険の介護度	要支援1～2	603	71	21	25	486	70	17	505	65	31	5
		100.0	11.8	3.5	4.1	80.6	11.6	2.8	83.7	10.8	5.1	0.8
介護保険の介護度	要介護1～3	24	1	4	—	19	5	5	14	2	7	—
		100.0	4.2	16.7	—	79.2	20.8	20.8	58.3	8.3	29.2	—
介護保険の介護度	要介護4～5	53	5	10	2	36	8	6	37	7	8	1
		100.0	9.4	18.9	3.8	67.9	15.1	11.3	69.8	13.2	15.1	1.9
無回答		37	2	7	1	27	2	5	30	1	8	—
		100.0	5.4	18.9	2.7	73.0	5.4	13.5	81.1	2.7	21.6	—
無回答		7	1	2	—	4	—	2	5	—	2	1
		100.0	14.3	28.6	—	57.1	—	28.6	71.4	—	28.6	14.3
無回答		146	12	3	2	129	10	5	130	8	10	—
		100.0	8.2	2.1	1.4	88.4	6.8	3.4	89.0	5.5	6.8	—

問	問4.7 庭の除草・剪定・手入れ				問4.8 家の掃除				問4.9 外出時の送迎・付き添い			
	合計	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	した	してもらった	した、してもらったの両方
性別	合計（無回答省略）	870	137	48	8	677	74	30	764	56	44	7
	男性	100.0	15.7	5.5	0.9	77.8	8.5	3.4	87.8	6.4	5.1	0.8
性別	女性	306	66	12	1	227	37	8	260	28	11	3
		100.0	21.6	3.9	0.3	74.2	12.1	2.6	85.0	9.2	3.6	1.0
性別		560	71	36	7	446	37	22	500	28	33	4
		100.0	12.7	6.4	1.3	79.6	6.6	3.9	89.3	5.0	5.9	0.7
年齢区分	65～69歳	200	42	6	4	148	25	1	174	25	3	2
		100.0	21.0	3.0	2.0	74.0	12.5	0.5	87.0	12.5	1.5	1.0
年齢区分	70～74歳	192	36	13	—	143	18	3	171	15	5	4
		100.0	18.8	6.8	—	74.5	9.4	1.6	89.1	7.8	2.6	2.1
年齢区分	75～79歳	170	22	9	1	138	12	5	152	4	12	—
		100.0	12.9	5.3	0.6	81.2	7.1	2.9	89.4	2.4	7.1	—
年齢区分	80～84歳	150	20	7	2	121	9	10	131	2	11	—
		100.0	13.3	4.7	1.3	80.7	6.0	6.7	87.3	1.3	7.3	—
年齢区分	85歳以上	67	10	8	—	49	6	10	51	1	11	—
		100.0	14.9	11.9	—	73.1	9.0	14.9	76.1	1.5	16.4	—
その他		86	7	4	1	74	4	1	80	9	2	1
		100.0	8.1	4.7	1.2	86.0	4.7	1.2	93.0	10.5	2.3	1.2
世帯構成	一人暮らしの世帯	252	38	18	2	194	20	19	212	7	24	2
		100.0	15.1	7.1	0.8	77.0	7.9	7.5	84.1	2.8	9.5	0.8
世帯構成	夫婦だけの世帯	379	72	16	3	288	33	6	339	31	13	4
		100.0	19.0	4.2	0.8	76.0	8.7	1.6	89.4	8.2	3.4	1.1
世帯構成	その他の世帯	235	26	14	3	192	20	5	210	18	7	1
		100.0	11.1	6.0	1.3	81.7	8.5	2.1	89.4	7.7	3.0	0.4
居住地	斜面地居住	324	65	14	2	243	28	8	286	21	20	3
		100.0	20.1	4.3	0.6	75.0	8.6	2.5	88.3	6.5	6.2	0.9
居住地	その他居住	546	72	34	6	434	46	22	478	35	24	4
		100.0	13.2	6.2	1.1	79.5	8.4	4.0	87.5	6.4	4.4	0.7
介護保険の介護度	介護の必要はないの で申請していない	603	101	33	5	464	47	8	548	47	19	4
	介護認定の結果は自 立（非該当）	100.0	16.7	5.5	0.8	76.9	7.8	1.3	90.9	7.8	3.2	0.7
介護保険の介護度	要支援1～2	24	5	2	1	16	4	5	15	1	2	2
		100.0	20.8	8.3	4.2	66.7	16.7	20.8	62.5	4.2	8.3	8.3
介護保険の介護度	要介護1～3	53	10	2	1	40	6	7	38	2	11	1
		100.0	18.9	3.8	1.9	75.5	11.3	13.2	71.7	3.8	20.8	1.9
介護保険の介護度	要介護4～5	37	5	4	—	28	3	5	29	1	8	—
		100.0	13.5	10.8	—	75.7	8.1	13.5	78.4	2.7	21.6	—
無回答		7	1	2	—	4	1	2	4	—	1	—
		100.0	14.3	28.6	—	57.1	14.3	28.6	57.1	—	14.3	—
無回答		146	15	5	1	125	13	3	130	5	3	—
		100.0	10.3	3.4	0.7	85.6	8.9	2.1	89.0	3.4	2.1	—

	問	問4.10 相談ごと				問4.11 お金の貸し借り				問4.12 物の貸し借り (道具・食品・日用品)				
	合計	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	
性別	合計 (無回答省略)	870	96	45	16	713	15	17	2	836	42	19	18	791
	男性	100.0	11.0	5.2	1.8	82.0	1.7	2.0	0.2	96.1	4.8	2.2	2.1	90.9
		306	38	12	4	252	4	7	—	295	14	10	6	276
		100.0	12.4	3.9	1.3	82.4	1.3	2.3	—	96.4	4.6	3.3	2.0	90.2
年齢区分	女性	560	58	32	12	458	11	10	2	537	28	9	12	511
	65～69歳	100.0	10.4	5.7	2.1	81.8	2.0	1.8	0.4	95.9	5.0	1.6	2.1	91.3
		200	32	7	6	155	5	6	—	189	16	4	3	177
		100.0	16.0	3.5	3.0	77.5	2.5	3.0	—	94.5	8.0	2.0	1.5	88.5
	70～74歳	192	29	8	3	152	6	5	1	180	16	8	4	164
	100.0	15.1	4.2	1.6	79.2	3.1	2.6	0.5	93.8	8.3	4.2	2.1	85.4	
	75～79歳	170	13	9	1	147	1	3	—	166	2	5	1	162
	100.0	7.6	5.3	0.6	86.5	0.6	1.8	—	97.6	1.2	2.9	0.6	95.3	
	80～84歳	150	8	10	2	130	3	1	—	146	2	1	1	146
	100.0	5.3	6.7	1.3	86.7	2.0	0.7	—	97.3	1.3	0.7	0.7	97.3	
世帯構成	85歳以上	67	2	8	2	55	—	1	1	65	—	1	3	63
	その他	100.0	3.0	11.9	3.0	82.1	—	1.5	1.5	97.0	—	1.5	4.5	94.0
		86	12	2	2	70	—	1	—	85	6	—	6	74
		100.0	14.0	2.3	2.3	81.4	—	1.2	—	98.8	7.0	—	7.0	86.0
	一人暮らしの世帯	252	22	22	5	203	6	2	—	244	10	3	5	234
	100.0	8.7	8.7	2.0	80.6	2.4	0.8	—	96.8	4.0	1.2	2.0	92.9	
	夫婦だけの世帯	379	48	12	6	313	8	10	—	361	22	11	8	338
	100.0	12.7	3.2	1.6	82.6	2.1	2.6	—	95.3	5.8	2.9	2.1	89.2	
	その他の世帯	235	26	10	5	194	1	5	2	227	10	5	5	215
	100.0	11.1	4.3	2.1	82.6	0.4	2.1	0.9	96.6	4.3	2.1	2.1	91.5	
居住地	斜面地居住	324	45	18	8	253	7	5	1	311	17	9	7	291
	その他居住	100.0	13.9	5.6	2.5	78.1	2.2	1.5	0.3	96.0	5.2	2.8	2.2	89.8
		546	51	27	8	460	8	12	1	525	25	10	11	500
		100.0	9.3	4.9	1.5	84.2	1.5	2.2	0.2	96.2	4.6	1.8	2.0	91.6
介護保険の介護度	介護の必要はないので申請していない	603	78	21	13	491	14	11	1	577	34	12	15	542
	介護認定の結果は自立 (非該当)	100.0	12.9	3.5	2.2	81.4	2.3	1.8	0.2	95.7	5.6	2.0	2.5	89.9
	要支援 1～2	24	6	5	—	13	—	2	—	22	1	2	1	20
		100.0	25.0	20.8	—	54.2	—	8.3	—	91.7	4.2	8.3	4.2	83.3
	要介護 1～3	53	1	10	1	41	—	1	—	52	1	3	—	49
	100.0	1.9	18.9	1.9	77.4	—	1.9	—	98.1	1.9	5.7	—	92.5	
	37	6	3	1	27	1	—	1	35	1	—	2	34	
100.0	16.2	8.1	2.7	73.0	2.7	—	2.7	2.7	94.6	2.7	—	5.4	91.9	
無回答	要介護 4～5	7	1	2	—	4	—	1	—	6	1	1	—	5
	100.0	14.3	28.6	—	57.1	—	14.3	—	85.7	14.3	14.3	—	71.4	
	146	4	4	1	137	—	2	—	144	4	1	—	141	
100.0	2.7	2.7	0.7	93.8	—	1.4	—	98.6	2.7	0.7	—	96.6		

	問	問4.13 看病・介護				問4.14 情報提供（お買い物・病院・福祉・教育の情報）				問4.15 その他			
	合計	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答	した	してもらった	した、してもらったの両方	無回答
性別	合計（無回答省略）	870	40	31	4	795	78	42	31	719	11	8	849
	男性	100.0	4.6	3.6	0.5	91.4	9.0	4.8	3.6	82.6	1.3	0.9	97.6
女性		306	15	12	2	277	28	13	10	255	5	2	297
		100.0	4.9	3.9	0.7	90.5	9.2	4.2	3.3	83.3	1.6	0.7	97.1
年齢区分		560	25	19	2	514	50	29	21	460	6	6	548
	65～69歳	100.0	4.5	3.4	0.4	91.8	8.9	5.2	3.8	82.1	1.1	1.1	97.9
		200	18	2	1	179	27	8	5	160	1	2	196
		100.0	9.0	1.0	0.5	89.5	13.5	4.0	2.5	80.0	0.5	1.0	98.0
	70～74歳	192	16	6	2	168	30	7	8	147	4	—	188
		100.0	8.3	3.1	1.0	87.5	15.6	3.6	4.2	76.6	2.1	—	97.9
	75～79歳	170	1	7	—	162	6	13	8	143	1	1	168
		100.0	0.6	4.1	—	95.3	3.5	7.6	4.7	84.1	0.6	0.6	98.8
	80～84歳	150	1	8	—	141	8	6	2	134	4	3	142
		100.0	0.7	5.3	—	94.0	5.3	4.0	1.3	89.3	2.7	2.0	94.7
世帯構成	85歳以上	67	—	7	—	60	—	6	3	58	—	2	65
		100.0	—	10.4	—	89.6	—	9.0	4.5	86.6	—	3.0	97.0
	その他	86	4	1	1	80	7	1	5	73	1	—	85
		100.0	4.7	1.2	1.2	93.0	8.1	1.2	5.8	84.9	1.2	—	98.8
	一人暮らしの世帯	252	8	11	2	231	12	22	6	212	2	3	247
		100.0	3.2	4.4	0.8	91.7	4.8	8.7	2.4	84.1	0.8	1.2	98.0
	夫婦だけの世帯	379	23	13	2	341	48	15	19	297	6	1	372
		100.0	6.1	3.4	0.5	90.0	12.7	4.0	5.0	78.4	1.6	0.3	98.2
	その他の世帯	235	9	7	—	219	18	5	6	206	3	4	226
		100.0	3.8	3.0	—	93.2	7.7	2.1	2.6	87.7	1.3	1.7	96.2
居住地	斜面地居住	324	14	15	1	294	30	15	19	260	2	2	320
		100.0	4.3	4.6	0.3	90.7	9.3	4.6	5.9	80.2	0.6	0.6	98.8
介護保険の介護度	その他居住	546	26	16	3	501	48	27	12	459	9	6	529
		100.0	4.8	2.9	0.5	91.8	8.8	4.9	2.2	84.1	1.6	1.1	96.9
	介護の必要はないので申請していない	603	32	10	2	559	66	23	24	490	9	5	587
		100.0	5.3	1.7	0.3	92.7	10.9	3.8	4.0	81.3	1.5	0.8	97.3
	介護認定の結果は自立（非該当）	24	1	3	1	19	4	6	1	13	1	1	22
		100.0	4.2	12.5	4.2	79.2	16.7	25.0	4.2	54.2	4.2	4.2	91.7
	要支援 1～2	53	2	8	1	42	2	3	4	44	—	1	52
		100.0	3.8	15.1	1.9	79.2	3.8	5.7	7.5	83.0	—	1.9	98.1
	要介護 1～3	37	2	5	—	30	2	5	2	28	1	—	36
		100.0	5.4	13.5	—	81.1	5.4	13.5	5.4	75.7	2.7	—	97.3
介護度	要介護 4～5	7	2	2	—	3	1	3	—	3	—	1	6
		100.0	28.6	28.6	—	42.9	14.3	42.9	—	42.9	—	14.3	85.7
	無回答	146	1	3	—	142	3	2	—	141	—	—	146
	100.0	0.7	2.1	—	97.3	2.1	1.4	—	96.6	—	—	100.0	

	問	問5.1 景観に気をつけて次のようなことをしていますか				問5.2 空家や廃屋は増えていますか					
		自分の家の庭造り (植栽や花壇など) に気をつけている	景観を保つために、近隣の景色 を良くするため、あるいは景観 の保全に関わったことがある	空家や廃屋の保 全や修復	その他・無回答	していない	増えている	減っている	あまり変わらない	わからない・無回答	
性別	合計 (無回答省略)	870 100.0	353 40.6	36 4.1	8 0.9	76 8.7	397 45.6	314 36.1	27 3.1	376 43.2	153 17.6
	男性	306 100.0	128 41.8	16 5.2	6 2.0	30 9.8	126 41.2	120 39.2	9 2.9	132 43.1	45 14.7
	女性	560 100.0	223 39.8	20 3.6	2 0.4	46 8.2	269 48.0	193 34.5	18 3.2	243 43.4	106 18.9
	65～69歳	200 100.0	83 41.5	14 7.0	4 2.0	17 8.5	82 41.0	74 37.0	9 4.5	101 50.5	16 8.0
	70～74歳	192 100.0	88 45.8	10 5.2	1 0.5	11 5.7	82 42.7	74 38.5	9 4.7	78 40.6	31 16.1
	75～79歳	170 100.0	72 42.4	4 2.4	2 1.2	8 4.7	84 49.4	58 34.1	3 1.8	63 37.1	46 27.1
	80～84歳	150 100.0	56 37.3	2 1.3	— —	18 12.0	74 49.3	44 29.3	4 2.7	67 44.7	35 23.3
	85歳以上	67 100.0	28 41.8	— —	— —	5 7.5	34 50.7	24 35.8	2 3.0	27 40.3	14 20.9
	その他	86 100.0	24 27.9	6 7.0	1 1.2	17 19.8	38 44.2	40 46.5	— —	39 45.3	7 8.1
	世帯構成	一人暮らしの世帯	252 100.0	93 36.9	7 2.8	2 0.8	25 9.9	125 49.6	84 33.3	8 3.2	107 42.5
夫婦だけの世帯		379 100.0	159 42.0	21 5.5	4 1.1	25 6.6	170 44.9	147 38.8	12 3.2	151 39.8	69 18.2
その他の世帯		235 100.0	100 42.6	8 3.4	2 0.9	26 11.1	99 42.1	83 35.3	7 3.0	117 49.8	28 11.9
居住地域	斜面地居住	324 100.0	153 47.2	15 4.6	4 1.2	42 13.0	110 34.0	152 46.9	5 1.5	136 42.0	31 9.6
	その他居住	546 100.0	200 36.6	21 3.8	4 0.7	34 6.2	287 52.6	162 29.7	22 4.0	240 44.0	122 22.3
	介護の必要はないの で申請していない	603 100.0	290 48.1	31 5.1	5 0.8	53 8.8	224 37.1	235 39.0	17 2.8	298 49.4	53 8.8
介護保険の介護度	介護認定の結果は自 立 (非該当)	24 100.0	7 29.2	1 4.2	1 4.2	2 8.3	13 54.2	11 45.8	— —	9 37.5	4 16.7
	要支援 1～2	53 100.0	22 41.5	— —	— —	6 11.3	25 47.2	21 39.6	1 1.9	23 43.4	8 15.1
	要介護 1～3	37 100.0	10 27.0	— —	— —	7 18.9	20 54.1	16 43.2	2 5.4	11 29.7	8 21.6
	要介護 4～5	7 100.0	1 14.3	1 14.3	— —	2 28.6	3 42.9	2 28.6	1 14.3	3 42.9	1 14.3
	無回答	146 100.0	23 15.8	3 2.1	2 1.4	6 4.1	112 76.7	29 19.9	6 4.1	32 21.9	79 54.1

	問5.3 移転する条件（3つまで）												問
	合計	病院が近い	商店街が近い	デパートが近い	スーパーが近い	娯楽施設が近い	役所や図書館等の公共施設が近い	交通が便利	マンションが便利	その他	移りたいと思わない	無回答	
性別	合計（無回答省略）	870	480	268	26	377	15	68	323	37	15	173	125
		100.0	55.2	30.8	3.0	43.3	1.7	7.8	37.1	4.3	1.7	19.9	14.4
男性		306	152	80	11	120	6	22	110	14	6	82	41
		100.0	49.7	26.1	3.6	39.2	2.0	7.2	35.9	4.6	2.0	26.8	13.4
女性		560	326	188	15	255	9	46	212	23	9	91	82
		100.0	58.2	33.6	2.7	45.5	1.6	8.2	37.9	4.1	1.6	16.3	14.6
年齢区分	65～69歳	200	117	55	5	103	6	19	86	12	4	38	15
		100.0	58.5	27.5	2.5	51.5	3.0	9.5	43.0	6.0	2.0	19.0	7.5
	70～74歳	192	110	64	6	81	3	17	80	11	3	27	30
		100.0	57.3	33.3	3.1	42.2	1.6	8.9	41.7	5.7	1.6	14.1	15.6
	75～79歳	170	89	55	7	63	4	11	53	7	—	37	31
		100.0	52.4	32.4	4.1	37.1	2.4	6.5	31.2	4.1	—	21.8	18.2
	80～84歳	150	76	49	6	60	2	4	42	3	1	35	30
		100.0	50.7	32.7	4.0	40.0	1.3	2.7	28.0	2.0	0.7	23.3	20.0
	85歳以上	67	31	21	—	26	—	6	12	2	2	18	13
		100.0	46.3	31.3	—	38.8	—	9.0	17.9	3.0	3.0	26.9	19.4
その他		86	54	24	2	42	—	10	47	2	5	18	4
		100.0	62.8	27.9	2.3	48.8	—	11.6	54.7	2.3	5.8	20.9	4.7
世帯構成	一人暮らしの世帯	252	140	89	6	102	3	20	80	9	5	48	41
		100.0	55.6	35.3	2.4	40.5	1.2	7.9	31.7	3.6	2.0	19.0	16.3
夫婦だけの世帯		379	216	109	13	167	11	30	153	22	2	69	54
		100.0	57.0	28.8	3.4	44.1	2.9	7.9	40.4	5.8	0.5	18.2	14.2
その他の世帯		235	123	70	7	107	1	18	89	6	8	56	27
		100.0	52.3	29.8	3.0	45.5	0.4	7.7	37.9	2.6	3.4	23.8	11.5
斜面地居住		324	224	133	9	173	8	33	146	11	7	49	19
		100.0	69.1	41.0	2.8	53.4	2.5	10.2	45.1	3.4	2.2	15.1	5.9
その他居住		546	256	135	17	204	7	35	177	26	8	124	106
		100.0	46.9	24.7	3.1	37.4	1.3	6.4	32.4	4.8	1.5	22.7	19.4
介護保険の介護度	介護の必要はないの で申請していない	603	360	189	21	287	9	53	252	28	9	136	39
		100.0	59.7	31.3	3.5	47.6	1.5	8.8	41.8	4.6	1.5	22.6	6.5
	介護認定の結果は自 立（非該当）	24	17	13	—	14	—	3	11	1	1	4	—
		100.0	70.8	54.2	—	58.3	—	12.5	45.8	4.2	4.2	16.7	—
	要支援1～2	53	27	21	1	16	1	3	17	2	2	9	9
		100.0	50.9	39.6	1.9	30.2	1.9	5.7	32.1	3.8	3.8	17.0	17.0
	要介護1～3	37	15	13	3	16	1	2	9	3	1	13	3
		100.0	40.5	35.1	8.1	43.2	2.7	5.4	24.3	8.1	2.7	35.1	8.1
	要介護4～5	7	3	2	1	—	—	—	1	—	2	3	—
		100.0	42.9	28.6	14.3	—	—	—	14.3	—	28.6	42.9	—
無回答		146	58	30	—	44	4	7	33	3	—	8	74
		100.0	39.7	20.5	—	30.1	2.7	4.8	22.6	2.1	—	5.5	50.7

	問	問5.4 安心のために重要なこと（多重回答）													
	合計	同居している家族	離れていても家族がいる	親戚	隣近所の親しい友人・知人	隣近所とのつき合い	離れた地域・友人	役所のサービス	緊急時の消費・救急	福祉サービスの充実	その他・わからない・別	わからない	無回答		
性別	合計（無回答省略）	870	359	373	162	368	375	60	147	301	345	7	18	75	
	男性	100.0	41.3	42.9	18.6	42.3	43.1	6.9	16.9	34.6	39.7	0.8	0.8	2.1	8.6
			306	146	127	64	106	138	13	50	109	112	3	3	24
		100.0	47.7	41.5	20.9	34.6	45.1	4.2	16.3	35.6	36.6	1.0	1.0	2.9	7.8
年齢区分	女性	560	213	245	97	260	236	46	97	190	232	4	4	49	
		100.0	38.0	43.8	17.3	46.4	42.1	8.2	17.3	33.9	41.4	0.7	0.7	1.6	8.8
	65～69歳	200	95	87	39	99	77	22	29	70	86	2	1	4	9
		100.0	47.5	43.5	19.5	49.5	38.5	11.0	14.5	35.0	43.0	1.0	0.5	2.0	4.5
世帯構成	70～74歳	192	77	97	42	84	86	12	31	69	76	2	4	2	15
		100.0	40.1	50.5	21.9	43.8	44.8	6.3	16.1	35.9	39.6	1.0	2.1	1.0	7.8
	75～79歳	170	55	71	32	70	76	7	30	56	64	1	1	6	18
		100.0	32.4	41.8	18.8	41.2	44.7	4.1	17.6	32.9	37.6	0.6	0.6	3.5	10.6
居住地	80～84歳	150	45	60	29	52	73	8	26	51	57	1	—	2	19
		100.0	30.0	40.0	19.3	34.7	48.7	5.3	17.3	34.0	38.0	0.7	—	1.3	12.7
	85歳以上	67	29	25	13	24	27	6	13	24	25	1	—	1	7
		100.0	43.3	37.3	19.4	35.8	40.3	9.0	19.4	35.8	37.3	1.5	—	1.5	10.4
介護保険の介護度	その他	86	57	32	7	38	34	4	18	28	34	—	1	3	5
		100.0	66.3	37.2	8.1	44.2	39.5	4.7	20.9	32.6	39.5	—	1.2	3.5	5.8
	一人暮らしの世帯	252	34	127	45	126	111	25	50	88	102	2	2	6	23
		100.0	13.5	50.4	17.9	50.0	44.0	9.9	19.8	34.9	40.5	0.8	0.8	2.4	9.1
世帯構成	夫婦だけの世帯	379	154	176	76	157	168	18	65	129	158	1	2	9	34
		100.0	40.6	46.4	20.1	41.4	44.3	4.7	17.2	34.0	41.7	0.3	0.5	2.4	9.0
	その他の世帯	235	171	70	41	84	95	16	32	83	84	4	3	3	15
		100.0	72.8	29.8	17.4	35.7	40.4	6.8	13.6	35.3	35.7	1.7	1.3	1.3	6.4
居住地	斜面地居住	324	143	137	60	153	160	21	70	128	152	2	—	6	7
		100.0	44.1	42.3	18.5	47.2	49.4	6.5	21.6	39.5	46.9	0.6	—	1.9	2.2
	その他居住	546	216	236	102	215	215	39	77	173	193	5	7	12	68
		100.0	39.6	43.2	18.7	39.4	39.4	7.1	14.1	31.7	35.3	0.9	1.3	2.2	12.5
介護保険の介護度	介護の必要はないので申請していない	603	274	280	127	298	290	39	102	214	253	5	7	11	9
		100.0	45.4	46.4	21.1	49.4	48.1	6.5	16.9	35.5	42.0	0.8	1.2	1.8	1.5
	介護認定の結果は自立（非該当）	24	16	10	2	8	11	4	9	10	12	—	—	—	—
		100.0	66.7	41.7	8.3	33.3	45.8	16.7	37.5	41.7	50.0	—	—	—	—
世帯構成	要支援1～2	53	18	24	6	20	18	3	9	28	31	—	—	1	—
		100.0	34.0	45.3	11.3	37.7	34.0	5.7	17.0	52.8	58.5	—	—	1.9	—
	要介護1～3	37	14	16	6	11	17	2	11	22	22	—	—	2	1
		100.0	37.8	43.2	16.2	29.7	45.9	5.4	29.7	59.5	59.5	—	—	5.4	2.7
無回答	要介護4～5	7	5	3	3	1	2	—	1	4	2	1	—	—	—
		100.0	71.4	42.9	42.9	14.3	28.6	—	14.3	57.1	28.6	14.3	—	—	—
		146	32	40	18	30	37	12	15	23	25	1	—	4	65
		100.0	21.9	27.4	12.3	20.5	25.3	8.2	10.3	15.8	17.1	0.7	2.7	2.7	44.5

問		問 6 介護保険の介護度						
		介護の必要はないので申請していない	介護認定の結果は自立(非該当)	要支援 1～2	要介護 1～3	要介護 4～5	無回答	
合計 (無回答省略)	合計	870	603	24	53	37	7	146
		100.0	69.3	2.8	6.1	4.3	0.8	16.8
性別	男性	306	225	9	12	10	5	45
		100.0	73.5	2.9	3.9	3.3	1.6	14.7
女性		560	378	15	41	27	2	97
		100.0	67.5	2.7	7.3	4.8	0.4	17.3
65～69歳		200	173	6	1	—	—	20
		100.0	86.5	3.0	0.5	—	—	10.0
70～74歳		192	137	4	15	3	3	30
		100.0	71.4	2.1	7.8	1.6	1.6	15.6
75～79歳		170	103	7	12	9	—	39
		100.0	60.6	4.1	7.1	5.3	—	22.9
80～84歳		150	92	3	14	11	1	29
		100.0	61.3	2.0	9.3	7.3	0.7	19.3
85歳以上		67	25	4	9	14	3	12
		100.0	37.3	6.0	13.4	20.9	4.5	17.9
その他		86	71	—	2	—	—	13
		100.0	82.6	—	2.3	—	—	15.1
一人暮らしの世帯		252	152	9	31	16	1	43
		100.0	60.3	3.6	12.3	6.3	0.4	17.1
夫婦だけの世帯		379	276	9	14	13	2	65
		100.0	72.8	2.4	3.7	3.4	0.5	17.2
その他の世帯		235	175	6	8	8	4	34
		100.0	74.5	2.6	3.4	3.4	1.7	14.5
斜面地居住		324	232	10	24	19	2	37
		100.0	71.6	3.1	7.4	5.9	0.6	11.4
その他居住		546	371	14	29	18	5	109
		100.0	67.9	2.6	5.3	3.3	0.9	20.0
介護の必要はないので申請していない		603						
		100.0						
介護認定の結果は自立 (非該当)		24						
		100.0						
要支援 1～2		53						
		100.0						
要介護 1～3		37						
		100.0						
要介護 4～5		7						
		100.0						
無回答		146						
		100.0						